

令和6年度

全国体力・運動能力, 運動習慣等調査

鹿児島県結果分析



## 令和6年度全国体力・運動能力，運動習慣等調査について

### 1 調査の目的

全国体力・運動能力，運動習慣等調査は，子どもの体力等の状況を鑑み，全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより，子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し，その改善を図るとともに，そのような取組を通じて，子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的にスポーツ庁が実施しているものです。

### 2 調査の結果について

本調査結果は，実技調査8項目，及び運動習慣等の質問紙調査による体力等の特定の一部分を示したものです。また，学校の教育活動は，多面的，総合的に行われるものであり，調査結果は，あくまで学校における教育活動の一側面であるので，御留意ください。

## 目 次

○ 県全体の調査結果（公立）	1
1 体格に関する調査結果概要	2
2 実技に関する調査結果概要	4
3 運動習慣等に関する調査結果概要	8
4 生活習慣等に関する調査結果概要	13
5 運動やスポーツ，体育・保健体育の授業に関する調査結果概要	16
6 児童生徒の回答と体力合計点等とのクロス集計	23
7 学校質問紙から	26
8 全体考察	30
9 改善のポイント	32

# 県全体の調査結果〔公立〕

## 本県の調査実施状況

### 1 調査の期間

令和6年4月～7月末

### 2 調査の概要

- 調査方法: 悉皆調査
- 対象学年: 小学校第5学年, 特別支援学校小学部第5学年  
中学校第2学年, 特別支援学校中学部第2学年  
※ 小・中学校にはそれぞれ義務教育学校を含む。
- 調査事項
  - 児童生徒に関する調査
    - ・ 実技に関する調査: 小・中学校ともに8項目の実技調査
      - ① 握力 ② 上体起こし ③ 長座体前屈 ④ 反復横とび
      - ⑤ 20mシャトルラン(中学校は持久走との選択)
      - ⑥ 50m走 ⑦ 立ち幅とび ⑧ ボール投げ
    - ・ 運動習慣や生活習慣, 運動への興味・関心等に関する調査
  - 学校に対する質問紙調査
    - ・ 子どもの体力・運動能力, 運動習慣等の向上に係る取組等に関する調査

### 3 本県調査参加校及び参加児童生徒数

- 小学校: 468校 13,826人
- 中学校: 214校 11,690人
- 計 682校 25,516人

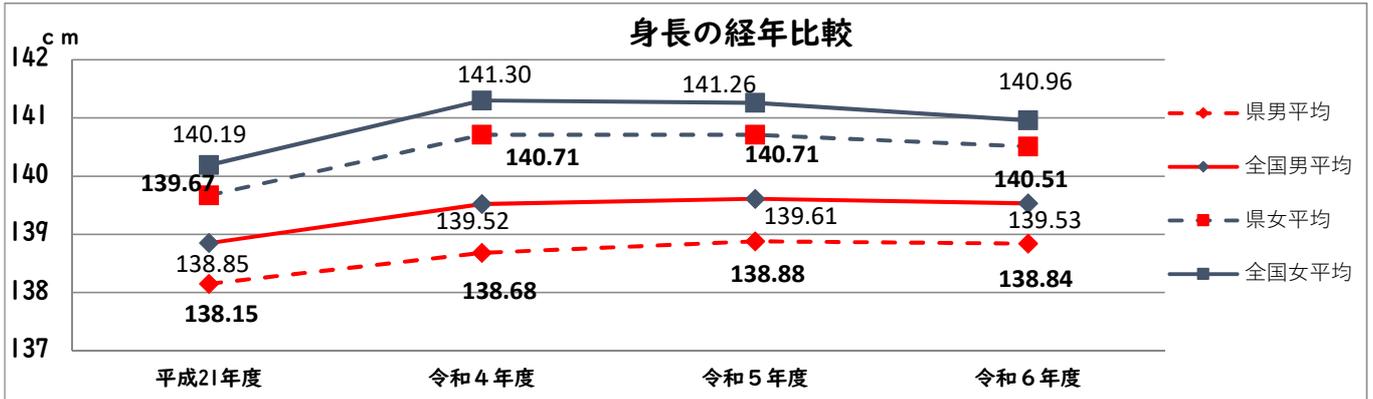
※ 小学校, 中学校にはそれぞれ義務教育学校, 特別支援学校を含む。

# I 体格に関する調査結果概要

## (I) 本県の身長 (c m) に関する調査の結果

### ア 【小学校】

小学校		平成21年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		県平均	全国平均	県平均の全国平均との差									
	5年男子	138.15	138.85	-0.70	138.68	139.52	-0.84	138.88	139.61	-0.73	138.84	139.53	-0.69
	5年女子	139.67	140.19	-0.52	140.71	141.30	-0.59	140.71	141.26	-0.55	140.51	140.96	-0.45

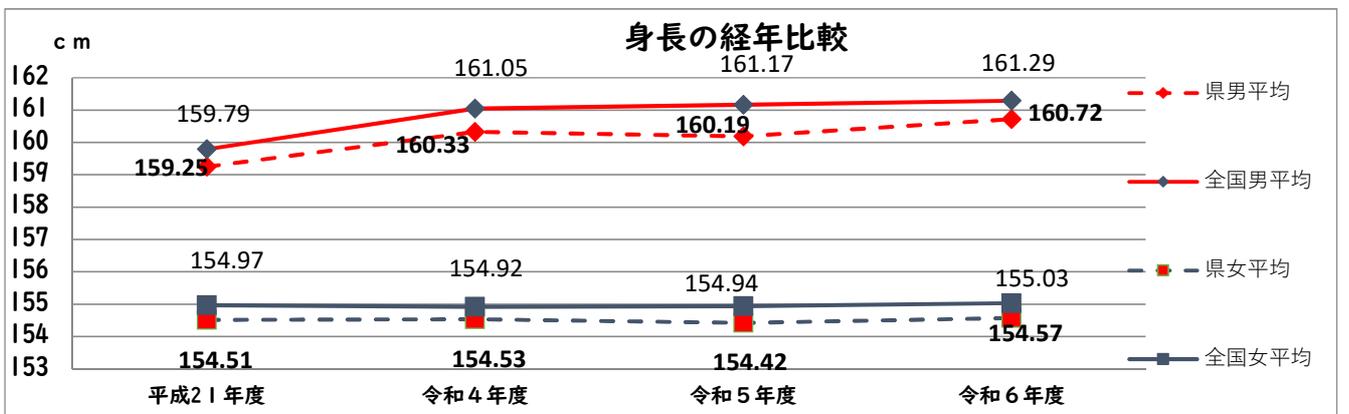


#### 〈現状〉

- 全国平均と比較すると、男女ともに低い状況である。
- 県、全国ともに令和5年度との比較において、男女ともに変化は見られない。
- 県平均と全国平均との差については、これまでと大きな変化は見られず、男女ともに全国平均より低い状況が続いている。

### イ 【中学校】

中学校		平成21年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		県平均	全国平均	県平均の全国平均との差									
	2年男子	159.25	159.79	-0.54	160.33	161.05	-0.72	160.19	161.17	-0.98	160.72	161.29	-0.57
	2年女子	154.51	154.97	-0.46	154.53	154.92	-0.39	154.42	154.94	-0.52	154.57	155.03	-0.46



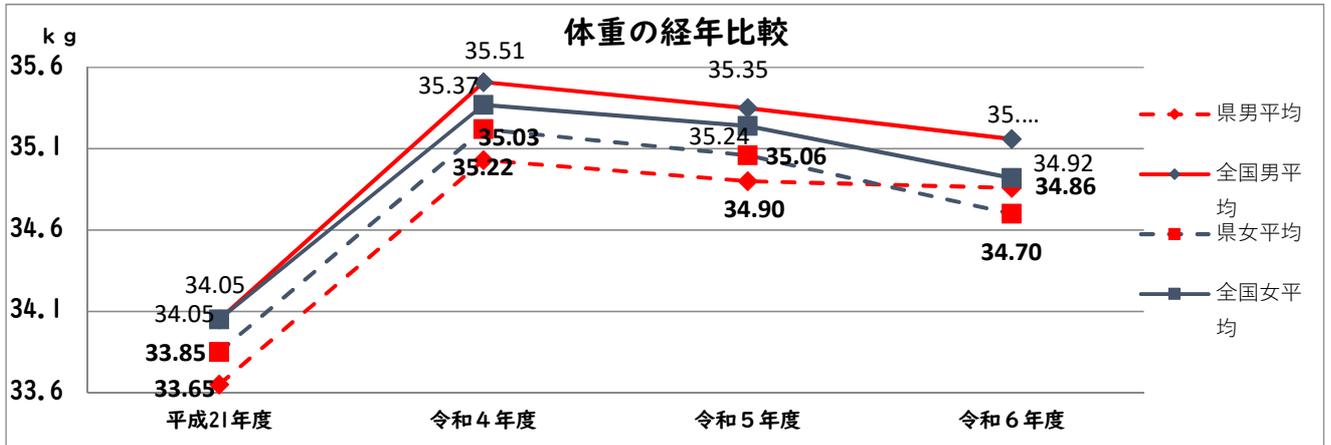
#### 〈現状〉

- 全国平均と比較すると、男女ともに低い状況である。
- 県、全国ともに令和5年度との比較において、男女ともに変化は見られない。
- 県平均と全国平均との差については、これまでと大きな変化は見られず、男女ともに全国平均より低い状況が続いている。

## (2) 本県の体重 (kg) に関する調査の結果

### ア 【小学校】

小学校		平成21年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		県平均	全国平均	県平均の全国平均との差	県平均	全国平均	県平均の全国平均との差	県平均	全国平均	県平均の全国平均との差	県平均	全国平均	県平均の全国平均との差
	5年男子	33.65	34.05	-0.40	35.03	35.51	-0.48	34.90	35.35	-0.45	34.86	35.16	-0.30
	5年女子	33.85	34.05	-0.20	35.22	35.37	-0.15	35.06	35.24	-0.18	34.70	34.92	-0.22

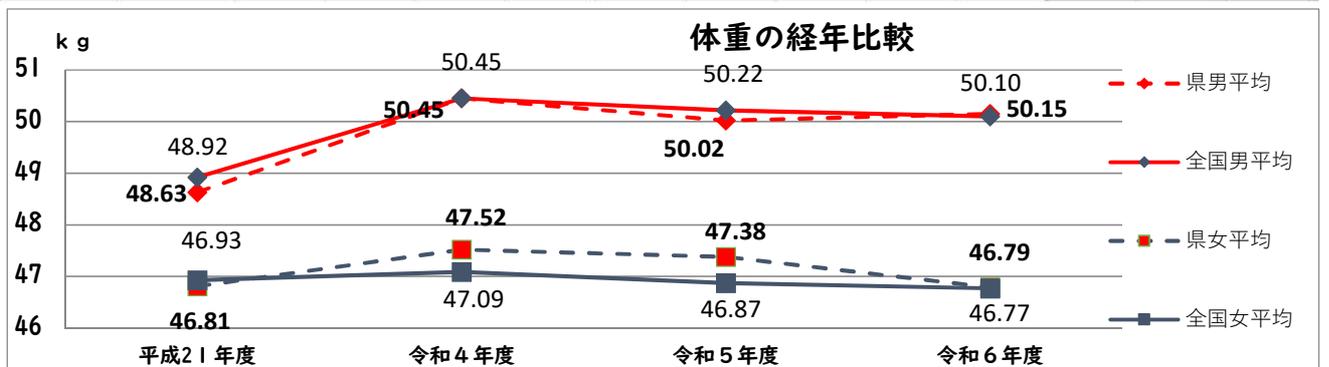


#### 〈現状〉

- 全国平均と比較すると、男女ともに軽い状況である。
- 県、全国ともに令和5年度との比較において、男女ともにやや軽くなっている。
- 県平均と全国平均との差については、これまでと大きな変化は見られず、男女ともに全国平均より軽い状況が続いている。

### イ 【中学校】

中学校		平成21年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		県平均	全国平均	県平均の全国平均との差	県平均	全国平均	県平均の全国平均との差	県平均	全国平均	県平均の全国平均との差	県平均	全国平均	県平均の全国平均との差
	2年男子	48.63	48.92	-0.29	50.45	50.45	0.00	50.02	50.22	-0.20	50.15	50.10	0.05
	2年女子	46.81	46.93	-0.12	47.52	47.09	0.43	47.38	46.87	0.51	46.79	46.77	0.02



#### 〈現状〉

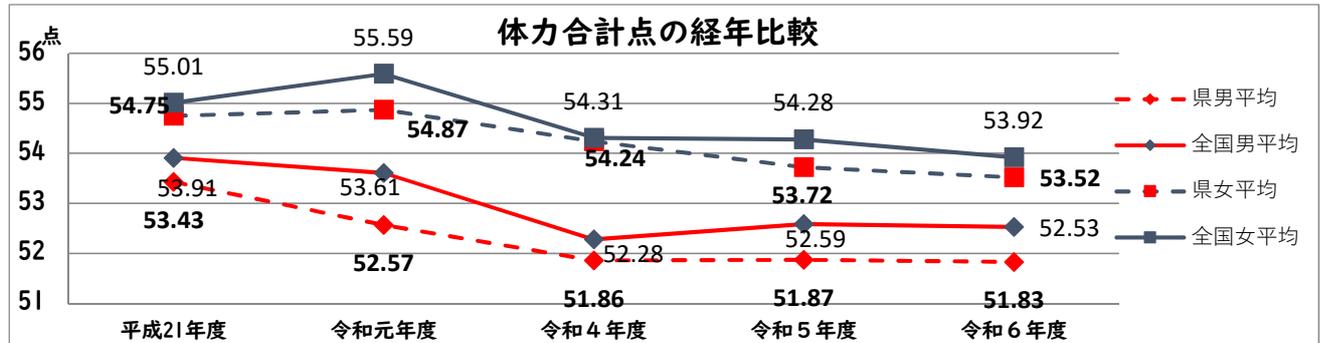
- 全国平均と比較すると、男女ともに、重い状況である。
- 県、全国ともに令和5年度との比較において、男子は重くなり、女子は軽くなっている。
- 県平均と全国平均との差については、男子は重い状況になり、女子は、平成30年度以降、重い状況が続いている。

## 2 実技に関する調査結果概要

### (1) 本県の体力合計点に関する調査の結果

#### ア 【小学校】

小学校		平成21年度			令和元年度 (コロナ前)			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		県平均	全国平均	県平均の 全国平均 との差	県平均	全国平均	県平均の 全国平均 との差	県平均	全国平均	県平均の 全国平均 との差	県平均	全国平均	県平均の 全国平均 との差	県平均	全国平均	県平均の 全国平均 との差
	5年男子	53.43	53.91	-0.48	52.57	53.61	-1.04	51.86	52.28	-0.42	51.87	52.59	-0.72	51.83	52.53	-0.70
	5年女子	54.75	55.01	-0.26	54.87	55.59	-0.72	54.24	54.31	-0.07	53.72	54.28	-0.56	53.52	53.92	-0.40

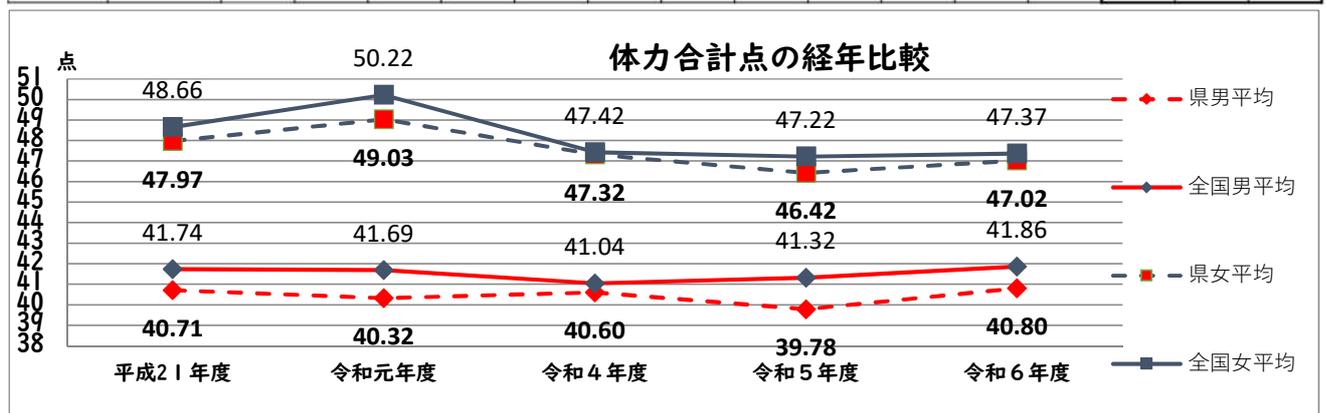


#### 〈現状〉

- 全国平均と比較すると、男子は0.7点、女子は0.4点低い結果になった。
- 令和5年度との比較において、全国男子は0.06点低くなっているところに、県男子は0.04点低くなった。また、全国女子は0.36点低くなっているところに県女子は0.20点低くなった。
- 県平均と全国平均との差については、令和5年度よりも縮まっている。

#### イ 【中学校】

中学校		平成21年度			令和元年度 (コロナ前)			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		県平均	全国平均	県平均の 全国平均 との差	県平均	全国平均	県平均の 全国平均 との差	県平均	全国平均	県平均の 全国平均 との差	県平均	全国平均	県平均の 全国平均 との差	県平均	全国平均	県平均の 全国平均 との差
	2年男子	40.71	41.74	-1.03	40.32	41.69	-1.37	40.60	41.04	-0.44	39.78	41.32	-1.54	40.80	41.86	-1.06
	2年女子	47.97	48.66	-0.69	49.03	50.22	-1.19	47.32	47.42	-0.10	46.42	47.22	-0.80	47.02	47.37	-0.35



#### 〈現状〉

- 全国平均と比較すると、男子は1.06点低い結果となり、女子は0.35点低い結果となった。
- 令和5年度との比較において、全国男子は0.54点低くなっているところに、県男子は1.02点低くなった。また、全国女子は0.15点低くなっているところに県女子は0.60点低くなった。
- 県平均と全国平均との差については、男女ともに令和5年度より縮まっている。

## (2) 体力合計点の度数分布

### 体力合計点の度数分布のグラフについて

※ 体力合計点の総合評価は、実技項目（8項目）の記録を、1点から10点に得点化し、その8項目の合計点をA、B、C、D、Eの段階に区分したものです。

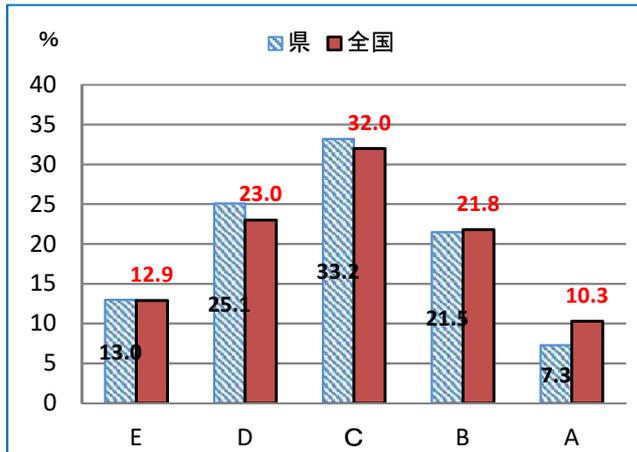
○小学校 A：65以上 B：58～64 C：50～57 D：42～49 E：41以下

○中学校 A：57以上 B：47～56 C：37～46 D：27～36 E：26以下

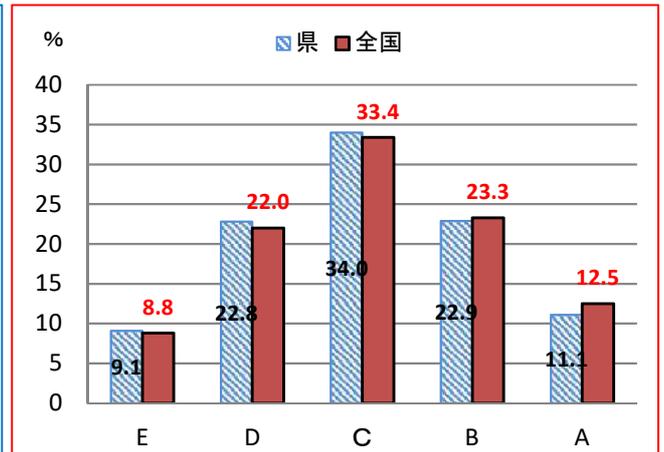
※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合（%）を示しています。

### ア 【小学校】

#### 〔男子〕



#### 〔女子〕

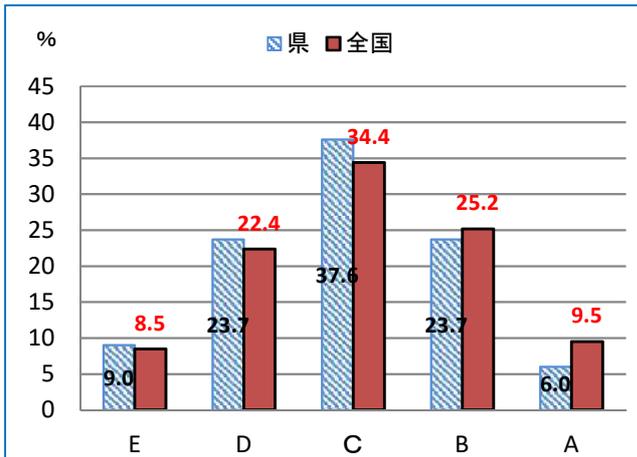


#### 〈現状〉

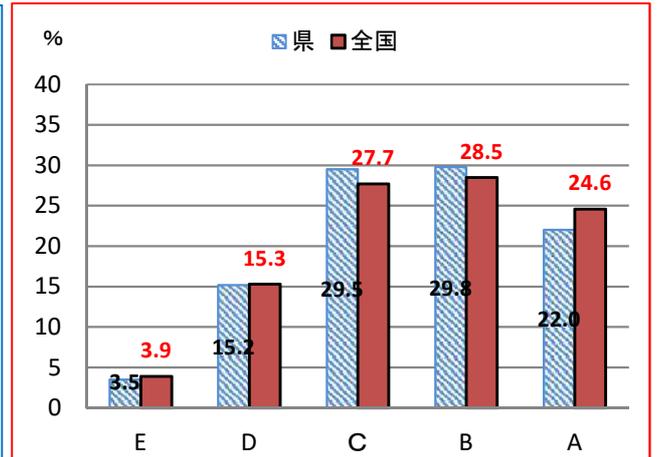
- 全国と比較すると、男子のA+B+C（割合）は、2.1%低い。特に、Aの割合が、3.0%も低い。
- 全国と比較すると、女子のA+B+C（割合）は、1.2%低い。

### イ 【中学校】

#### 〔男子〕



#### 〔女子〕



#### 〈現状〉

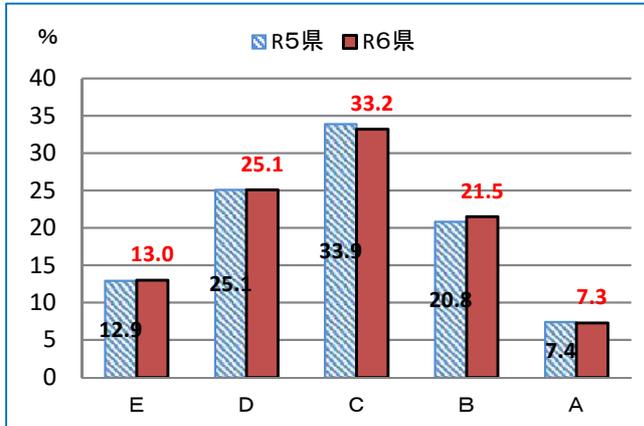
- 全国と比較すると、男子のA+B+C（割合）は、1.8%低い。
- 全国と比較すると、女子のA+B+C（割合）は、0.5%高い。

(3) 体力合計点の度数分布の令和5年度との比較

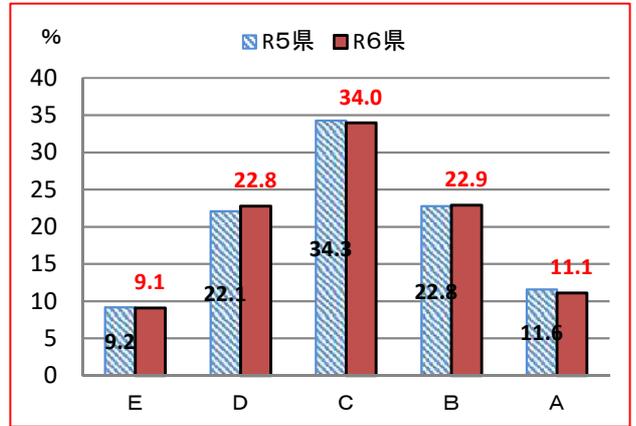
※ AB-DE値について  
 全体的な体力の状況をとらえる指標の1つで、体力合計点Cをはさんで、Cよりも高いABとCよりも低いDEの差をみるものである。

ア 【小学校】

〔男子〕



〔女子〕



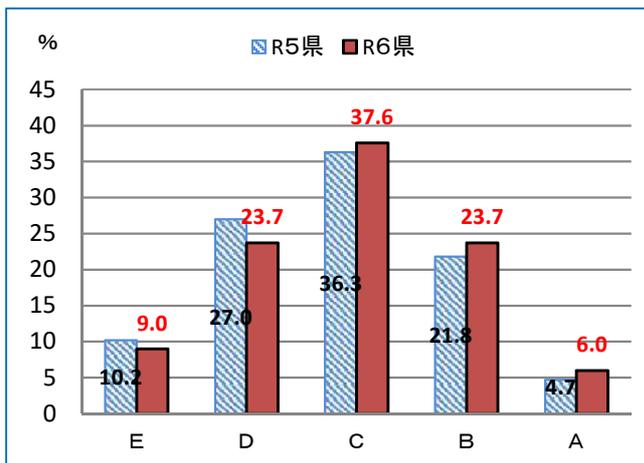
	A	B	D	E	AB-DE値	増減	A	B	D	E	AB-DE値	増減
R5年度	7.4	20.8	25.1	12.9	-9.8		11.6	22.8	22.1	9.2	3.1	
R6年度	7.3	21.5	25.1	13.0	-9.3	↑	11.1	22.9	22.8	9.1	2.1	↓

〈現状〉

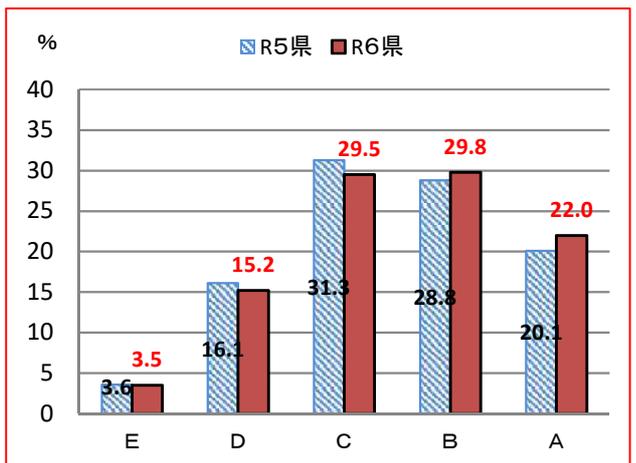
- 男子は、AB-DE値が-9.3ポイントとなっており、令和5年度より0.5ポイント高くなっている。
- 女子は、AB-DE値が2.1ポイント高くなっているが、令和5年度より1.0ポイント低くなっている。

イ 【中学校】

〔男子〕



〔女子〕



	A	B	D	E	AB-DE値	増減	A	B	D	E	AB-DE値	増減
R5年度	4.7	21.8	27.0	10.2	-10.7		20.1	28.8	16.1	3.6	29.2	
R6年度	6.0	23.7	23.7	9.0	-3.0	↑	22.0	29.8	15.2	3.5	33.1	↑

〈現状〉

- 男子は、AB-DE値が-3.0ポイントとなり、令和5年度より7.7ポイント高くなっている。
- 女子は、AB-DE値が33.1ポイントとなり、令和5年度より3.9ポイント高くなっている。

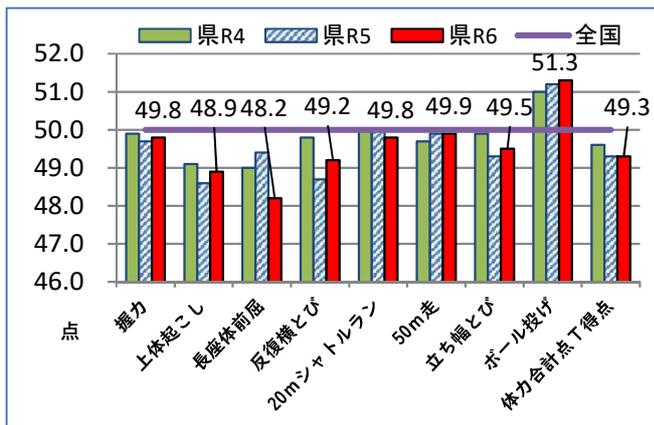
#### (4) 各実技調査項目のT得点結果について

##### 各実技調査項目のグラフについて

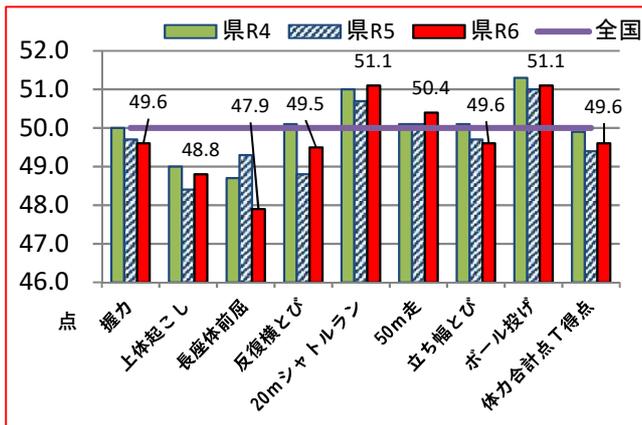
- ※ 実技調査項目は、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン（中学校は、持久走との選択）、50m走、立ち幅とび、ボール投げの8項目、及び体力合計点のT得点を示したものです。
- ※ T得点とは、全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較するものです。平均値50点、標準偏差10点の標準得点。「T得点=50+10×(調査結果-平均値)/標準偏差」で算出します。

#### ア 【小学校】

##### 〔男子〕



##### 〔女子〕

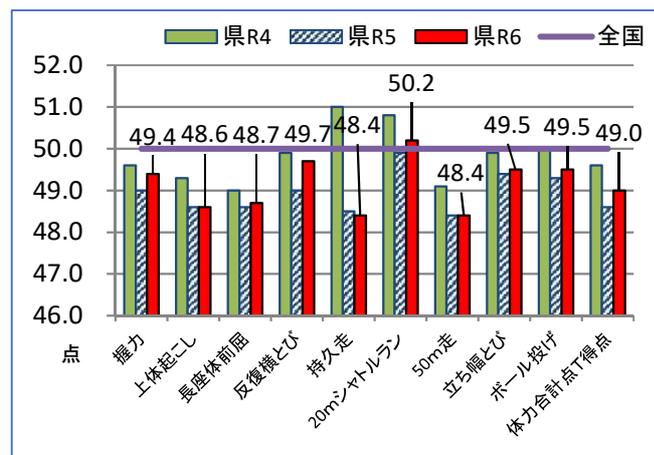


##### 〈現状及び課題〉

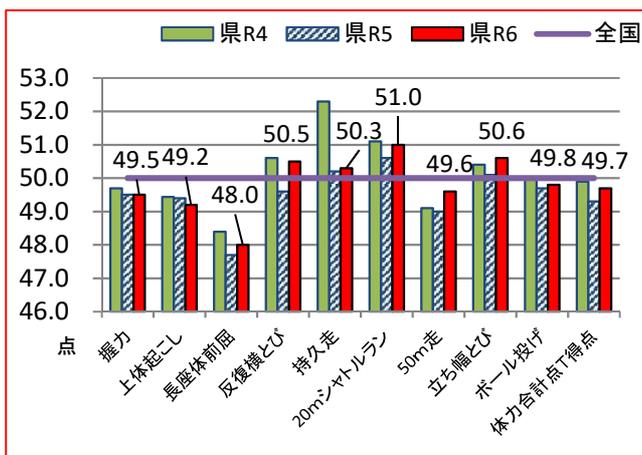
- T得点50以上の項目は、20mシャトルラン（女子）、ボール投げ（男女）、50m走（女子）である。
- 令和5年度より向上した項目数は、男子は5項目、女子は6項目である。
- T得点49以下の項目については、男子が2項目、女子が2項目であり、男女ともに上体起こしと長座体前屈に課題がある。

#### イ 【中学校】

##### 〔男子〕



##### 〔女子〕



##### 〈現状及び課題〉

- T得点50以上の項目は、反復横跳び（女子）、持久走（女子）、20mシャトルラン（女子）、立ち幅跳び（女子）である。
- 令和5年度より向上した項目数は、男子は7項目、女子は8項目である。
- 長座体前屈のT得点は、男女ともに7年連続して49以下であり、柔軟性に課題がある。
- 男子のT得点の49以下が4項目ある。

### 3 運動習慣等に関する調査結果概要

#### 運動時間（曜日別）グラフについて

※ 運動時間は、学校の体育の授業（保健体育）の授業以外で運動（体を動かす遊びを含む※注）やスポーツをした時間です。

・ ※ 注（体を動かす遊びを含む）の文言は、平成 26 年度の質問から追加されたものです。

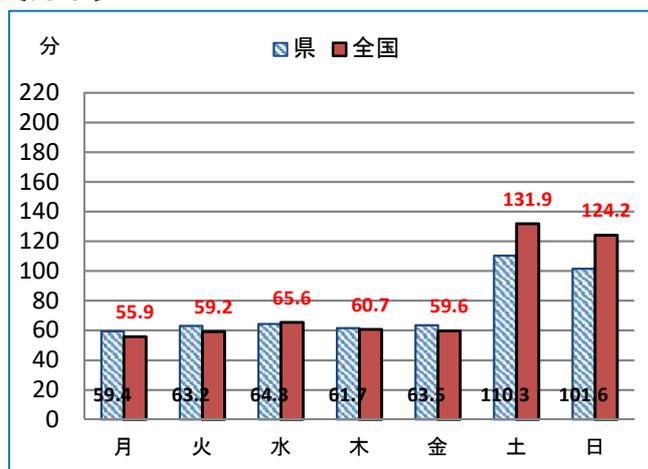
※ グラフの横軸は、曜日を示しています。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動時間（分）を示しています。

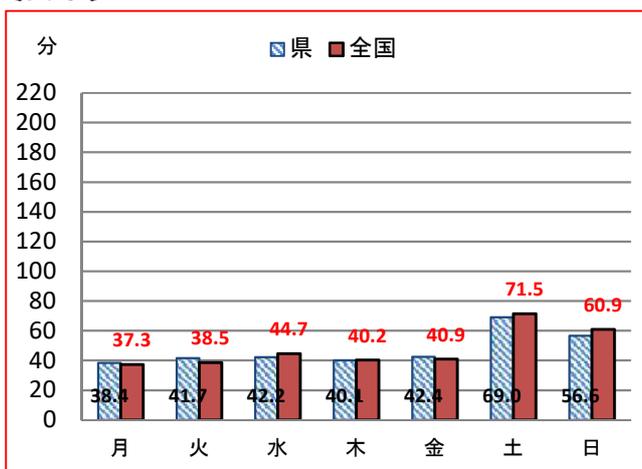
#### (1) 1週間の運動時間に関する全国との比較

##### ア 【小学校】

##### 〔男子〕



##### 〔女子〕

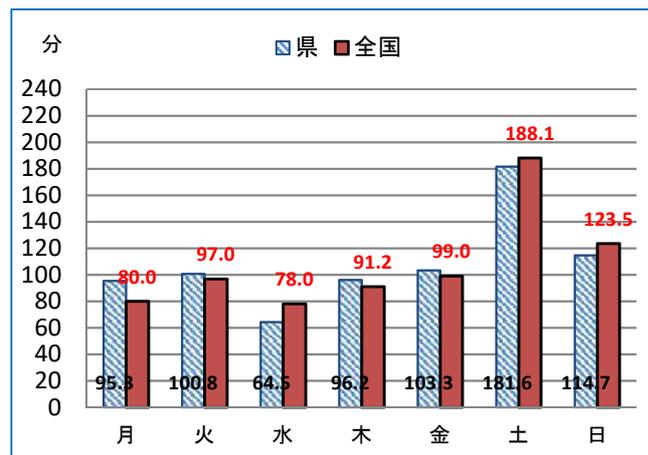


#### 〈現状〉

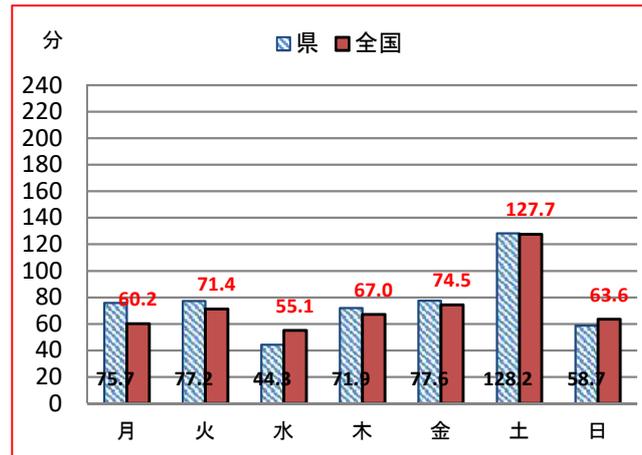
- 男女ともに平日は、全国とほとんど差が見られない。
- 男子は、土曜日は 21.6 分短く、日曜日は 22.6 分短い。

##### イ 【中学校】

##### 〔男子〕



##### 〔女子〕



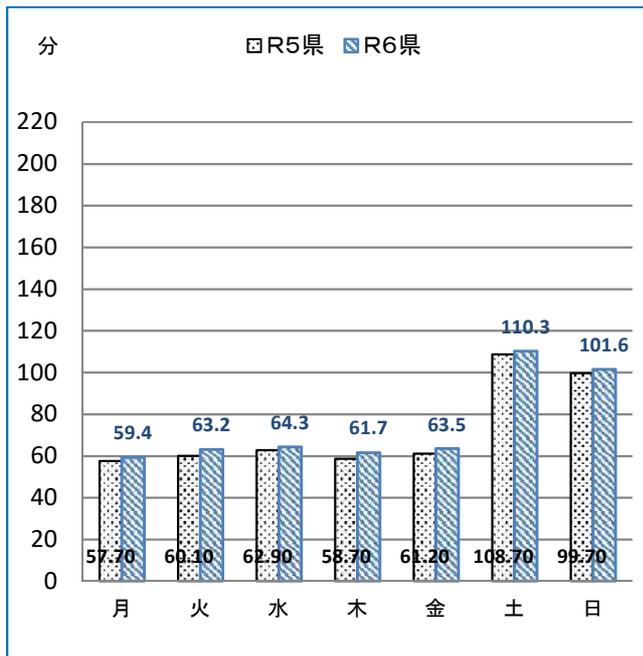
#### 〈現状〉

- 男女ともに平日の水曜日以外は、全国より長い場合ほとんど差が見られない。
- 男女ともに水曜日については、全国より短い。
- 土・日曜日については、男子の土曜日が 6.5 分短く、日曜日が 8.8 分短い。

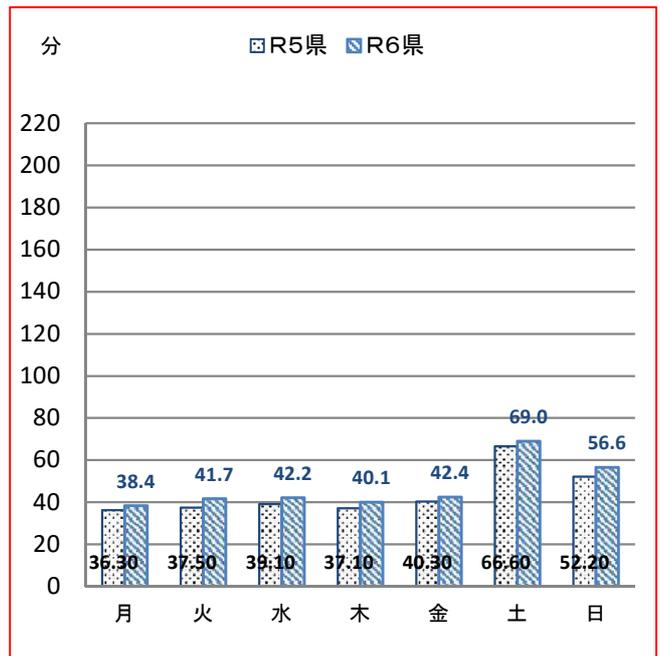
(2) 1週間の運動時間に関する令和5年度との比較

ア 【小学校】

〔男子〕



〔女子〕

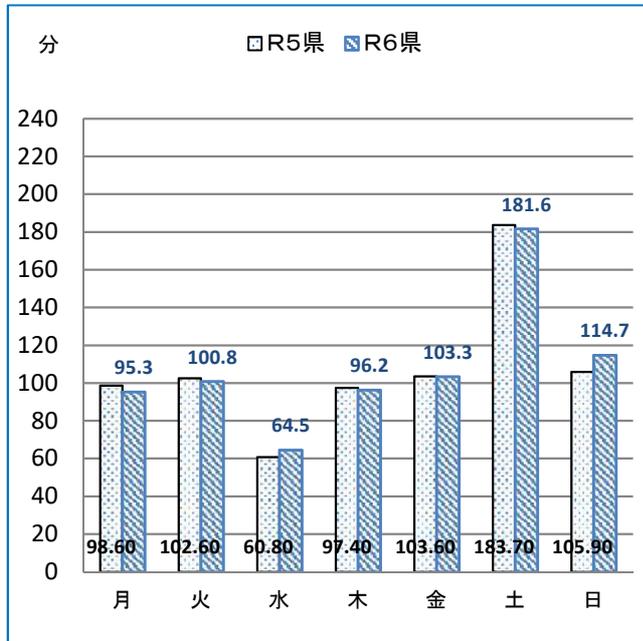


〈現状〉

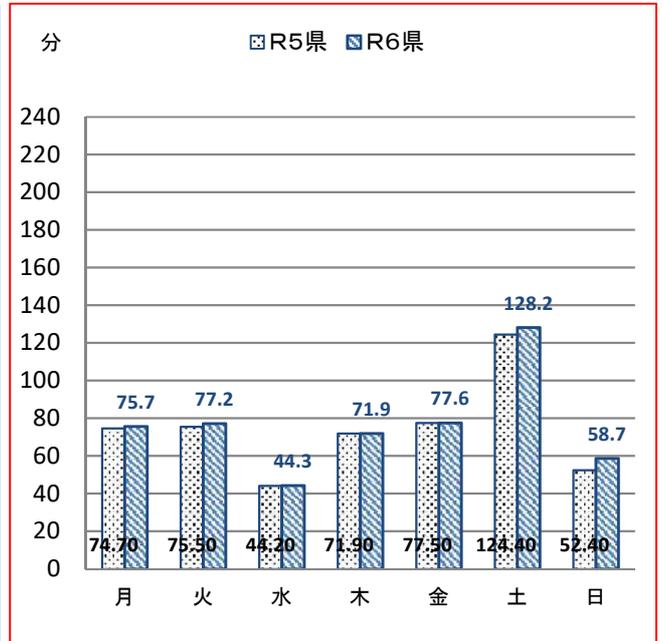
- 男女ともに、全ての曜日で令和5年度と運動時間はほとんど変わらない。
- 土・日曜日は、長くなっている。

イ 【中学校】

〔男子〕



〔女子〕



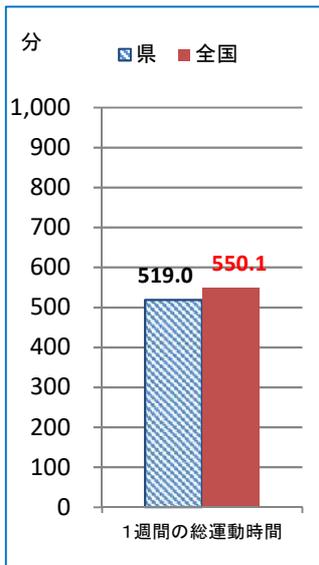
〈現状〉

- 男子は、月・火・木・土曜日で令和5年度より運動時間が短くなっている。
- 女子は、全ての曜日で令和5年度より運動時間が長くなっている。

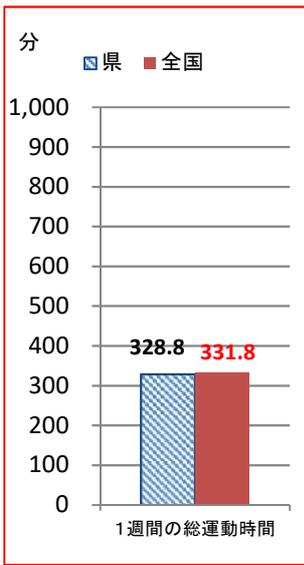
(3) 1週間の総運動時間における全国との比較

ア 【小学校】

〔男子〕

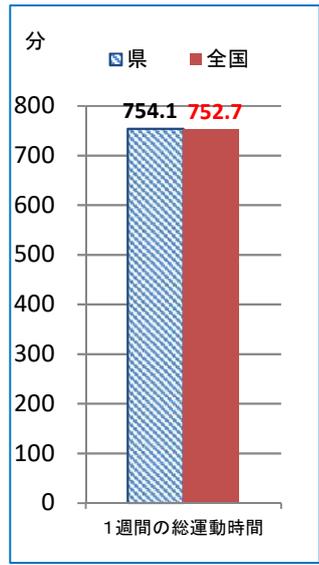


〔女子〕

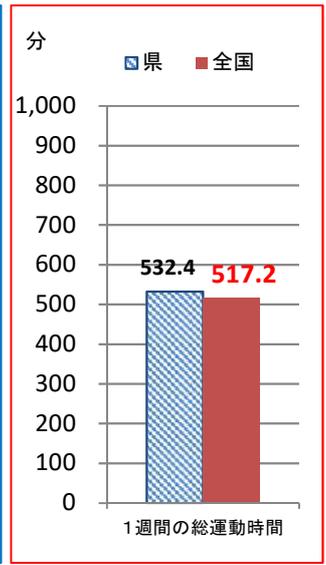


イ 【中学校】

〔男子〕



〔女子〕



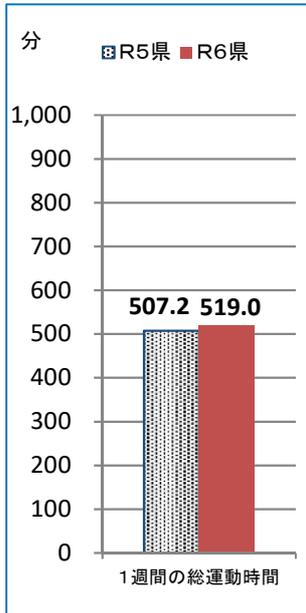
〈現状〉

- 小学校男子は、全国より 31.1 分短い、小学校女子は 3.0 分短い。
- 中学校男子は、全国より 1.4 分長く、中学校女子は 15.2 分長い。

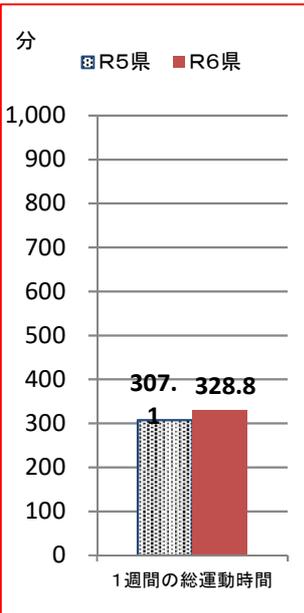
(4) 1週間の総運動時間の令和5年度との比較

ア 【小学校】

〔男子〕

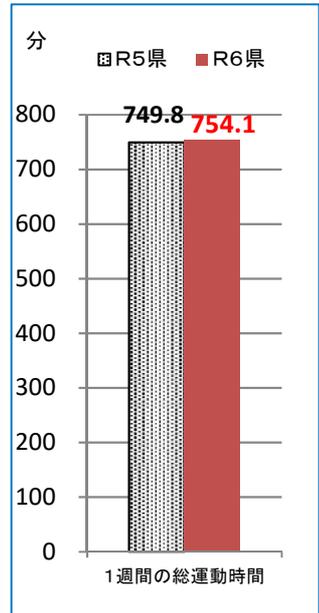


〔女子〕

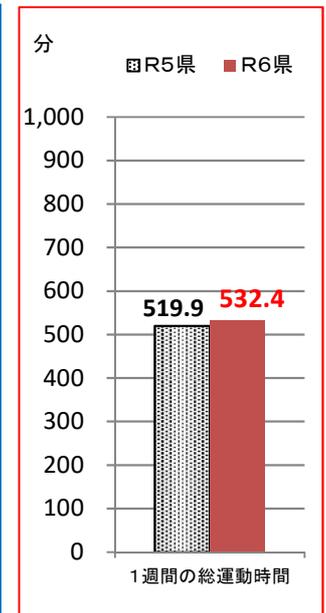


イ 【中学校】

〔男子〕



〔女子〕



〈現状〉

- 令和5年度と比較すると、小学校男子は 11.8 分、女子は 21.7 分長くなっている。
- 令和5年度と比較すると、中学校男子は 4.3 分、女子は 12.5 分長くなっている。

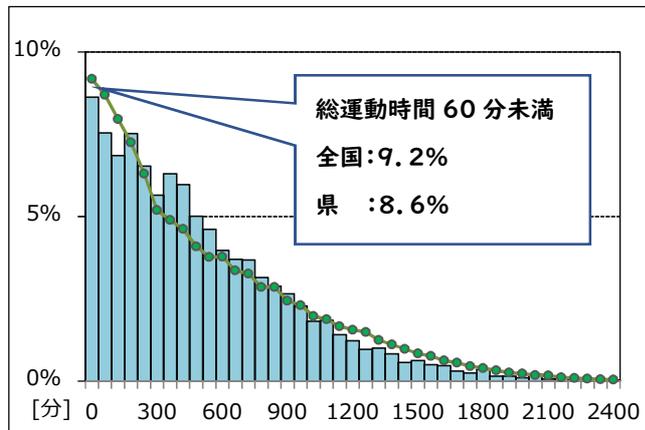
(5) 1週間の総運動時間(体育の授業を除く)の分布

1週間の総運動時間の分布を、横軸を60分の階級、縦軸を割合で表しています。

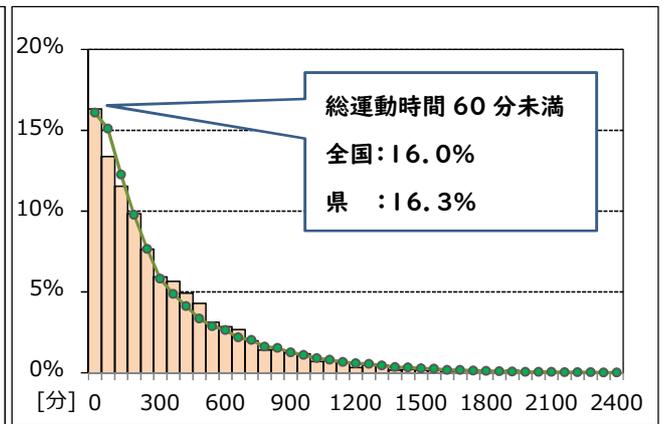
(0～59分, 60～119分, 120～179分 …… 2340～2400分)

ア 【小学校】

〔男子〕

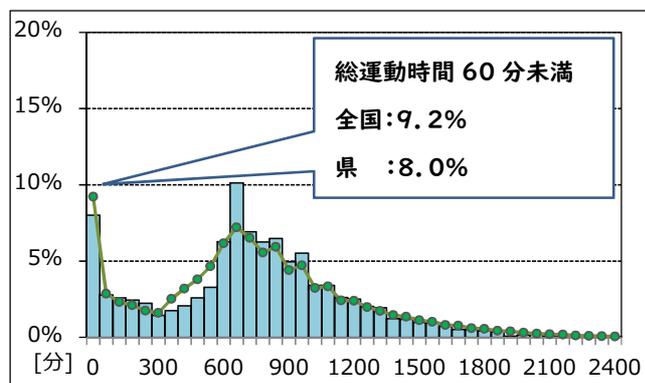


〔女子〕

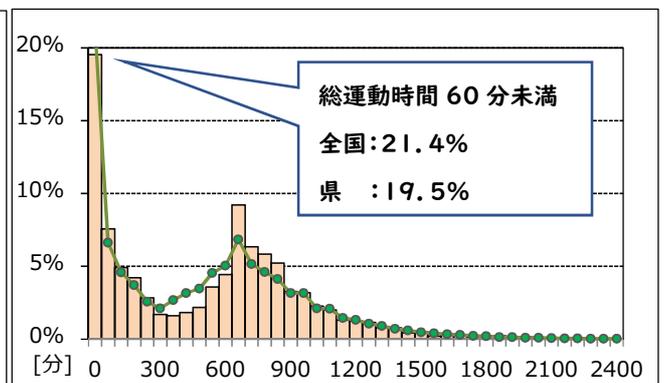


イ 【中学校】

〔男子〕



〔女子〕



校種	男女	全国・県	0分	60分未満	60分～420分未満	0分～420分未満計
小学校 第5学年	男子	県	4.5%	4.1%	40.4%	49.0%
		全国	4.8%	4.4%	40.3%	49.5%
	女子	県	6.5%	9.8%	54.0%	70.3%
		全国	7.0%	9.0%	55.4%	71.4%
中学校 第2学年	男子	県	6.3%	1.7%	13.3%	21.3%
		全国	7.5%	1.7%	13.2%	22.4%
	女子	県	14.0%	5.5%	22.9%	42.4%
		全国	16.6%	4.8%	22.3%	43.7%

〈現状〉

- 本県児童生徒の1週間の総運動時間の分布は、おおむね全国と同じ傾向である。
- 総運動時間420分未満の割合についてもおおむね全国と同じ傾向であるが、小学生・中学生の男女ともに、低い傾向である。

(6) 1週間の総運動時間 420分未満及び420分以上の児童生徒の推移

					R5年度比減	R5年度比増
	年度	0分	1～60分未満	60～420分未満	0～420分未満計	420分以上
小学校 第5学年男	R3	3.6%	4.1%	39.9%	47.6%	52.4%
	R4	3.8%	4.8%	41.1%	49.7%	50.3%
	R5	4.1%	4.6%	41.0%	49.7%	50.3%
	R6	4.5%	4.1%	40.4%	49.0%	51.0%
小学校 第5学年女	R3	4.4%	8.5%	55.7%	68.6%	31.4%
	R4	5.2%	9.6%	54.6%	69.4%	30.6%
	R5	6.1%	10.4%	56.8%	73.3%	26.7%
	R6	6.5%	9.8%	54.0%	70.3%	29.3%
中学校 第2学年男	R3	4.7%	2.0%	12.2%	18.9%	81.1%
	R4	4.8%	2.2%	13.4%	20.4%	79.6%
	R5	8.1%	1.7%	12.2%	22.0%	78.0%
	R6	6.3%	1.7%	13.3%	21.3%	78.7%
中学校 第2学年女	R3	9.8%	6.6%	23.6%	40.0%	60.0%
	R4	9.8%	5.5%	25.7%	41.0%	59.0%
	R5	16.5%	5.4%	20.3%	42.2%	57.8%
	R6	14.0%	5.5%	22.9%	42.4%	57.6%

〈現状〉

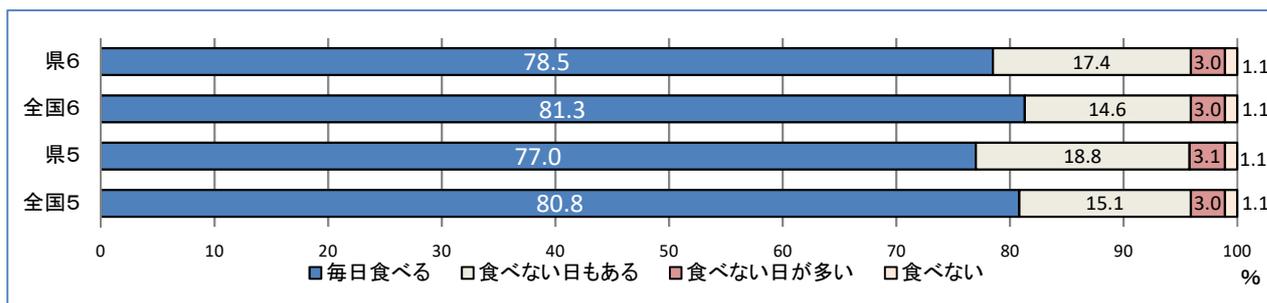
- 小学校男女・中学校男子は、令和5年度と比較すると1週間の総運動時間0～420分未満の割合が減少している。
- 中学校女子は、1週間の総運動時間が0～420分未満の割合が増え、420分以上の割合が減少している。
- 1週間の総運動時間が0分の児童生徒については、特に中学校女子の割合が依然として高い。

## 4 生活習慣等に関する調査結果概要

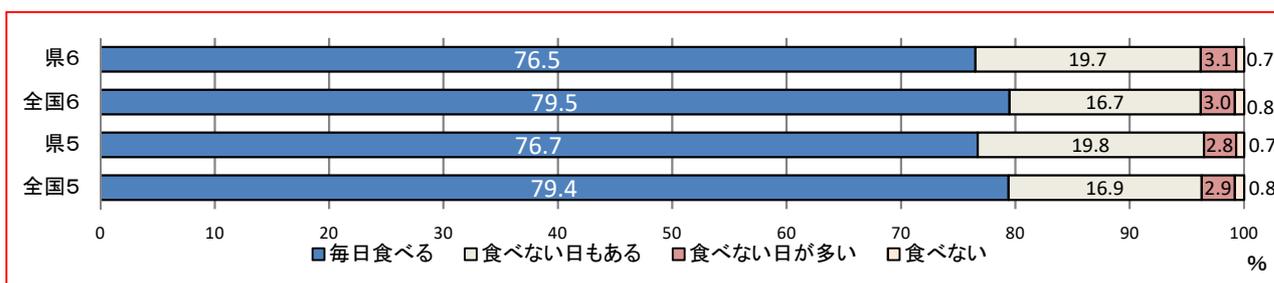
### (1) 朝食の摂取状況（学校が休みの日も含める）の結果

#### ア 【小学校】

##### 〔男子〕



##### 〔女子〕

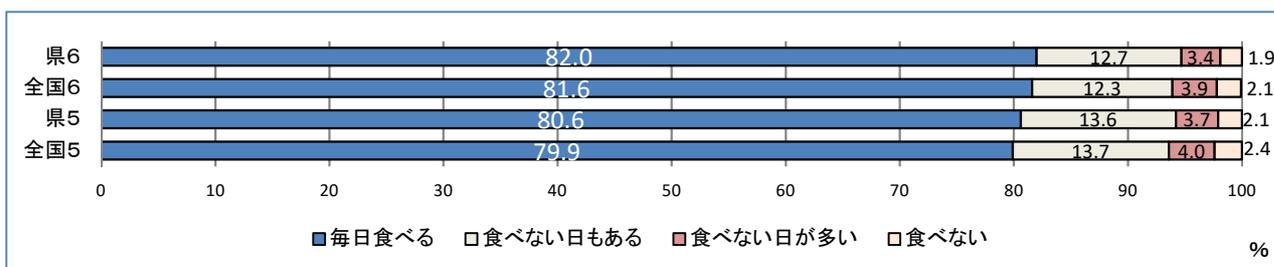


#### 〈現状〉

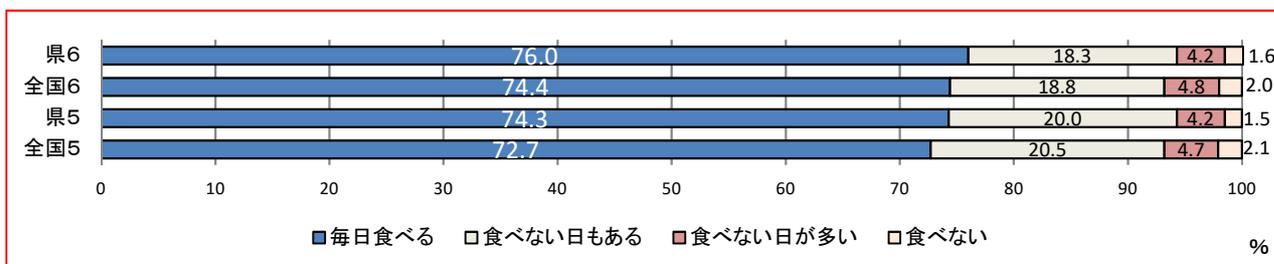
- 全国平均と比較すると朝食を「毎日食べる」と回答した割合は、男子は2.8%低く、女子は3.0%低い。
- 県の令和5年度平均と比較すると「毎日食べる」と回答した割合は、男子は1.5%増加、女子は0.2%減少した。

#### イ 【中学校】

##### 〔男子〕



##### 〔女子〕



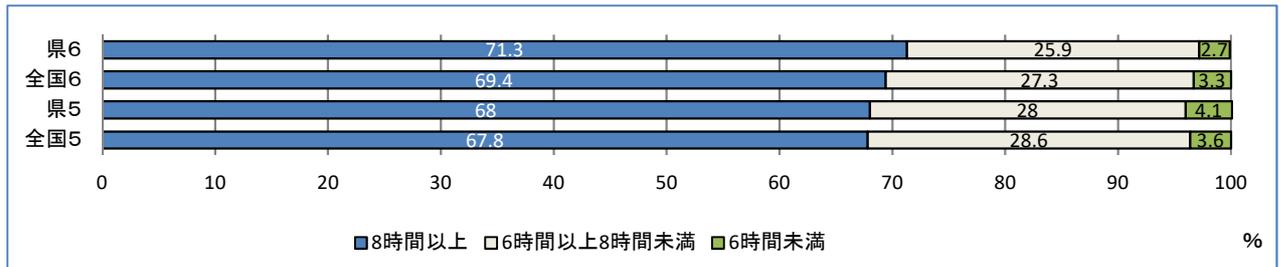
#### 〈現状〉

- 朝食を「毎日食べる」と回答した割合を全国平均と比較すると、男子は0.4%高く、女子が1.6%高い。
- 県の令和5年度平均と比較すると「毎日食べる」と回答した割合は、男子は1.4%増加、女子は1.7%増加した。

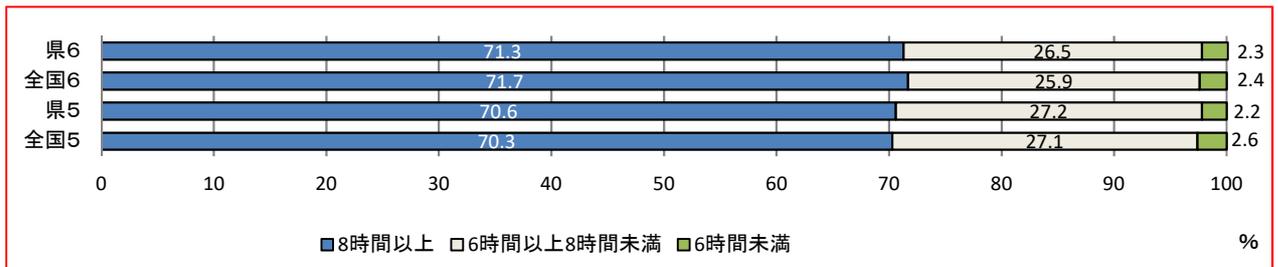
## (2) 1日の睡眠時間の結果

### ア 【小学校】

#### 【男子】



#### 【女子】

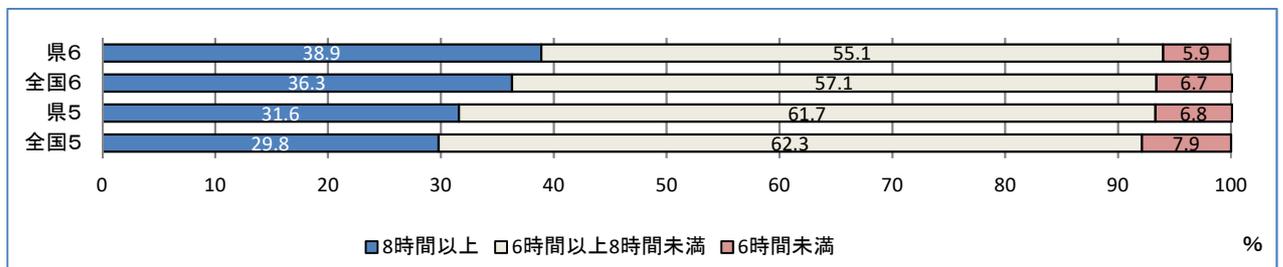


#### 〈現状〉

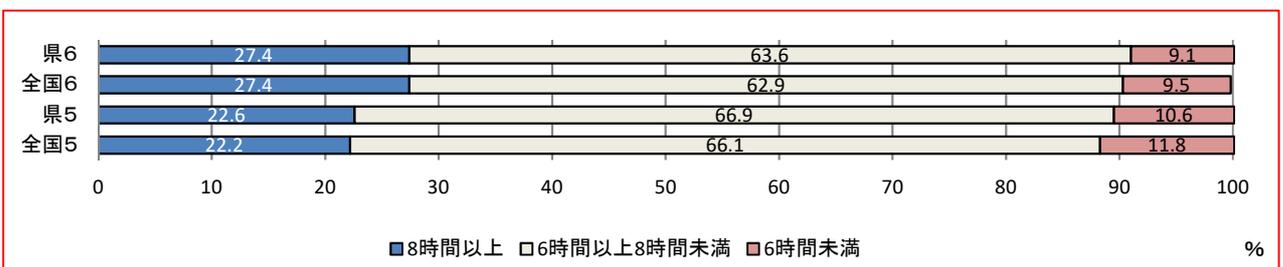
- 全国平均と比較すると、睡眠時間が「8時間以上」と回答した割合は、男子は1.9%高く、女子は0.4%低い。
- 県の令和5年度平均と比較すると、「8時間以上」と回答した割合は、男子は3.3%増加し。女子は0.7%増加した。

### イ 【中学校】

#### 【男子】



#### 【女子】



#### 〈現状〉

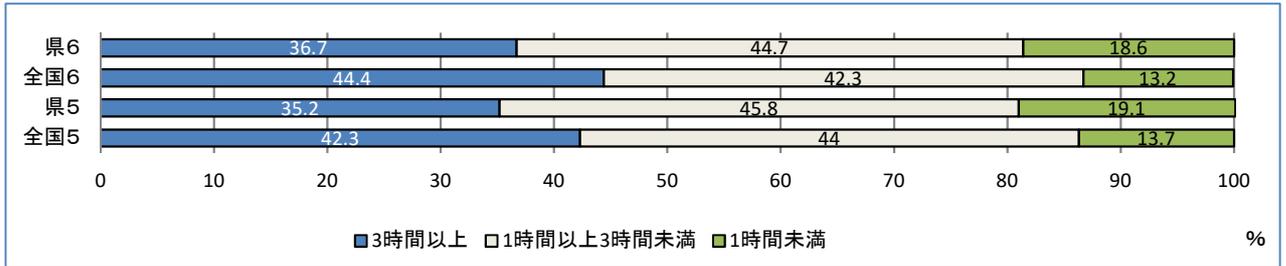
#### 【中学校】

- 全国平均と比較すると、睡眠時間が「8時間以上」と回答した割合は、男子は2.6%高く、女子は横ばいだった。
- 県の令和5年度平均と比較すると、「8時間以上」と回答した割合は、男子は7.3%増加し、女子は4.8%増加した。

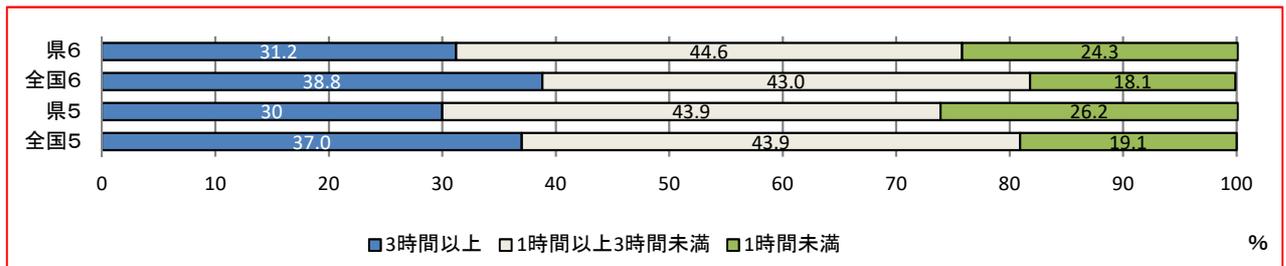
### (3) 平日のスクリーンタイムの結果

#### ア 【小学校】

##### 〔男子〕



##### 〔女子〕

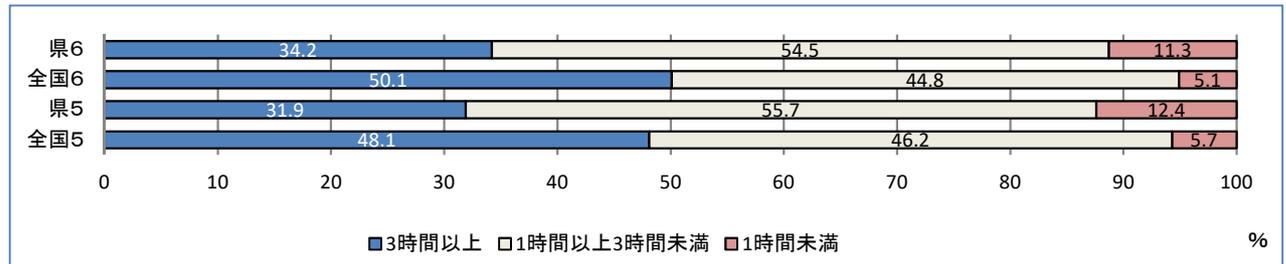


#### 〈現状〉

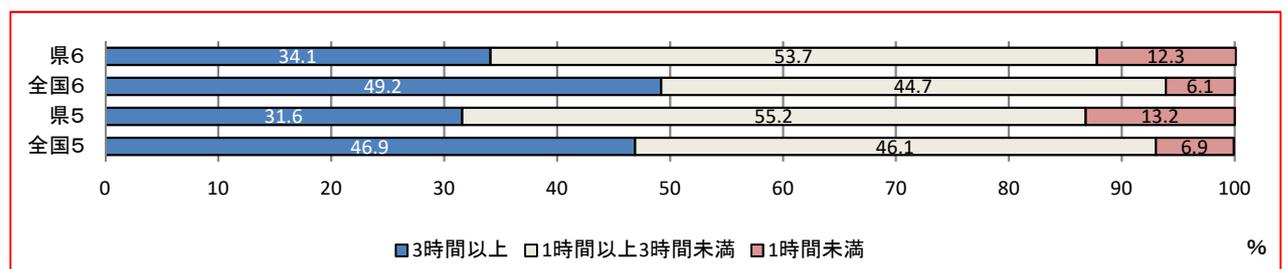
- 全国平均と比較すると、スクリーンタイムが「3時間以上」と回答した割合は、男子は7.7%低く、女子は7.6%低い。
- 県の令和5年度平均と比較すると、「3時間以上」と回答した割合は、男子は1.5%増加し、女子は1.2%増加している。

#### イ 【中学校】

##### 〔男子〕



##### 〔女子〕



#### 〈現状〉

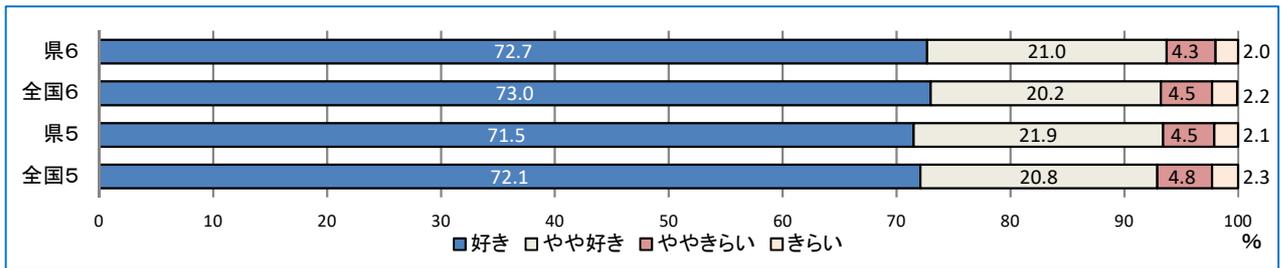
- 全国平均と比較すると、スクリーンタイムが「3時間以上」と回答した割合は、15.9%低く、女子は15.1%低い。
- 県の令和5年度平均と比較すると、「3時間以上」と回答した割合は、男子は2.3%増加し、女子は2.5%増加した。

## 5 運動やスポーツ，体育・保健体育の授業に関する調査結果概要

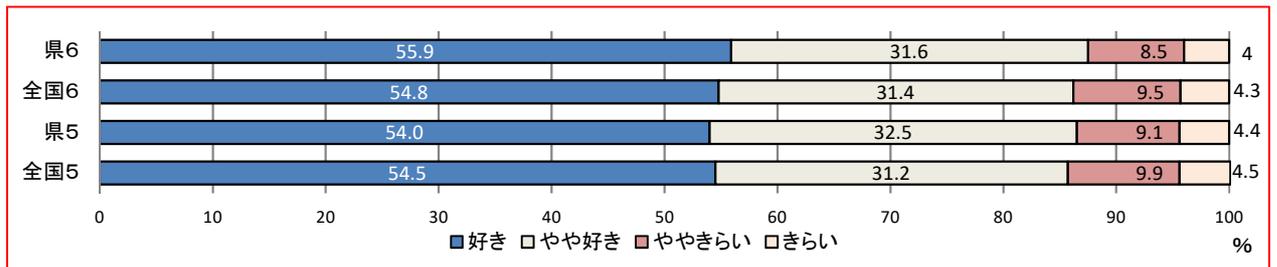
### (1) 運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることの好き・嫌い

#### ア 【小学校】

##### 〔男子〕



##### 〔女子〕

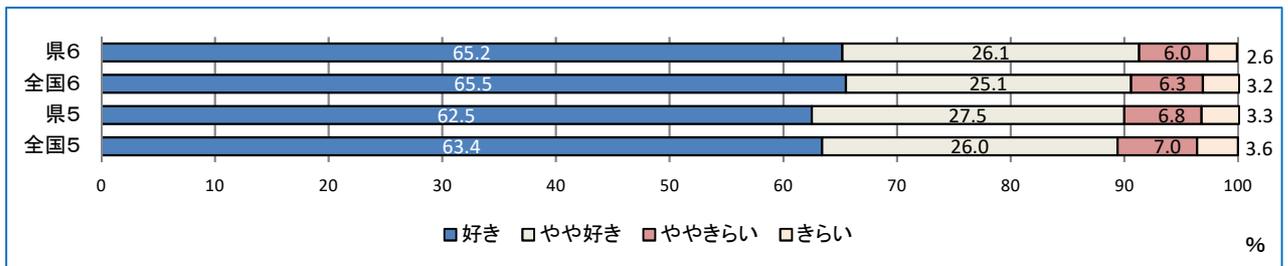


#### 〈現状〉

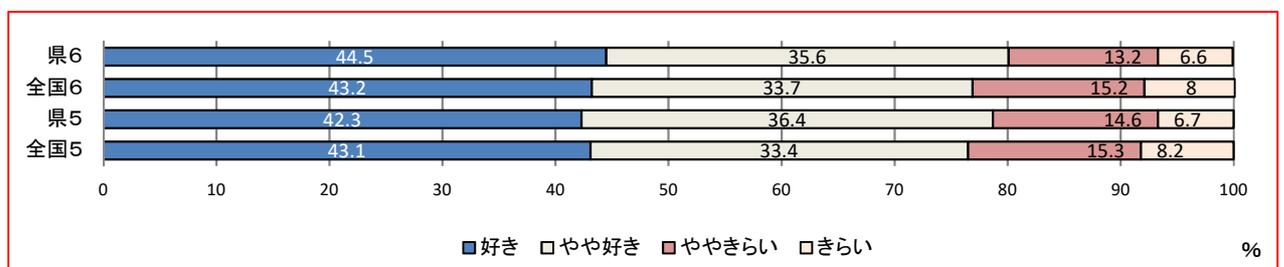
- 全国平均と比較すると，運動やスポーツをすることが「好き」と回答した割合は，男子は0.3%低く，女子は1.1%高い。
- 県の令和5年度平均と比較すると，運動やスポーツをすることが「好き」と回答した割合は，男子は1.2%増加し，女子は1.9%増加した。

#### ア 【中学校】

##### 〔男子〕



##### 〔女子〕



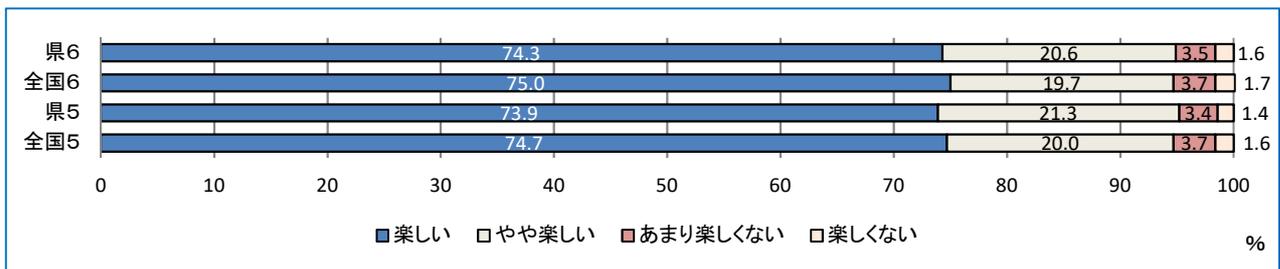
#### 〈現状〉

- 全国平均と比較すると，運動やスポーツをすることが「好き」と回答した割合は，男子は0.3%低く，女子は1.3%高い。
- 県の令和5年度平均と比較すると，運動やスポーツをすることが「好き」と回答した割合は，男子は2.7%増加し，女子は2.2%増加した。

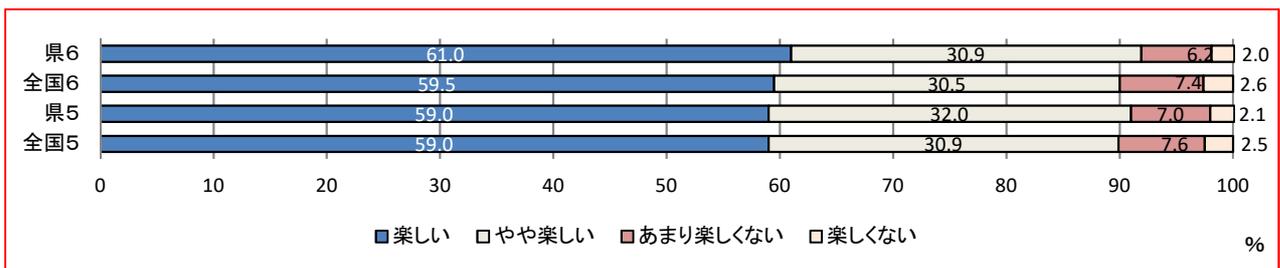
## (2) 体育（保健体育）の授業が楽しいか

### ア 【小学校】

#### 〔男子〕



#### 〔女子〕

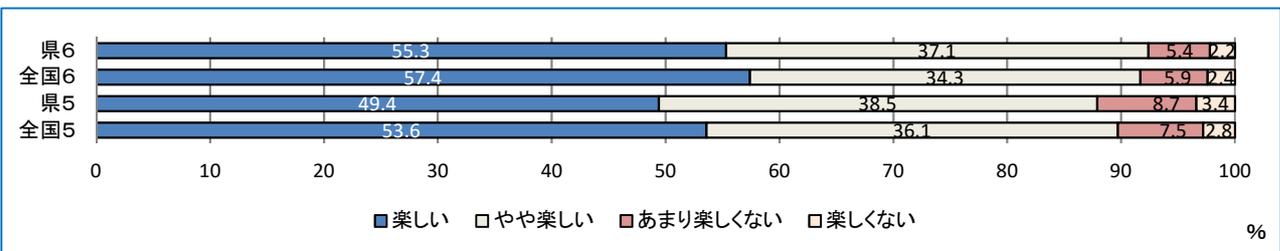


#### 〈現状〉

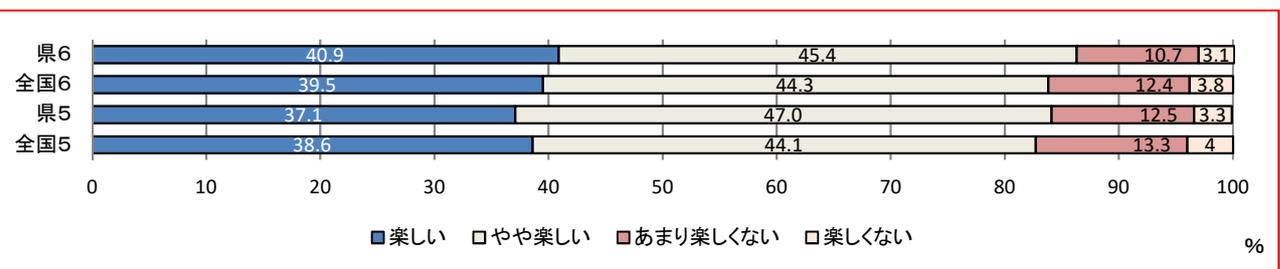
- 全国平均と比較すると、体育の授業が「楽しい」と回答した割合は、男子が0.7%低く、女子は1.5%高い。
- 県の令和5年度平均と比較すると、体育の授業が「楽しい」と回答した割合は、男子が0.4%増加し、女子は2.0%増加した。

### イ 【中学校】

#### 〔男子〕



#### 〔女子〕



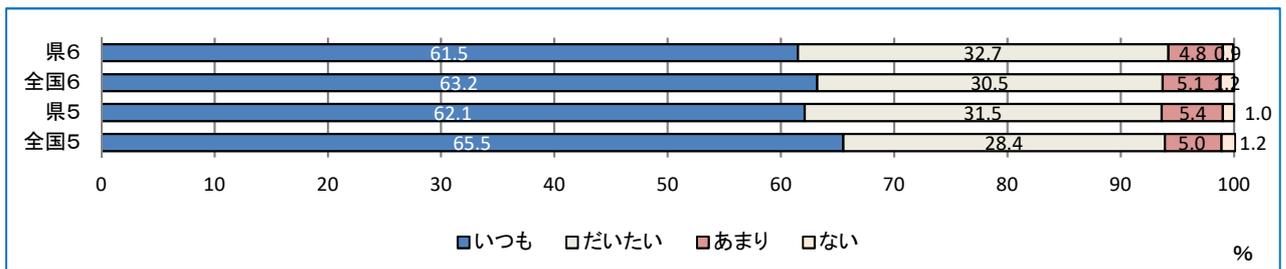
#### 〈現状〉

- 全国平均と比較すると、保健体育の授業が「楽しい」と回答した割合は、男子が2.1%低く、女子が1.4%高い。
- 県の令和5年度平均と比較すると、体育の授業が「楽しい」と回答した割合は、男子が5.9%増加し、女子が3.8%増加した。

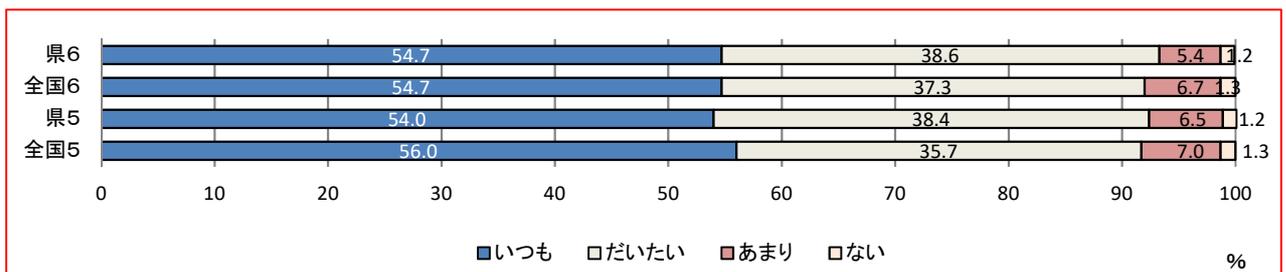
(3) 体育の授業に進んで参加しているか

ア 【小学校】

〔男子〕



〔女子〕

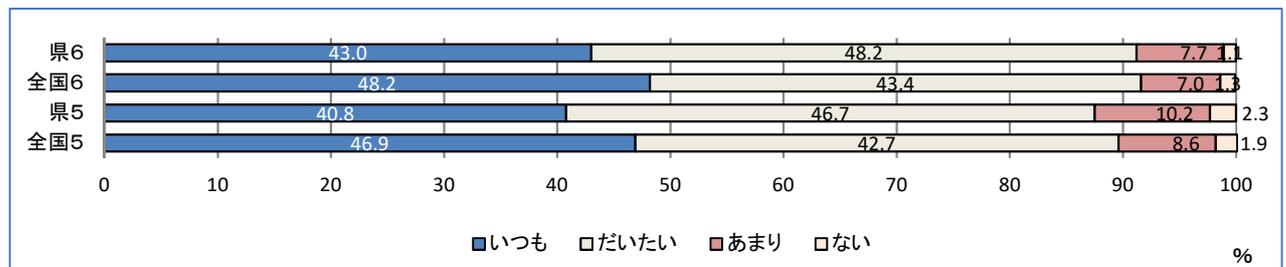


〈現状〉

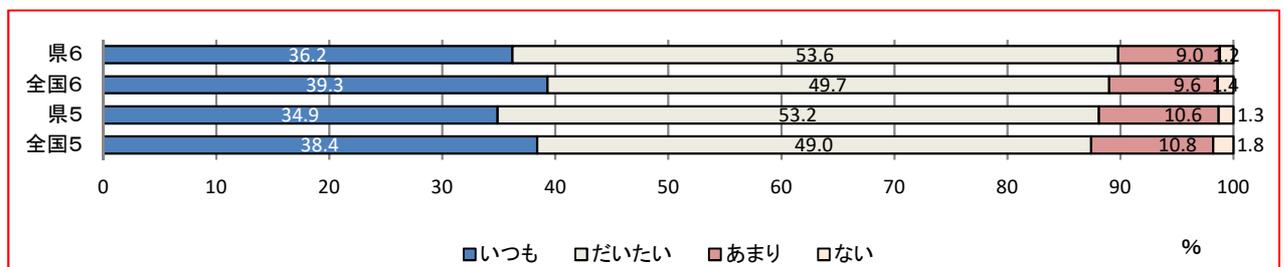
- 全国平均と比較すると、体育の授業に「いつも進んで学習している」と回答した割合は、男子が1.7%低く、女子が同じである。
- 令和5年度と比較すると、体育の授業に「いつも進んで学習している」と回答した割合は男子が0.6%低く、女子が0.7%高い。

イ 【中学校】

〔男子〕



〔女子〕



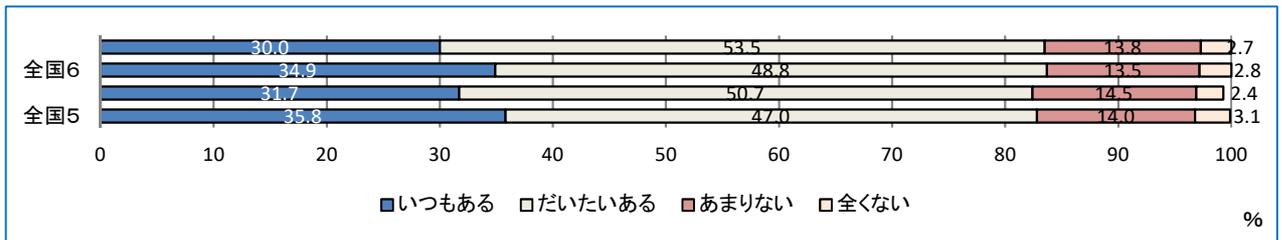
〈現状〉

- 全国平均と比較すると、体育の授業に「いつも進んで学習している」と回答した割合は、男子が5.2%低く、女子が3.1%低い。
- 令和5年度と比較すると、体育の授業に「いつも進んで学習している」と回答した割合は、男子は2.2%増加し、女子は1.3%増加した。

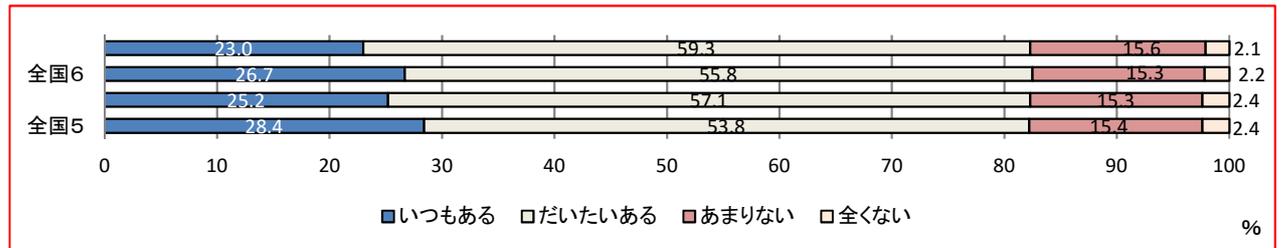
(4) 体育の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、「できたり・わかったり」することがあるか

ア 【小学校】

〔男子〕



〔女子〕

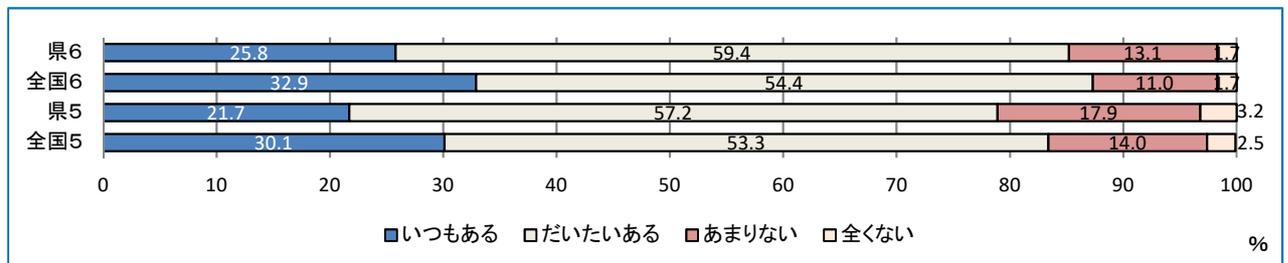


〈現状〉

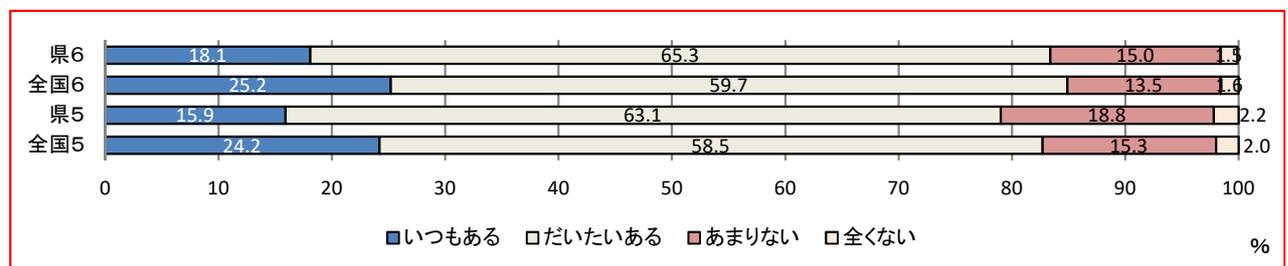
- 全国平均と比較すると、「いつもある」と回答した割合は男子は4.9%低く、女子は3.7%低い。
- 令和5年度と比較すると、「いつもある」と回答した割合は男子は1.7%低く、女子は2.2%低い。

イ 【中学校】

〔男子〕



〔女子〕



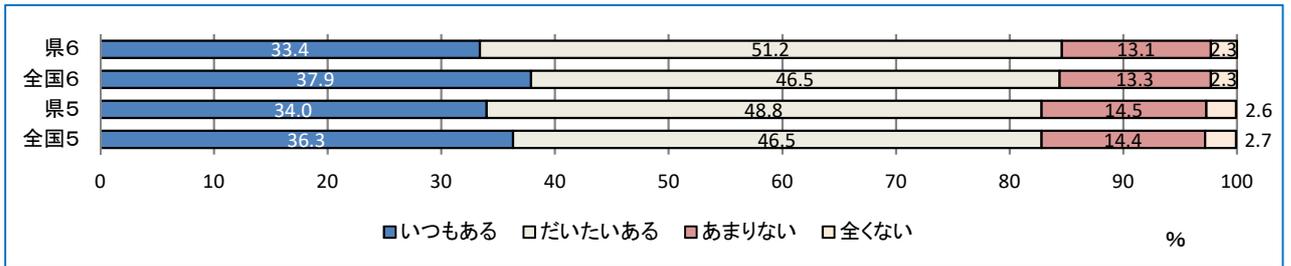
〈現状〉

- 全国平均と比較すると、「いつもある」と回答した割合は男子は7.1%低く、女子は7.1%低い。
- 令和5年度と比較すると、「いつもある」と回答した割合は、男子は4.1%増加し、女子は2.2%増加した。

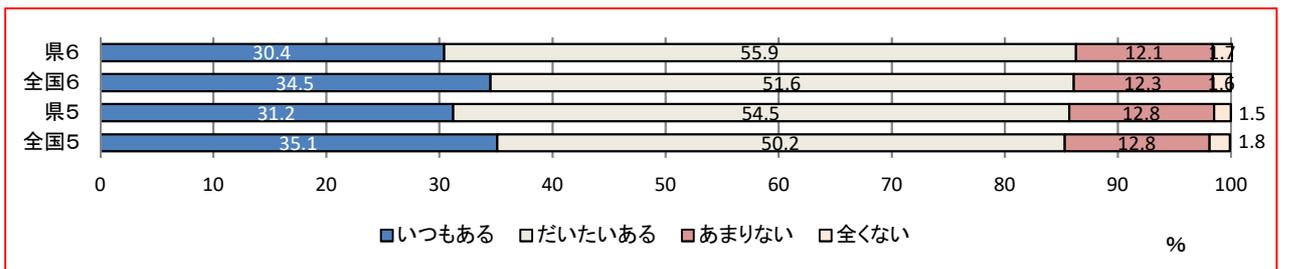
(5) 体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり・わかったり」することがあるか

ア 【小学校】

〔男子〕



〔女子〕

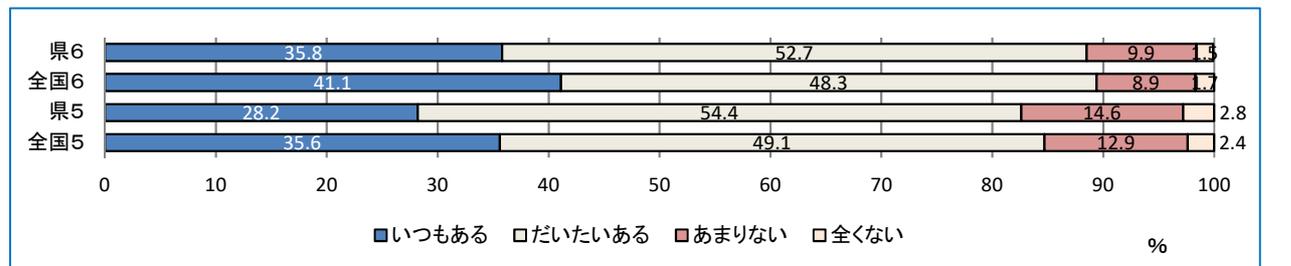


〈現状〉

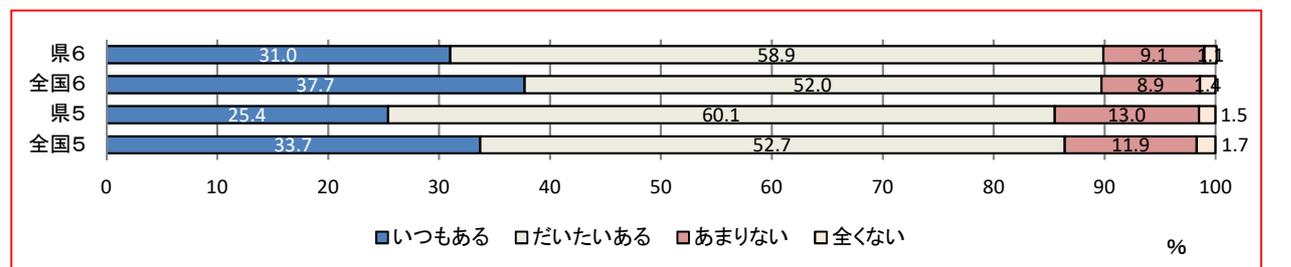
- 全国平均と比較すると、「いつもある」と回答した割合は、男子は4.5%低く、女子は4.1%低い。
- 令和5年度と比較すると、「いつもある」と回答した割合は、男子が0.6%減少し、女子が0.8%減少した。

イ 【中学校】

〔男子〕



〔女子〕



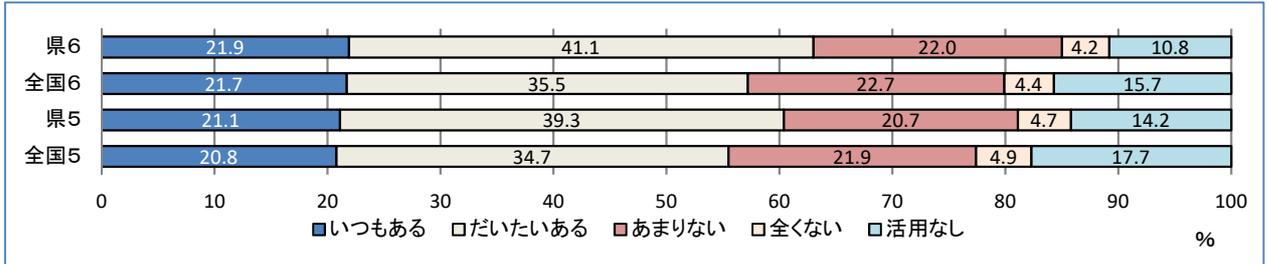
〈現状〉

- 全国平均と比較すると、「いつもある」と回答した割合は、男子は5.3%低く、女子は6.7%低い。
- 令和5年度と比較すると、「いつもある」と回答した割合は、男子が7.6%増加し、女子は5.6%増加した。

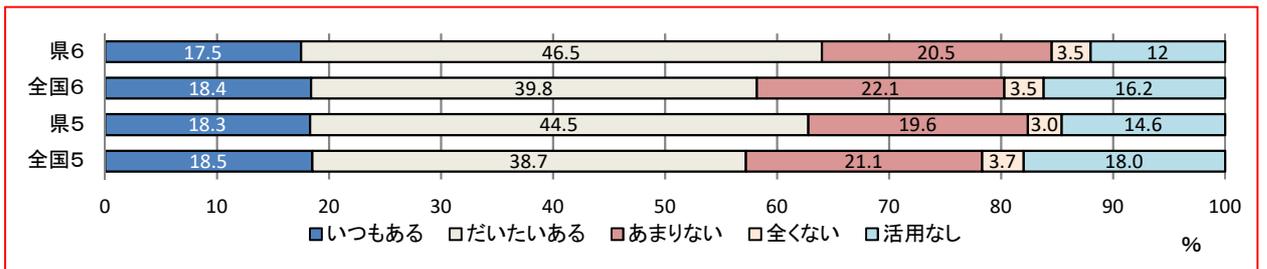
(6) 体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり・わかったり」することがあるか

ア 【小学校】

〔男子〕



〔女子〕

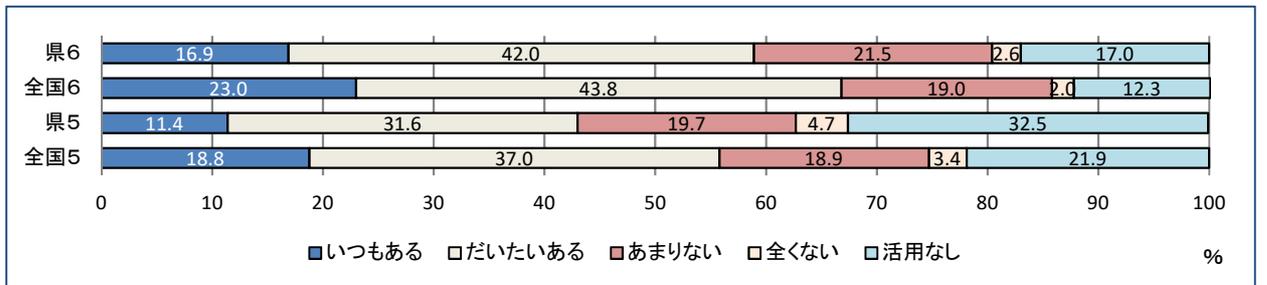


〈現状〉

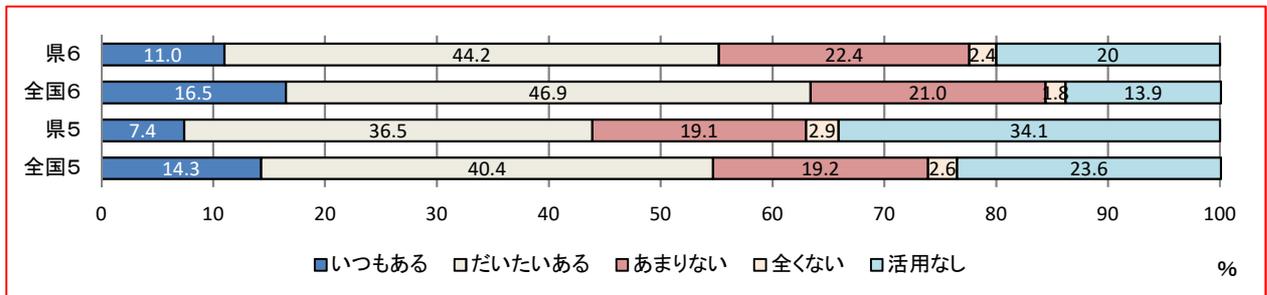
- 全国平均と比較すると、「活用していない」と回答した割合は男子が4.9%低く、女子が4.2%低い。
- 令和5年度と比較すると、「活用していない」と回答した割合は、男子が3.4%減少し、女子が2.6%減少した。

イ 【中学校】

〔男子〕



〔女子〕



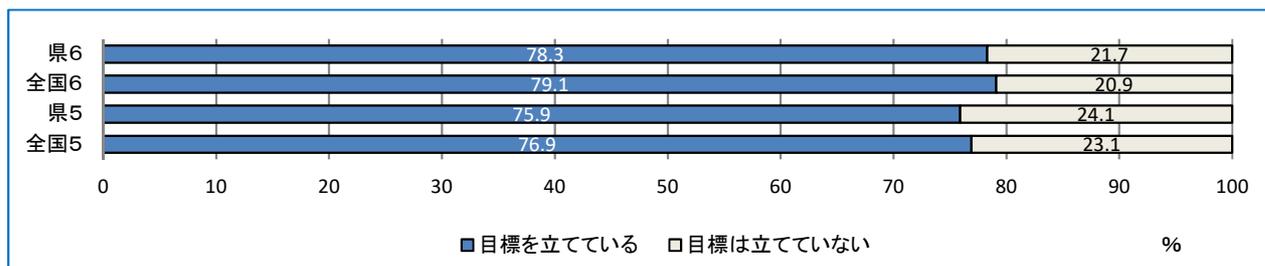
〈現状〉

- 全国平均と比較すると、「活用していない」と回答した割合は男子は4.7%高く、女子は6.1%高い。
- 令和5年度と比較すると、「活用していない」と回答した割合は男子が15.5%減少し、女子が14.1%減少した。

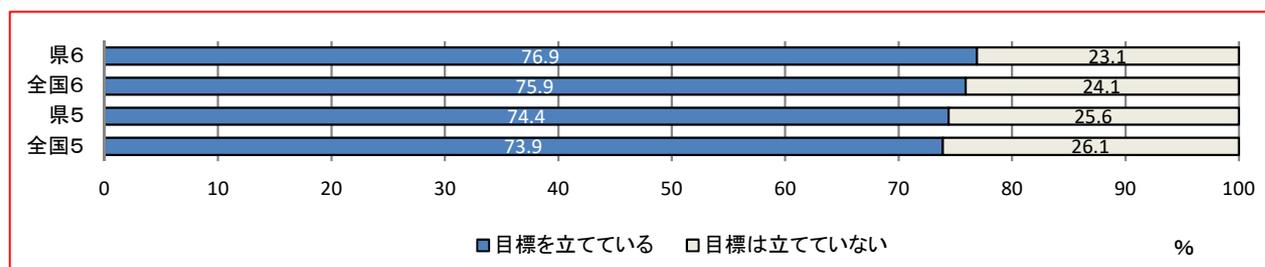
(7) 体力テストの結果や体力・運動能力の向上について自分なりの目標を立てているか

ア 【小学校】

〔男子〕



〔女子〕

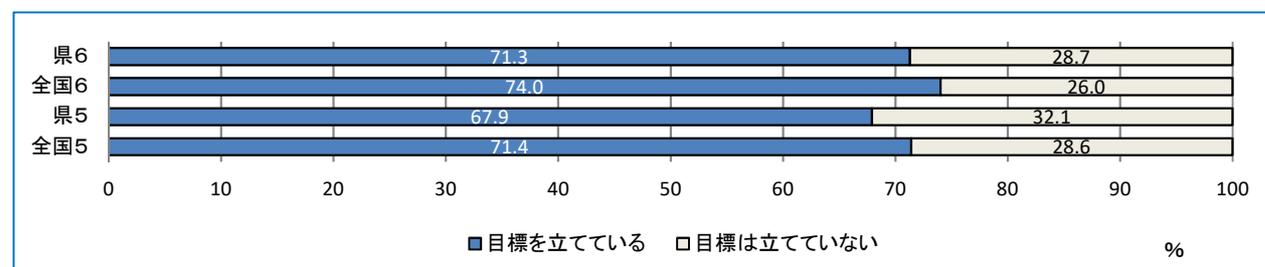


〈現状〉

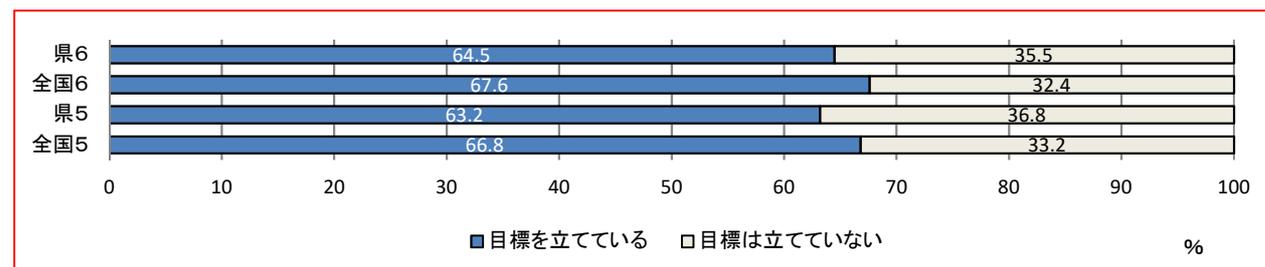
- 全国平均と比較すると、自分なりの「目標を立てている」と回答した割合は、男子が0.8%低く、女子は1.0%高い。
- 令和5年度と比較すると、自分なりの「目標を立てている」と回答した割合は、男子は2.4%増加し、女子は2.5%増加した。

イ 【中学校】

〔男子〕



〔女子〕



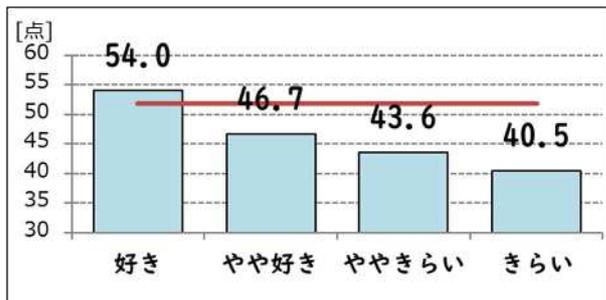
〈現状〉

- 全国平均と比較すると、自分なりの「目標を立てている」と回答した割合は、男子は2.7%低く、女子は3.1%低い。
- 令和5年度と比較すると、自分なりの「目標を立てている」と回答した割合は、男子は3.4%増加し、女子は1.3%増加した。

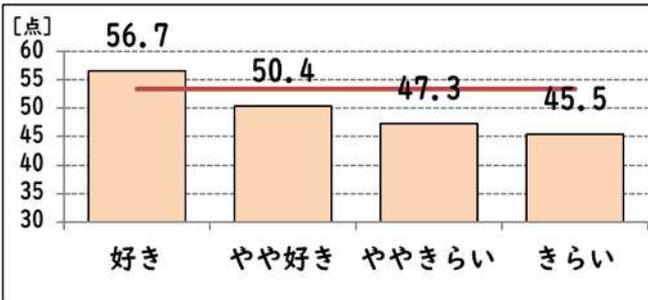
## 6 児童生徒の回答と体力合計点等とのクロス集計 ※グラフ内横線は県平均値

### (1) 「運動やスポーツが好き」と体力合計点

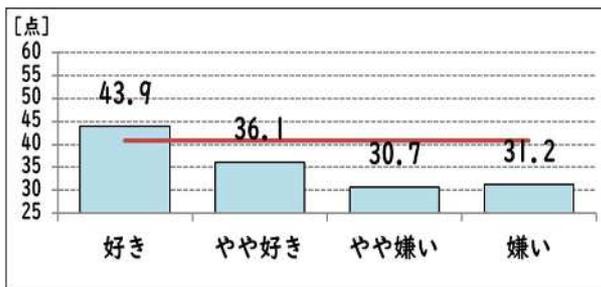
【小学校男子】



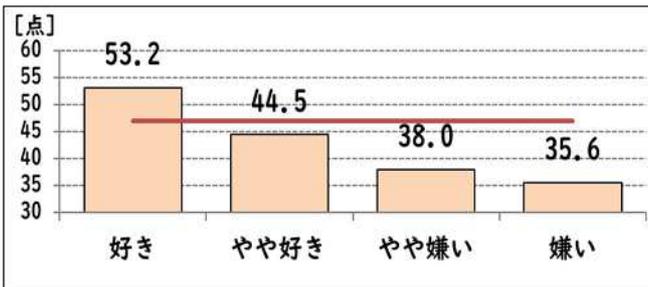
【小学校女子】



【中学校男子】



【中学校女子】

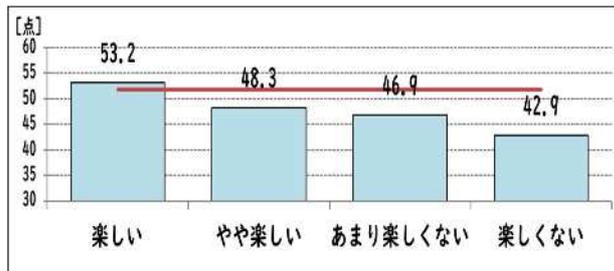


#### 〈現状及び考察〉

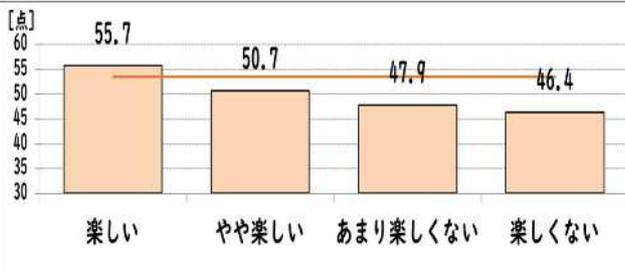
- 小中学校男女とも「運動が好き」と回答した児童生徒の体力合計点は高く、「運動が嫌い」と回答した児童生徒の体力合計点は低くなっている。
- ※ 「運動が好き」な児童生徒を育てる手立てを継続して行う必要がある。

### (2) 「体育の授業が楽しい」と体力合計点

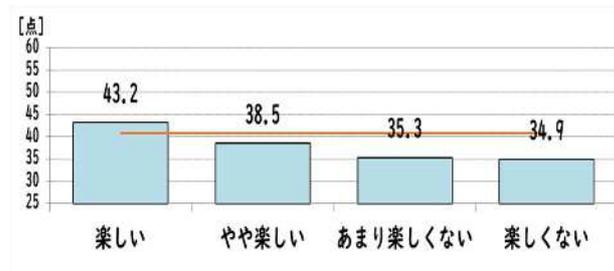
【小学校男子】



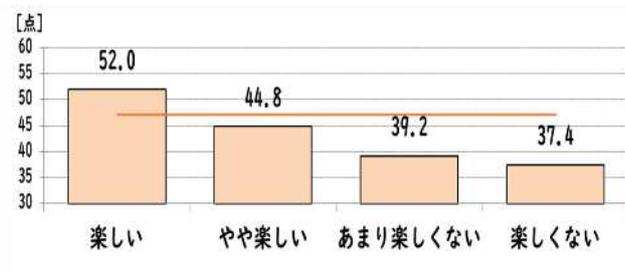
【小学校女子】



【中学校男子】



【中学校女子】

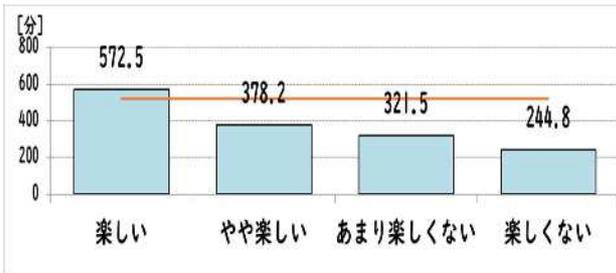


#### 〈現状及び考察〉

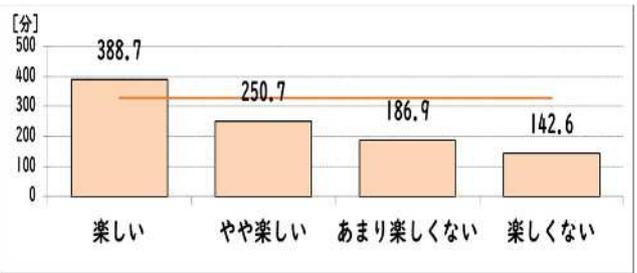
- 小中学校男女とも「体育の授業が楽しい」と回答した児童生徒の体力合計点は高く、「体育の授業が楽しくない」と回答した児童生徒の体力合計点は低くなっている。
- ※ 児童生徒の意欲を引き出す授業の在り方を検討し、実践する必要がある。

(3) 「体育の授業が楽しい」と1週間の総運動時間

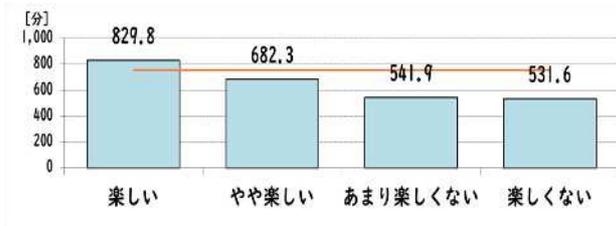
【小学校男子】



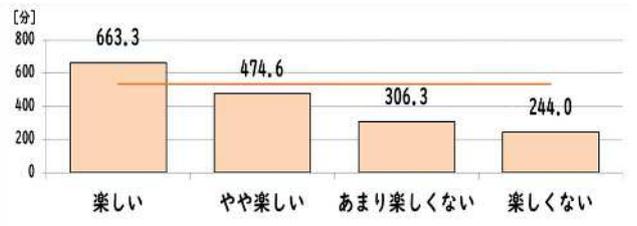
【小学校女子】



【中学校男子】



【中学校女子】

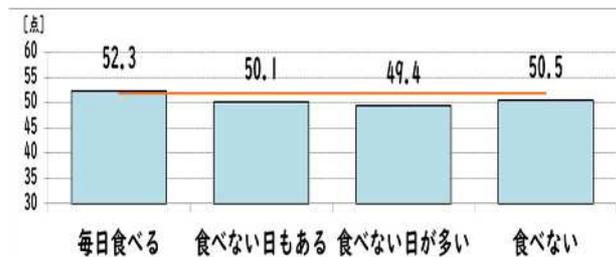


〈現状及び考察〉

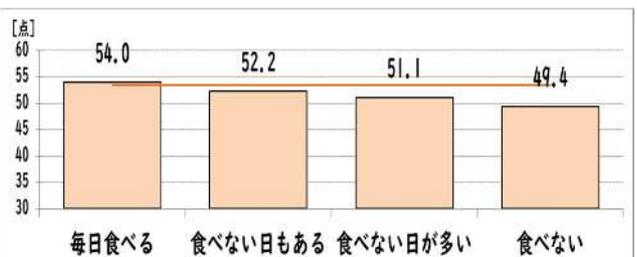
- 小中学校男女とも「体育の授業が楽しい」と回答している児童生徒の1週間の総運動時間は、「体育の授業が楽しくない」と回答している児童生徒より長くなっている。
- ※ 授業の工夫・改善を行い、児童生徒が運動の特性に触れたり、体を動かす楽しさや心地よさを実感したりすることで、運動の日常化へとつなげていくことが重要である。

(4) 「朝食を食べる」と体力合計点

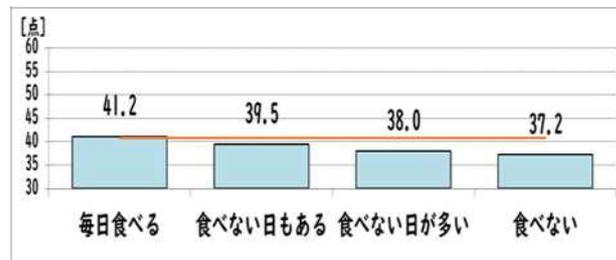
【小学校男子】



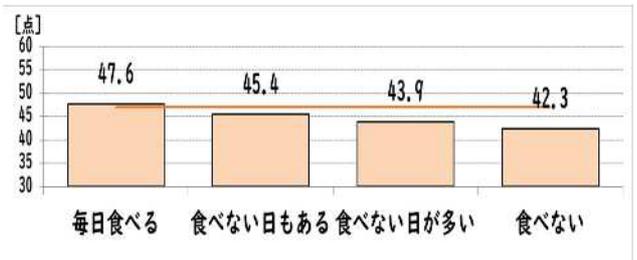
【小学校女子】



【中学校男子】



【中学校女子】

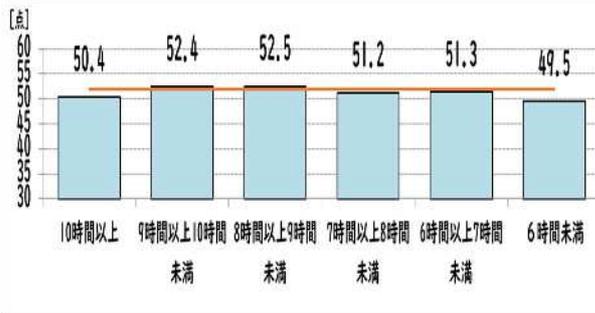


〈現状及び考察〉

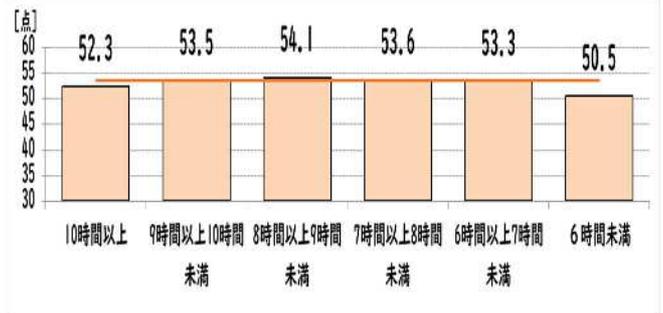
- 中学校男女とも朝食を「毎日食べる」と回答している児童生徒の体力合計点は、朝食を「食べない日もある」、「食べない日が多い」、「食べない」と回答している児童生徒と比べると高くなっている。
- ※ 生活習慣の確立と体力の向上は関連していることが伺える。

(5) 「睡眠時間」と体力合計点

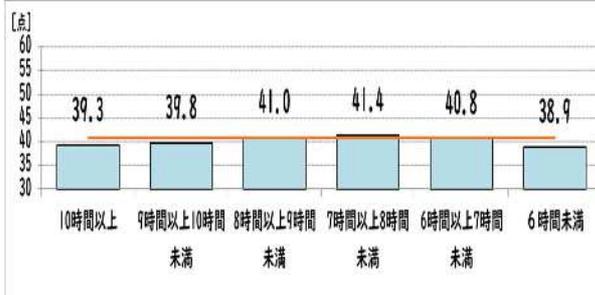
【小学校男子】



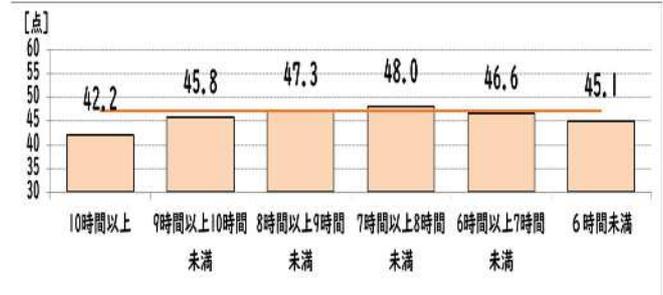
【小学校女子】



【中学校男子】



【中学校女子】

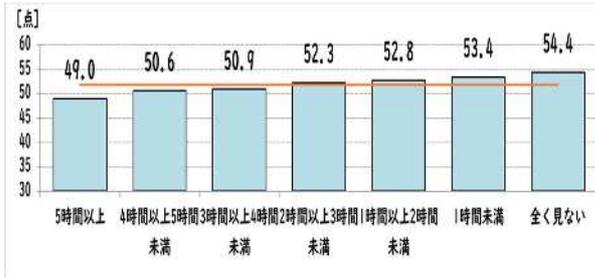


〈現状及び考察〉

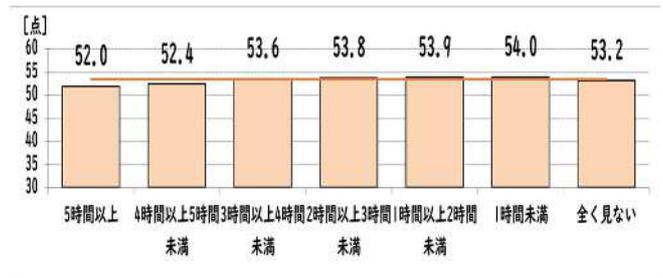
- 小中学校男女とも睡眠時間が「6時間未満」の児童生徒と睡眠時間が「10時間以上」の児童生徒の体力合計点は、睡眠時間が「6時間以上10時間未満」の児童生徒と比べると低くなる傾向がある。
- ※ 適度な睡眠時間は体力の向上に関連しているため、家庭との連携が重要である。

(6) 「平日のスクリーンタイム」と体力合計点

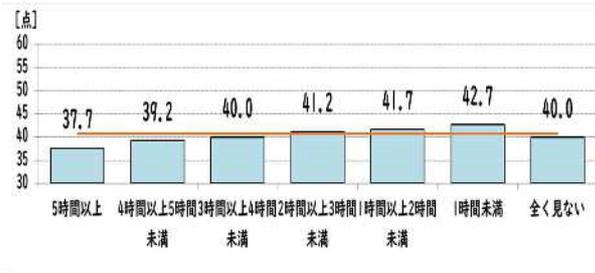
【小学校男子】



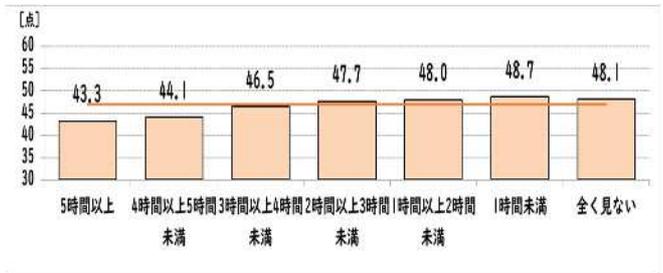
【小学校女子】



【中学校男子】



【中学校女子】



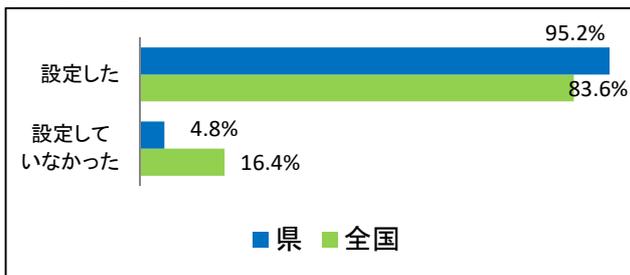
〈現状及び考察〉

- 小中学校男女とも「平日のスクリーンタイム」が長くなるほど、体力合計点が低くなっている。
- ※ 平日1日当たりのテレビ、スマートフォン、ゲーム機等による映像の視聴時間の増加は、体力の向上を阻害する要因の一つになっていると考えられる。

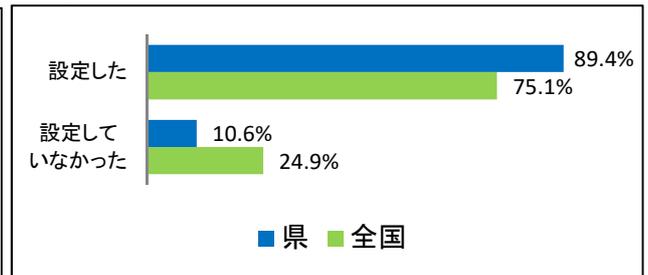
## 7 学校質問紙から

### (1) 令和5年度における児童生徒の体力・運動能力向上のための学校全体としての目標設定

#### 【小学校】

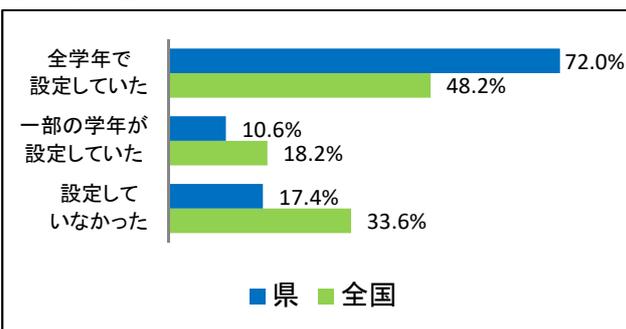


#### 【中学校】

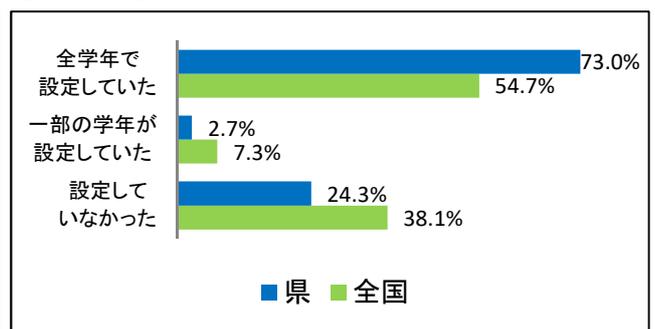


### (2) 令和5年度における児童生徒の体力・運動能力向上のための学年としての目標設定

#### 【小学校】

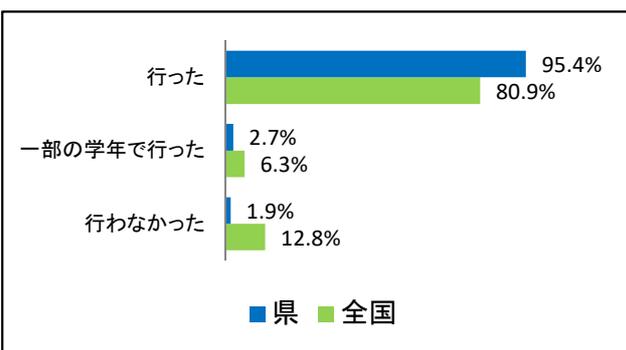


#### 【中学校】

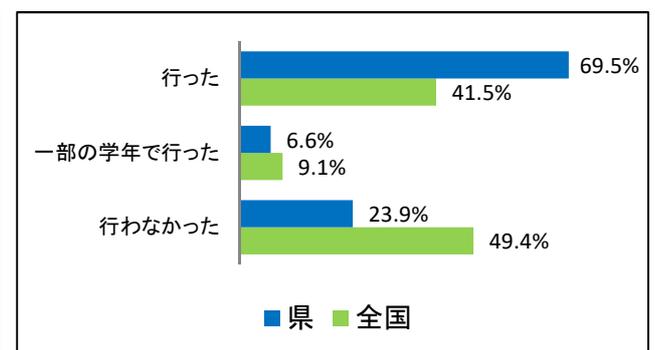


### (3) 体育、保健体育の授業以外での体力・運動能力の向上に係る取組

#### 【小学校】



#### 【中学校】

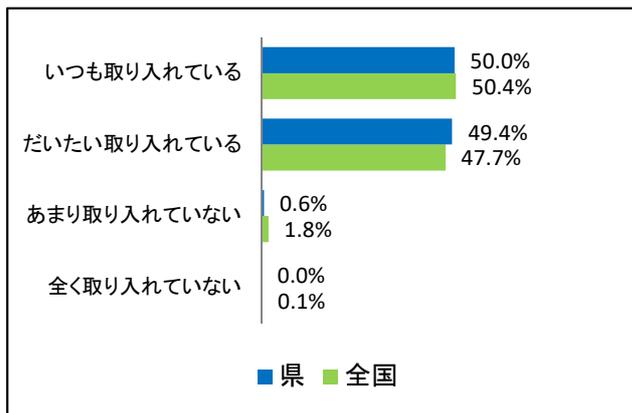


#### 〈現状及び考察〉

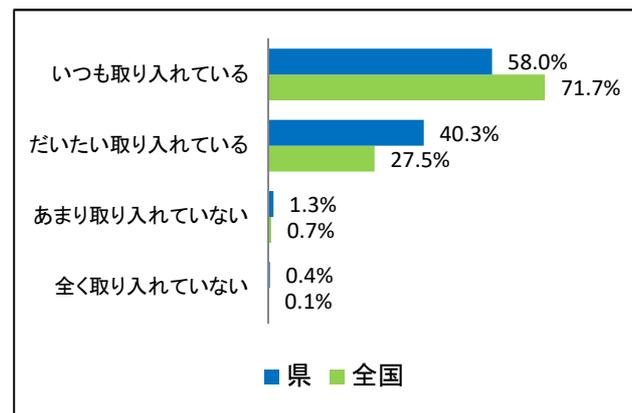
- 令和5年度における児童生徒の体力・運動能力向上のための学校全体としての目標を「設定した」と回答した学校の割合は、全国平均と比較して小学校は11.6%高く、中学校は14.3%高い。
  - 令和5年度における児童生徒の体力・運動能力向上のための学年としての目標を「全学年で設定した」と回答した学校の割合は、全国平均と比較して小学校は23.8%高く、中学校は18.3%高い。
- ※ 学校全体の目標を基に、発達の段階に応じて学年の目標を具体的に設定するとともに、各学校の「運動大好き“かごしまっ子”」育成推進プランを活用した、体力向上に向けた取組を推進する体制づくりを構築する必要がある。

(4) 体育・保健体育授業での目標（めあて・ねらい等）の提示

【小学校】

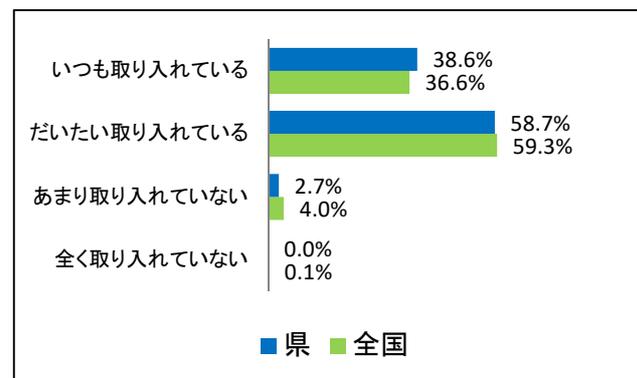


【中学校】

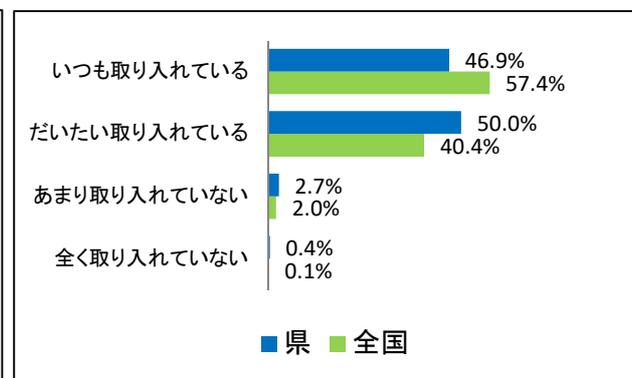


(5) 体育・保健体育授業での振り返りの活動の設定

【小学校】

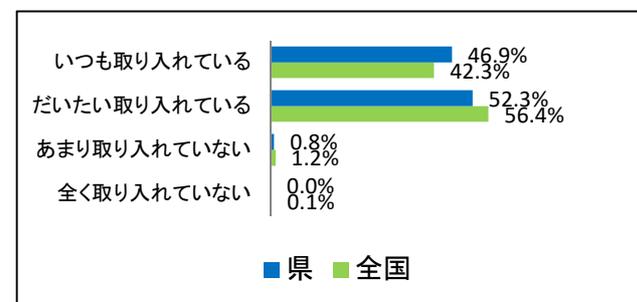


【中学校】

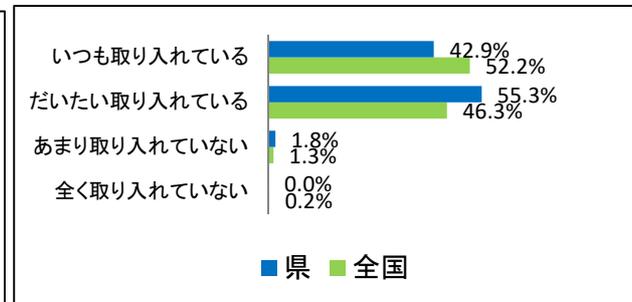


(6) 体育・保健体育授業で、児童生徒が助け合ったり役割を果たしたりする活動の設定

【小学校】



【中学校】



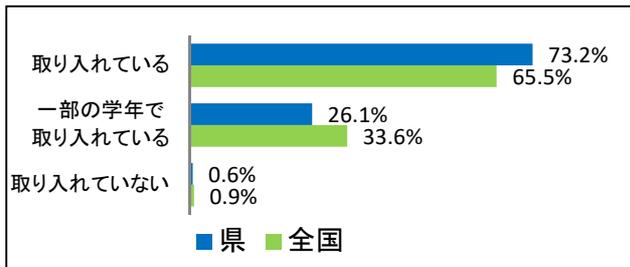
〈現状及び考察〉

- 体育・保健体育の授業において、目標（めあて、ねらい等）の提示を「いつも取り入れている」と回答した割合は、全国平均と比較して小学校は0.4%低く、中学校は13.7%低い。
- 体育・保健体育の授業において、振り返りの活動を「いつも取り入れている」と回答した割合は、全国平均と比較して小学校は2.0%高く、中学校は10.5%低い。
- 体育・保健体育の授業において、児童生徒が助け合ったり役割を果たしたりする活動を「いつも取り入れている」と回答した割合は、全国平均と比較して小学校は4.6%高く、中学校は9.3%低い。

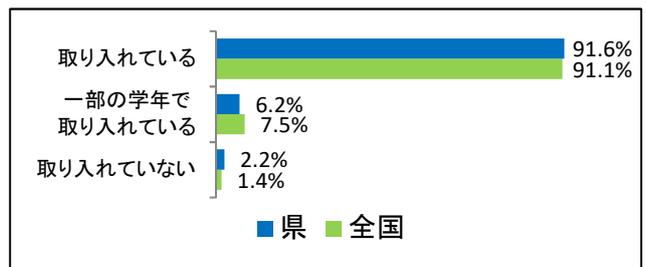
※ 中学校は、「いつも取り入れている」と回答した割合が、全国平均よりも低い状況が続いていることから、授業にめあて（個・グループ等）の設定とまとめによる振り返りを行う時間を確実に位置付け、児童生徒の積極的・自主的な活動を推進するとともに、自己の伸びや新たな課題を確認して次時の学習につなげるなど、深い学びに向けた、体育・保健体育の授業を実践していく必要がある。

(7) 体育・保健体育授業で、児童生徒が話し合う活動の設定

【小学校】



【中学校】

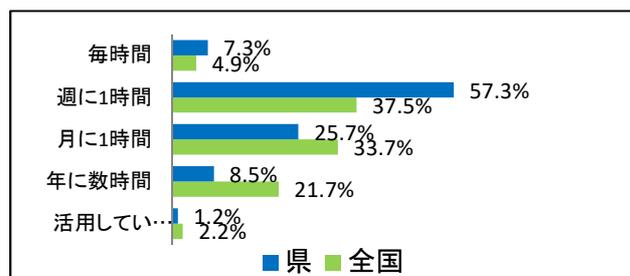


〈現状及び考察〉

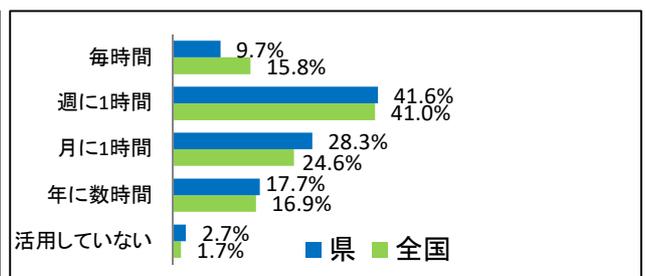
- 授業で児童生徒が話し合う活動を「取り入れている」と回答した割合は、全国平均と比較して小学校は7.7%高く、中学校は0.5%高い。
- ※ 小学校・中学校ともに全国平均を上回っているが、依然として一部の学年でのみ取り入れている状況が多く見られる。そのため、話し合いの目的を明確にした授業づくりや発達の段階に応じた話し合いの仕方の指導を行い、児童が主体的・対話的で深い学びを通して、身に付けるべき内容を習得し、課題解決を図る工夫を推進していく必要がある。

(8) 体育・保健体育授業でのICTの活用

【小学校】



【中学校】

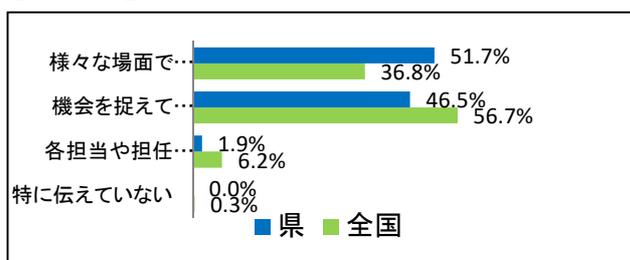


〈現状及び考察〉

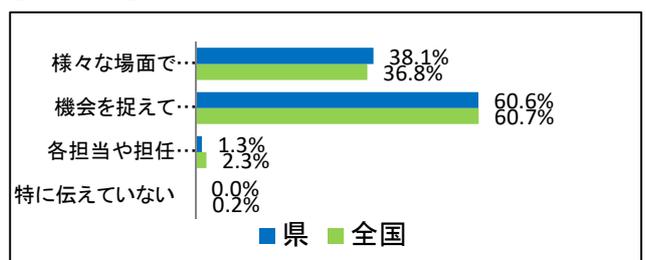
- 教科指導におけるICTの授業において、ICTを「毎時間活用している」「週に1時間」と回答した学校の割合は、全国平均と比較して、小学校では22.2%高く、中学校では5.5%低い状況である。
- ※ 活用の必要性については、学習指導要領においても総則や解説（体育編）にも記載されている。ICTを効果的に活用し、指導方法の改善を図り、児童生徒の学習内容の習得へつなげていく授業改善が求められる。その際、ICTを活用する目的や効果的な活用場面等について、整理した上で実践していくことが重要である。

(9) 健康三原則（運動、食事、休養及び睡眠）の大切さについての児童生徒への伝達

【小学校】



【中学校】

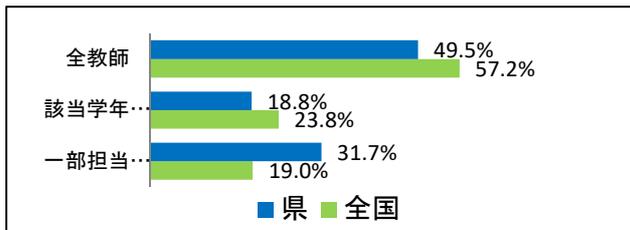


〈現状及び考察〉

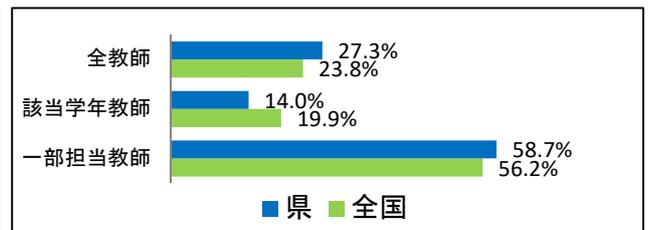
- 健康三原則の大切さを「様々な場面で計画的に伝えている」と回答した割合を全国平均と比較すると、小学校は14.9%高く、中学校は1.3%高い。
- ※ 健康の保持増進には、1日の生活の仕方が深く関わっており、運動、食事、休養及び睡眠を取ることが必要であるということについて、保健の授業だけでなく、教育活動全体を通して児童生徒に指導することが重要である。

(10) 児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組への教師のかかわり

【小学校】

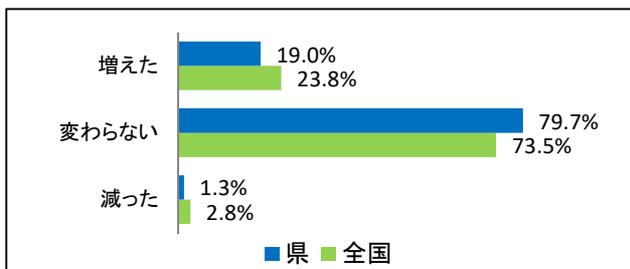


【中学校】

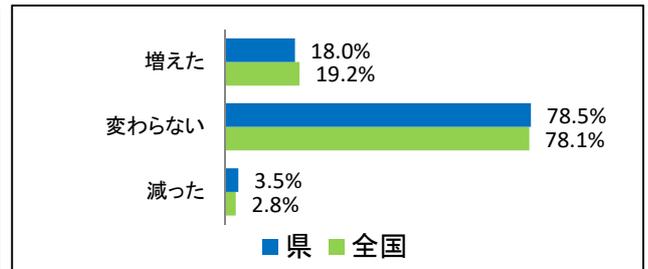


(11) 児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組時間の増減（前年度比）

【小学校】

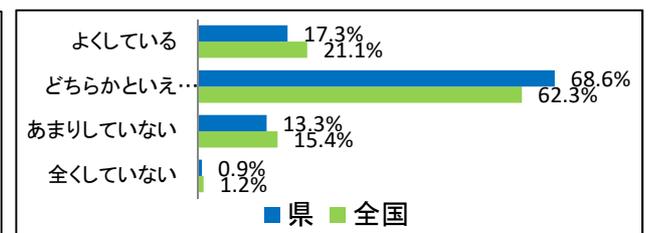
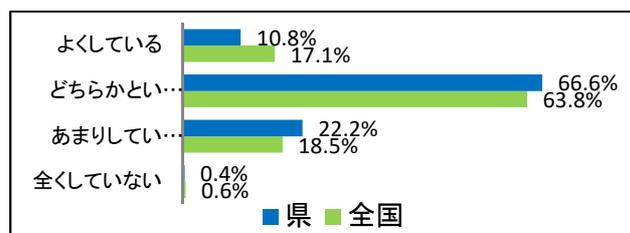


【中学校】



(12) 体力・運動能力の向上に係る校内外の研修や研修会への参加状況

【小学校】 【中学校】



〈現状及び考察〉

- 児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組に「全教師が参加する」と回答した割合は、全国平均と比較して小学校が7.7%低く、中学校が3.5%高い状況である。
  - 児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組時間が、前年度と比べて「増えた」と回答した割合は、全国平均と比較して小学校が4.8%、中学校が1.2%低い状況である。
  - 自校の体力・運動能力の向上に係る取組に反映させるために校内外の研修や研究会のような取組に「よく参加している」と回答した割合は、全国平均と比較して小学校が6.3%、中学校が3.8%低い状況である。
- ※ 毎年、県内で開催される「運動大好き“かごしまっ子”」育成推進事業推進校の研究公開を見学児童の体力・運動能力の向上に係る研修の機会として活用することが考えられる。

## 8 全体考察

### 《今後の方向性》

学習指導要領の趣旨を踏まえ、小学校、中学校、高等学校を通じて、生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現・継続する資質・能力を育成することを重視する観点から、児童生徒に「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を育成する取組を具体的に進める。

体力向上に関しては、その核となるのは、体育・保健体育の授業の充実である。そのために、次のポイントに留意する必要がある。

- 柔軟性（小中）、筋力（小中）、スピード（小中）を高める運動を取り入れた準備運動、補助運動
- 3つの資質・能力の育成と指導内容の明確化
- 授業改善（「カリキュラム・マネジメント」及び「主体的・対話的で深い学び」の実現）
- 「個に応じた指導」の一層の充実
- 運動の特性に応じた楽しさを味わうことができる場面の保証

また、本県の子どもは、運動への興味・関心や体育・保健体育の授業に対する意識が高いことから、学校において、教師が児童生徒の実態を真剣に受け止め、運動好きな子どもを育てるために、具体的には、次のような授業を目指して、改善を進めていきたい。

#### <運動好きな子どもを育てる授業を目指して（一単位時間の具体例）>

- ① 本時のめあて（全体・個人）を確認させる。
- ② 問題解決的な学習を展開する。
- ③ 学習過程（流れ）を明確にし、活動の見通しをもたせる。
- ④ 個人（チーム）の課題を解決する場や仲間と教え合ったり、話し合ったりする場を意図的に設定する。
- ⑤ 教具（ICT機器含む）の活用や発問の工夫を行い、「分かった」「できた」などの経験をさせ、運動することや学ぶことの楽しさ、喜びを味わわせる。
- ⑥ 本時のめあてに対する振り返りをする。
- ⑦ 振り返りを通して、自分（チーム）の技能や思考・判断面で伸びを実感させ、達成感につなげる。

このような授業を通して、全ての子どもが、楽しく、安心して運動に取り組むことができるようにし、その結果として体力の向上につながる指導の在り方について改善を図るとともに、自己の適性に応じて「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方と関連付けることで「運動好きな子ども」を育てることを目指す。

また、体育・健康に関する指導については、子どもの発達段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うことにより、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した指導の充実を図る。

さらに、子どもの体力向上に関して、家庭への啓発を行い、理解と協力を求めたり、関係機関と連携し、外部指導者を活用したりするなど、学校・家庭・地域が連携し、一体となった取組を推進する。

子どもが運動の特性に触れ、楽しさや喜びを味わうことができる授業を目指しましょう！



## 《今後の方向性》

### ◆ 学校の組織的な取組の推進を支援

- 各学校における「運動大好き“かごしまっ子”」育成推進プランの作成，活用
- 全国体力・運動能力，運動習慣等調査結果の分析と活用促進
- 体力ナビの積極的活用と児童生徒一人一人への体力カードの作成
- 運動大好き“かごしまっ子”育成推進校（小中高）による実践的取組の紹介
- 「新体力テストで児童生徒のもっている力を引き出す指導のポイント（改訂版）」の活用促進
- 小・中・高等学校版「体力アップ！チャレンジかごしま」の継続実施（工夫・改善）
- 体力づくり「一校一運動」の推進

### ◆ 運動大好き“かごしまっ子”育成に向けた運動の楽しさを追求した授業，体育指導の工夫改善の支援

- 「運動好きな子どもを育てる」指導者研修会の実施
- 小学校教諭等セミナーの開催（隔年）
- 保健・保健体育担当者研修会
- 武道・ダンス指導者研修会
- 中学校柔道授業における安全に関する指導者研修会
- 新任幼稚園教諭への「幼児期運動指針」についての研修
- 運動大好き“かごしまっ子”育成推進校（小学校3校，中学校4校，高等学校1校）による実践的研究及び第4期推進校（中学校2校，高等学校1校）による研究公開
- 運動大好き“かごしまっ子”育成推進校（小学校3校，中学校4校，高等学校1校）への地域スポーツ人材の派遣
- かごしまの子ども体力向上プログラム（小学校版，中・高等学校版）の活用促進

### ◆ 運動習慣の育成に向け，学校・家庭・地域が一体となった取組の促進

- 体力の向上，運動習慣の育成に向けた啓発資料の活用促進  
(これならできる！「プラス5分運動」)
- 地域スポーツ人材を活用した運動習慣育成教室の実施
- 運動大好き“かごしまっ子”育成推進校（第4期）研究公開による普及啓発
- 「運動大好き“かごしまっ子”」育成推進フォーラムの開催（隔年）
- 関係機関（県総合体育センター，県教育庁社会教育課等）と連携したイベント

## 更なる充実に向けて

### <期間設定の例>

- 1 名称「運動大好き“〇〇〇っ子”」推進（月間・週間），チャレンジウイーク 等
- 2 期間 ・学期〇回 ・月〇回 ・週〇回 等
- 3 設定の仕方
  - (1) 学校行事と関連付けて，その前後に設定する。（月間）
  - (2) 業間と関連付けて，年間を通して設定する。（曜日）
  - (3) 学校・家庭・地域と連携して設定する。（週間）
- 4 留意事項
  - (1) 体力向上に向けて学校全体で取り組む。
  - (2) 内容は，一校一運動や体力・運動能力，運動習慣等調査結果等を考慮する。
  - (3) 「運動大好き“かごしまっ子”」育成推進プランに内容や期間等を記入する。

## 9 改善のポイント

### 県教育振興基本計画における数値目標(体力合計点)

		2019年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年以降	
小5 男子	県	51.57	51.85	51.86	51.87	51.83	⇒	全国平均を上回る
	全国	52.61	52.52	52.28	52.59	52.53		
小5 女子	県	53.87	54.34	54.24	53.72	53.52	⇒	
	全国	54.59	54.64	54.31	54.28	53.92		
中2 男子	県	39.32	40.27	40.60	39.78	40.80	⇒	
	全国	40.69	41.18	41.04	41.32	41.86		
中2 女子	県	48.03	48.13	47.32	46.42	47.02	⇒	
	全国	49.22	48.56	47.42	47.22	47.37		

### 運動大好き“かごしまっ子”育成に向けた学校における 体力向上, 運動習慣改善のPDCAサイクル

#### Plan

- 1 児童生徒の体力・運動能力向上, 運動習慣, 授業改善に向けた目標の設定
- 2 体力づくり全体計画や「運動大好き“かごしまっ子”」育成推進プランの作成
- 3 学校の実態や体力課題に即した「一校一運動」の推進計画
- 4 児童生徒や家庭の実態に即した「一家庭一運動」の周知・啓発と実施

#### Do

- 体力づくり全体計画に基づくPDCAサイクルの確実な推進
  - (1) 「楽しい体育・保健体育」の授業充実
    - すべての児童生徒が楽しく, 安心して運動に取り組むことができる授業
    - 授業における目標の提示・確実なまとめの実施
    - 「主体的・対話的で深い学び」による授業の展開
    - 職員研修や研究授業による指導力の向上
  - (2) 新体力テストの実施
    - 実施目的, 測定方法等の共通理解
    - 児童生徒に目標をもたせる事前指導の充実
    - 「体力ナビ」活用による意欲喚
  - (3) 「一校一運動」, 業間体育等の工夫による運動機会の確保
  - (4) 運動に消極的な児童生徒を支援する運動習慣育成教室の推進
  - (5) 「体力アップ! チャレンジかごしま」への取組
  - (6) 部活動の充実
  - (7) 家庭と協力した運動・生活習慣の改善
    - 土日の運動時間の確保
  - (8) 家庭への体力向上に関する啓発
    - これならできる! 「プラス5分運動」リーフレット配布と活用促進

【課題1】 体力合計点が全国平均に達していない  
【課題2】 1週間の総運動時間が減少している。

#### Action

- 1 体力づくり全体計画や「運動大好き“かごしまっ子”」育成推進プランの改善
- 2 体力向上, 運動習慣改善に効果をあげた取組と今後の対策検討
- 3 家庭への児童生徒の体力, 運動習慣の結果報告による説明責任

#### Check

- 1 新体力テスト, 体力・運動能力調査等の結果と考察
- 2 「運動大好き“かごしまっ子”」育成推進プランの活用
- 3 体力向上, 運動習慣改善に効果をあげた取組と今後の対策についての検討

# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

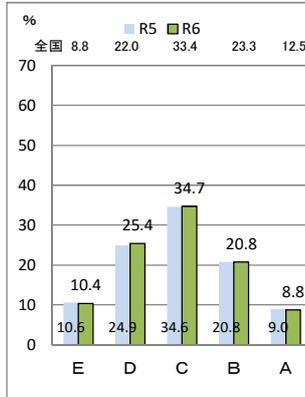
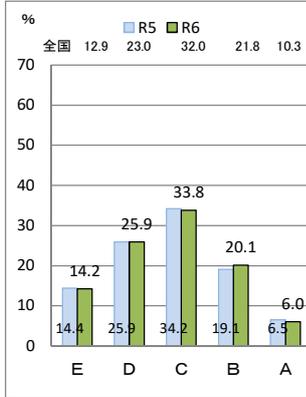
鹿児島市 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

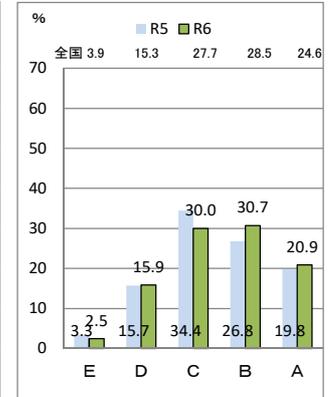
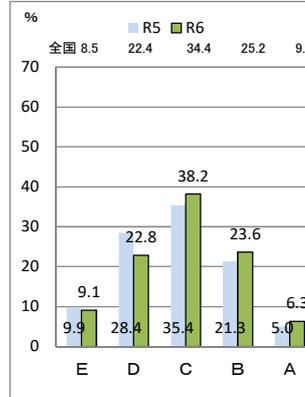
※グラフ内、上の数値は、令和6年度各総合評価の全国の割合を表す。



## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A: 65点以上 B: 58点~64点 C: 50点~57点 D: 42点~49点 E: 41点以下 中学校 A: 57点以上 B: 47点~56点 C: 37点~46点 D: 27点~36点 E: 26点以下

### 〈現状及び課題〉

- ・全国平均と比較して、男女ともにCの割合はほぼ同じであるが、上位のAとBの割合が低く、DとEの割合がやや高い。
- ・令和5年度との比較では、男女ともに割合がほぼ同じである。
- ・男女とも、運動やスポーツを行う楽しさや喜びを味わわせ、体力向上につながる授業の実践や各種取組を行う必要がある。

### 〈現状及び課題〉

- ・全国平均と比較して、男子のCの割合がやや高く、DとEはほぼ同じであるが、上位のAとBがやや低い。女子はCの割合はやや高いが、上位のAとB、下位のDとEはほぼ同じである。
- ・令和5年度との比較では、男子が下位のDとEの割合が低く、上位のAとBの割合が高い。女子はDとEはほぼ同じで、上位のAとBがやや高い。

## 【小学校 運動実施時間】

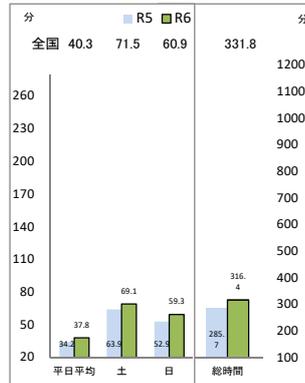
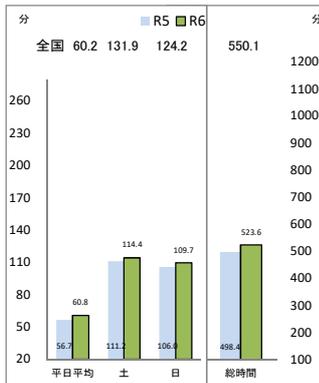
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、令和6年度運動実施時間の全国の平均を表す。



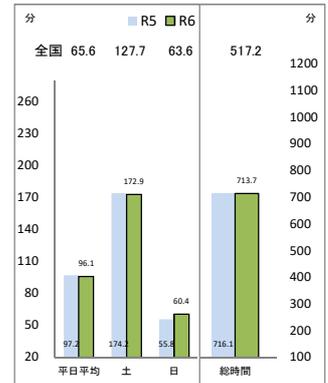
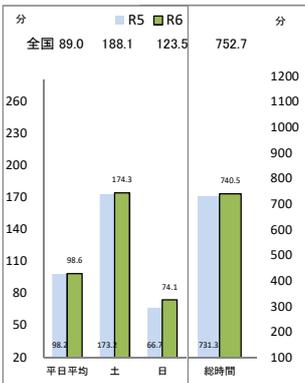
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- ・1週間の総運動時間については、全国平均との比較において、男子がわずかに短く、女子がほとんど差がない。
- ・平日の平均実施時間は、男女ともにほとんど差がない。土日は男子は短く、女子はほとんど差がない。
- ・R5年度との比較では、1週間の総運動時間が男女ともにわずかに

### 〈現状及び課題〉

- ・1週間の総運動時間については、全国平均との比較において、男女ともに長い。
- ・平日の平均実施時間は男女ともに長い。土日は男女ともにわずかに長い。
- ・R5年度との比較では、1週間の総運動時間はほとんど差がない。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・体力総合評価で男女ともに上位層が少なく、下位層が多く、男子の総運動時間もわずかに短いため「一校一運動」や「チャレンジかごしま」等で運動する機会を増やし、運動量の増加を図る。

### 【中学校】

- ・総運動時間は男女ともに長いですが、体力総合評価で男子の上位層が少ないため、「チャレンジかごしま」への取組を推奨し、楽しみながら運動量を確保できる運動機会の増加を図る。

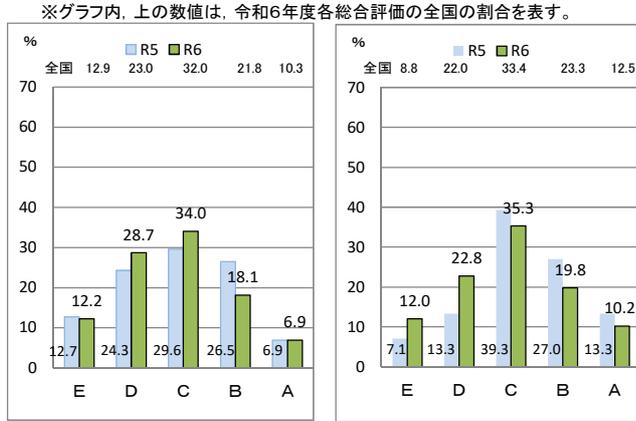
### 【共通】

- ・研究授業等を通じた授業改善や小中連携により「運動好きな子供」の育成を図り、運動の習慣化、体力の向上を図る。

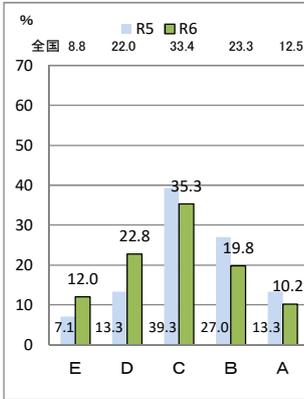
# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

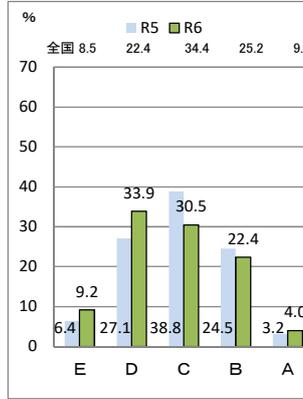


〔女子〕

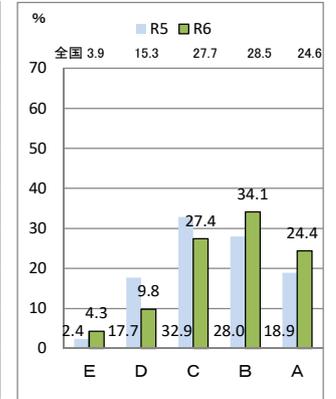


## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕



〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下 中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈現状及び課題〉

- ・ 男子は、Bの割合が8.4ポイント減少し、C・Dの割合がそれぞれ4.5、4.4ポイント増加している。全国平均と比較しても、全体的に体力が低い傾向が見られる。
- ・ 女子は、A・B・Cの割合がそれぞれ3.1、7.2、4.0ポイント減少し、D・Eがそれぞれ9.5、4.9ポイント増加している。全国平均と比較しても、全体的に体力が低い傾向が見られる。
- ・ 男女とも、E・Dの児童の体力及び運動への興味・関心を高めるとともに、CをB、BをAに引き上げる取組が必要である。

### 〈現状及び課題〉

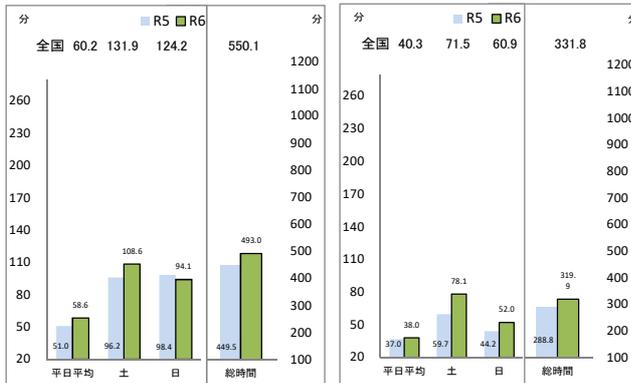
- ・ 男子は、B・Cの割合がそれぞれ2.1、8.3ポイント減少し、D・Eの割合がそれぞれ6.8、2.8ポイント増加している。全国平均と比較しても、全体的に体力が低い傾向が見られる。
- ・ 女子は、A・Bの割合がそれぞれ5.5、6.1ポイント増加し、C・Dの割合がそれぞれ5.5、7.9ポイント減少し、体力等の大幅な向上が見られる。全国平均と比較しても、体力がやや高い傾向が見られる。
- ・ 女子は、現状のEの生徒を、DやCへ引き上げるための取組が必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

〔男子〕

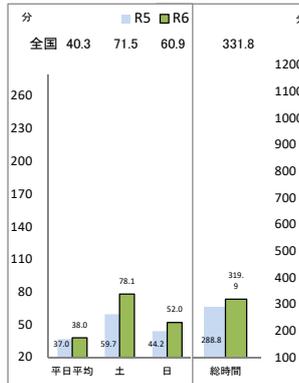
(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、令和6年度運動実施時間の全国の平均を表す。



〔女子〕

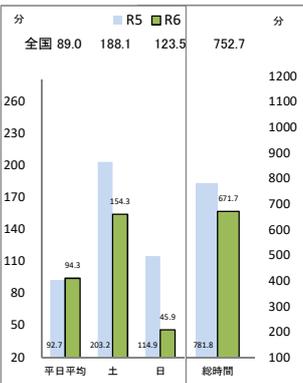
(平日の平均及び土日)(1週間)



## 【中学校 運動実施時間】

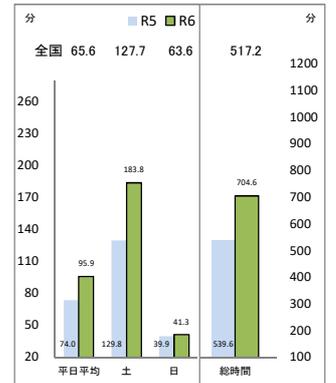
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- ・ 1週間の総運動時間は、男女とも昨年度の市の状況からは増加している。
- ・ 1週間の総運動時間を全国平均と比較すると、男子が「短い」、女子が「ほとんど差がない」結果であった。
- ・ 男子の土曜日・日曜日の運動時間は、全国平均と比較すると「短い」という結果であった。
- ・ 引き続き、平日・週休日ともに運動時間の増加、特に週休日における運動

### 〈現状及び課題〉

- ・ 1週間の総運動時間は、全国平均と比較すると、男子が「短い」、女子が「長い」結果であった。
- ・ 平日の運動時間は、全国平均と比較すると、男女とも「長い」結果であった。
- ・ 土曜日・日曜日の運動時間は、全国平均と比較すると、男子が「極端に「短い」という結果であった。
- ・ 男子の週休日、また男女とも日曜日における運動時間の確保に向けた手立て

## 【改善策】

【小学校】体育授業の指導法改善・チャレンジかごしま申告率「100%」・家庭における運動時間の確保

【中学校】体育授業の指導法改善・チャレンジかごしま申告率「90%以上」・運動部活動生以外への運動時間確保の啓発  
市で導入している体力テスト集計システム等の活用

【共通・その他】

- ・ 日置市が推奨する「体話(たいわ)」を通した家庭との連携(運動の日常化)
- ・ 「チェスト行けひおきっ子Ⅱ」事業(小中一貫教育による体力向上)による、9年間を見据えた体力向上策の策定
- ・ 一校一運動の工夫・改善及び「ひおきっ子サーキット」の小中連携による継続的な実践

# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

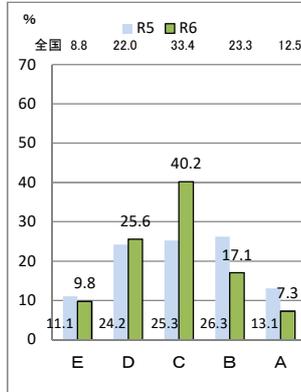
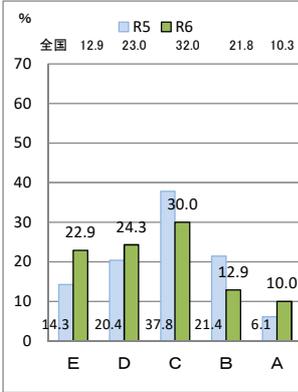
いちき串木野市教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

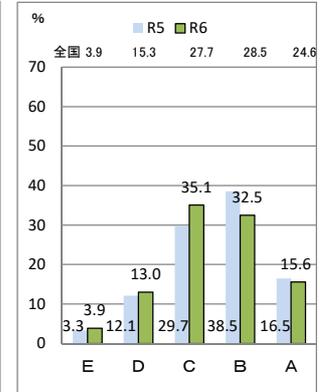
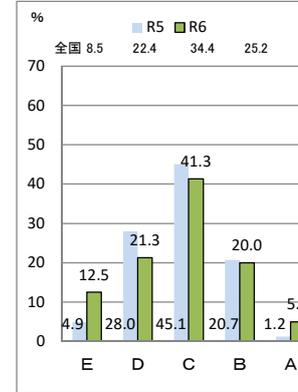
※グラフ内、上の数値は、令和6年度各総合評価の全国の割合を表す。



## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

小学校 A: 65点以上 B: 58点～64点 C: 50点～57点 D: 42点～49点 E: 41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A: 57点以上 B: 47点～56点 C: 37点～46点 D: 27点～36点 E: 26点以下

### 〈現状及び課題〉

- 男子はAの割合は3.9ポイント増加したものの、D,Eの割合が増加した。種目別では、ソフトボール投げが全国平均をやや上回った。20mシャトルラン、立ち幅跳びが全国平均を大きく下回り課題となった。
- 女子はCの割合が14.9ポイント増加し、A、Bの割合が減少した。種目別に見ると、前年度課題であった柔軟系の長座体前屈が全国平均を上回ったが、立ち幅とび等、瞬発系の運動に課題が見られる。

### 〈現状及び課題〉

- 男子はAの割合が3.8ポイント増加したが、Eの割合も7.6ポイント増加した。種目別に見ると、反復横とび等の瞬発系の運動が全国平均を上回ったが、柔軟系の運動が全国平均を大きく下回り、課題が見られた。
- 女子は前年度とほぼ同様の傾向だが、Cの割合が増加し、Bの割合が減少した。種目別に見ると、前年度同様、長座体前屈等の柔軟系に課題が見られ、他の運動については、全国平均並みとなった。

## 【小学校 運動実施時間】

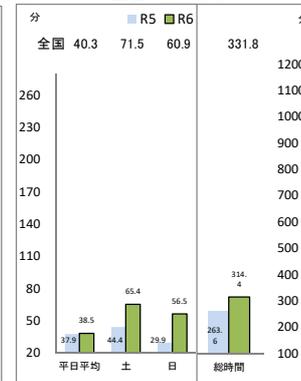
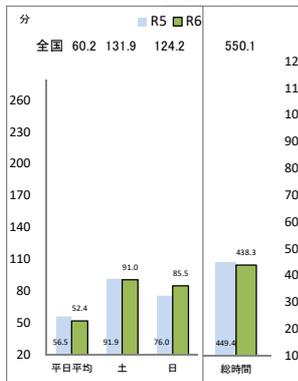
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、令和6年度運動実施時間の全国の平均を表す。



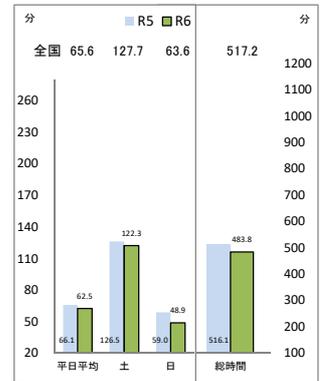
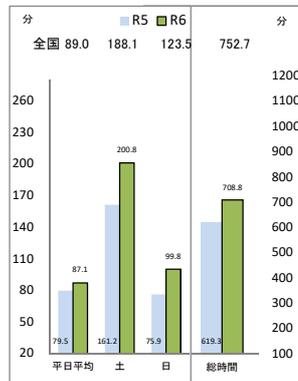
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- 女子は、前年度と比較して、土日の運動時間が増加している。
- 男子の総運動時間において、全国平均より短い。
- 男子において、平日は全国平均とほとんど差が見られなかったが、土・日が全国平均より短くなっているため、休日における運動の在り方について指導及び家庭への啓発が必要である。

### 〈現状及び課題〉

- 男子は、前年度と比較して、土日の運動時間が増加している。
- 総運動時間において、男女ともに全国平均より短い。
- 男女ともに日曜日の運動時間が全国平均と比較して下回っているため、休日の運動の在り方について指導及び家庭への啓発が必要である。

## 【改善策】

### 【小学校】

- すべての学年で活用できる授業の基本的な流れ等、授業の枠組みを作成し、授業資料等の共有化を図る組織的な取組の推進

### 【中学校】

- 運動部、スポーツクラブ等に加入している生徒以外の運動に対する意識の向上と家庭への啓発

### 【共通、その他】

- 各種目の分析を基にした重点指導種目の設定及び、補強運動の充実
- 授業における運動量の確保及び、知識の習得と思考力・判断力・表現力に関する指導時間の配分等の工夫
- 本調査結果に基づいた課題や改善策に関する家庭や地域との共有及び、地域一体となった体力づくりに繋がる取組の推進
- 「学習者主体の授業」を目指した授業改善及び、体力向上につながる全校体制によるマネジメントの充実

# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

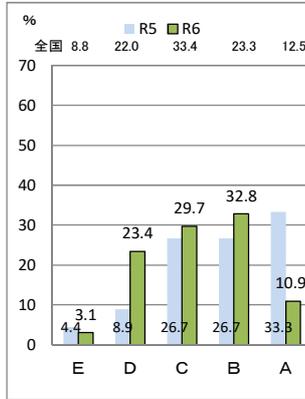
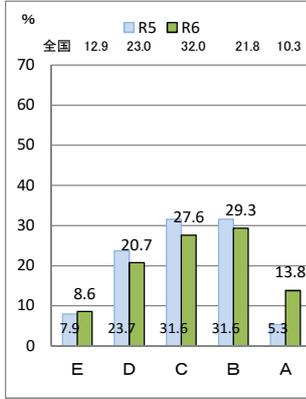
枕崎市 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

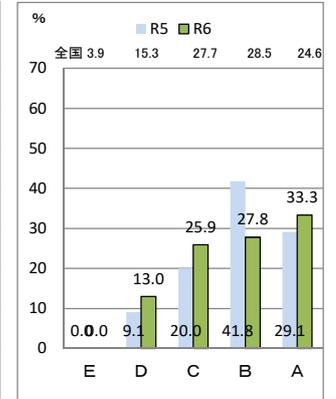
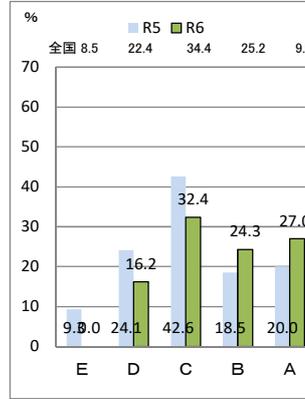
※グラフ内、上の数値は、令和6年度各総合評価の全国の割合を表す。



## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価標準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価標準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A: 65点以上 B: 58点~64点 C: 50点~57点 D: 42点~49点 E: 41点以下 中学校 A: 57点以上 B: 47点~56点 C: 37点~46点 D: 27点~36点 E: 26点以下

### 〈現状及び課題〉

- ・ 全国平均と比較して、男女ともにA+Bの割合が高く、Eの割合が低いことから、全体的な体力の向上が見られる。
- ・ 昨年度と比較すると、男子については、AとEの割合が増えていることから二極化の傾向が見られ、女子については、AとEの割合が減り、B・C・Dの割合が増えていることから全体的な体力の高まりが見られる。

### 〈現状及び課題〉

- ・ 全国平均と比較して、男女ともにA+Bの割合が高く、D・Eの割合については低いことから、全体的な体力の向上が見られる。
- ・ 昨年度と比較すると、男女ともにAの割合が増加し、A+Bの割合が50%を超えていることから、全体的な体力の高まりが見られる。
- ・ 女子は、「握力」が全国・県の平均、「長座体前屈」が県の平均を下回り、課題である。

## 【小学校 運動実施時間】

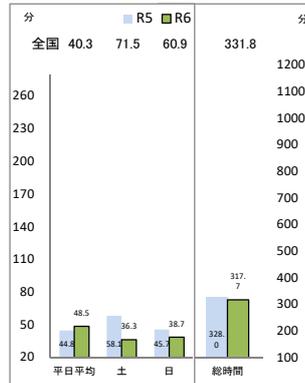
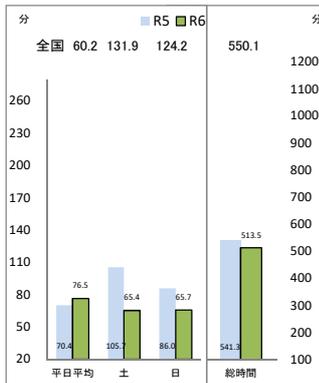
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、令和6年度運動実施時間の全国の平均を表す。



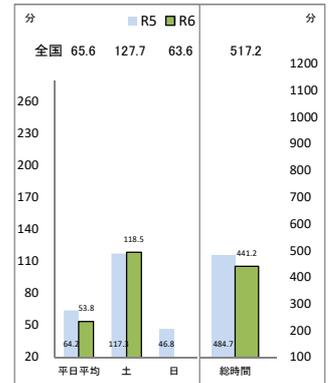
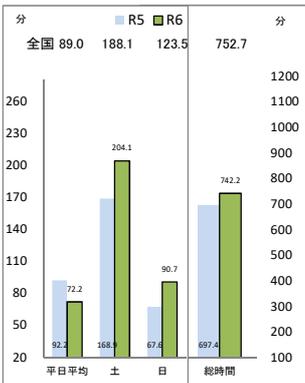
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- ・ 1週間の総運動時間については、女子は「ほとんど差がない」、男子は「短い」という結果であった。
- ・ 平日及び土日の運動量については、男子の平日が「長い」、それ以外は「短い」状況から、学校における取組を推進するとともに、週休日を含め家庭と連携した運動時間の確保に努める必要がある。

### 〈現状及び課題〉

- ・ 1週間の総運動時間については、男子は「ほとんど差がない」、女子は総運動時間数で60分以上短い結果となっており、運動時間の確保に向けた具体的な取組の推進が急務である。
- ・ 平日及び土日の運動量については、男子の土曜日は「長い」、それ以外の項目は「ほとんど差がない」、「短い」という結果となっている。

## 【改善策】

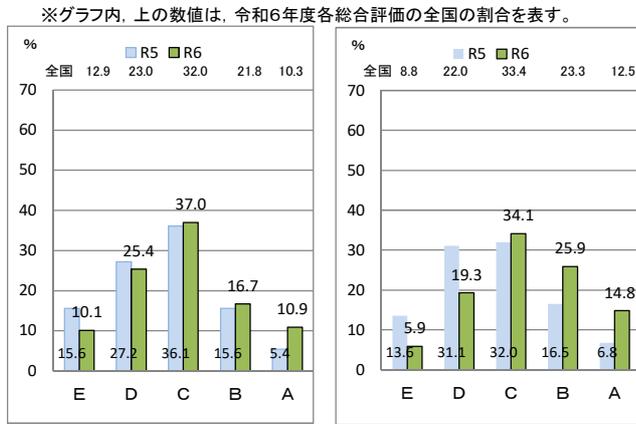
- ・ 運動習慣を身に付けることができるように、子供たちに運動の楽しさを味わわせるための授業づくりを徹底するとともに、年間を通して、継続的に取り組むことができる運動を例示し、推進する。
- ・ 課題となる運動については、各学級の実態に応じて、「体力アップ! チャレンジかごしま」の関連する運動から重点種目を定め、継続的な取組を行う。
  - 全学級申告  全学級複数数種目への取組  市重点種目「のぼしてコロコロ」
- ・ 運動時間の確保に向け、家庭と連携した取組を充実させるため、管理職研修会や体育主任研修会において、各校の実践事例を共有したり、具体的な取組を提示したりする。

# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

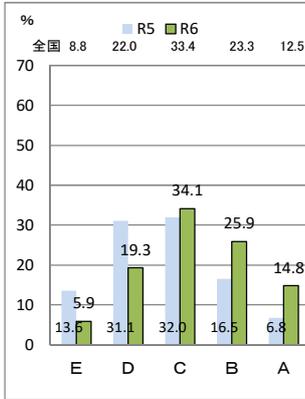
指宿市 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

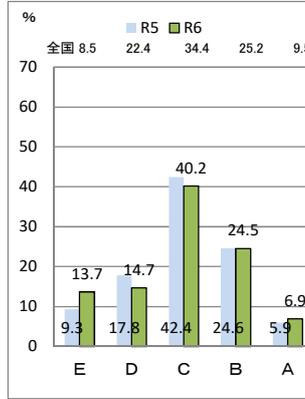


〔女子〕

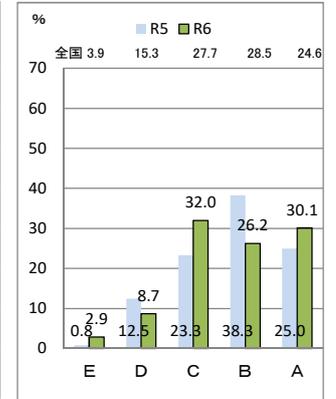


## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕



〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点〜64点 C:50点〜57点 D:42点〜49点 E:41点以下 中学校 A:57点以上 B:47点〜56点 C:37点〜46点 D:27点〜36点 E:26点以下

### 〈現状及び課題〉

- ・男子の割合はEが5.5ポイント、Dが1.8ポイント減少し、Cが0.9ポイント、Bが1.1ポイント、Aが5.5ポイント増加している。
- ・女子の割合はEが7.7ポイント、Dが11.8ポイント減少し、Cが2.1ポイント、Bが9.4ポイント、Aが8.0ポイント増加している。
- ・男女ともにE、Dは減少し、C、B、Aは増加している。E、Dの児童の体育及び運動への興味・関心を高め、結果として体力の向上を図るとともに、Cの児童をB、Aに引き上げる取組が必要である。

### 〈現状及び課題〉

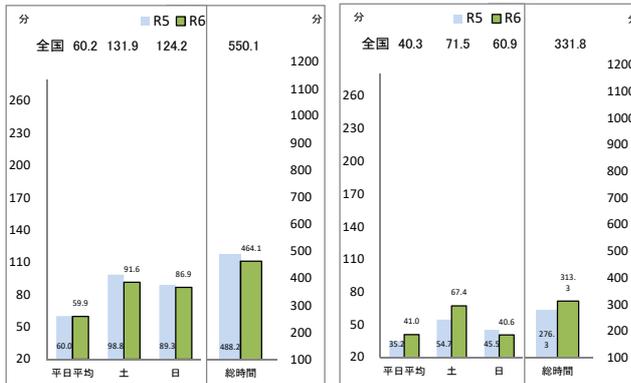
- ・男子の割合はEが4.4ポイント増加し、Aが1.0ポイント増加している。
- ・女子の割合はEが2.1ポイント増加し、Aが5.1ポイント増加している。
- ・男女ともにDの割合はそれぞれ男子が3.1ポイント、女子が3.8ポイント減少している。
- ・男女ともにEの割合が増加しているため、運動への興味・関心を高め、結果として体力の向上を図る必要がある。

## 【小学校 運動実施時間】

〔男子〕

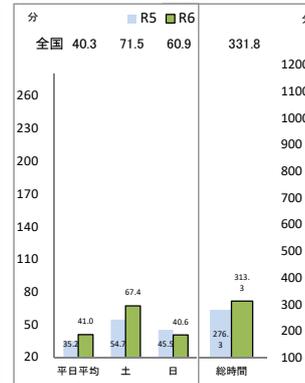
(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、令和6年度運動実施時間の全国の平均を表す。



〔女子〕

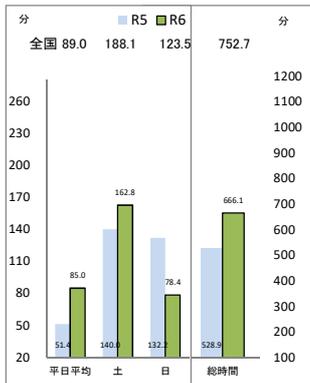
(平日の平均及び土日)(1週間)



## 【中学校 運動実施時間】

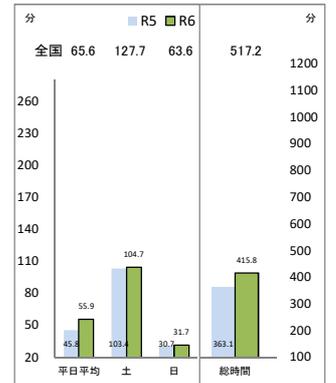
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- ・1週間の総運動時間は、全国平均と比較すると、男子は「短い」、女子は「ほとんど差がない」結果だった。
- ・平日の平均運動時間を全国平均と比較すると、男女ともに「ほとんど差がない」結果だった。
- ・男女ともに特に、週休日における運動時間の確保に向けた取組が必要である。

### 〈現状及び課題〉

- ・1週間の総運動時間は、全国平均と比較すると、男女とも「短い」結果だった。
- ・平日の平均運動時間を全国平均と比較すると、男女ともに「ほとんど差がない」結果だった。
- ・男女ともに特に、週休日における運動時間の確保に向けた取組が必要である。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・令和6年度から始めた市小学校体育主任会における体力向上や授業改善に関する研修会を継続し、各学校の実態をより把握した上で、学校の実態に合った研修会を実施する。
- ・令和6年度から始めた「運動大好き」いぶすきっ子”Sports Day」を継続し、振り返りアンケートを基にした改善を図る。

### 【中学校】

- ・市内中学校の好事例を、「教科体育」、「教科外体育」、「家庭及び地域との連携」に分類し、分かりやすく周知する。

### 【共通、その他】

- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「児童生徒質問紙」の結果を、体育主任会、養護教諭等研修会、給食担当者会で活用する。

# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

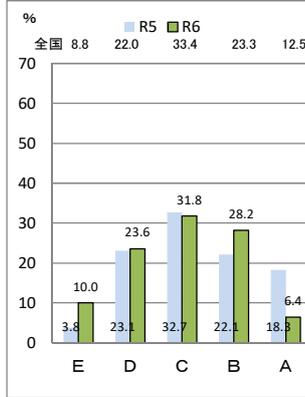
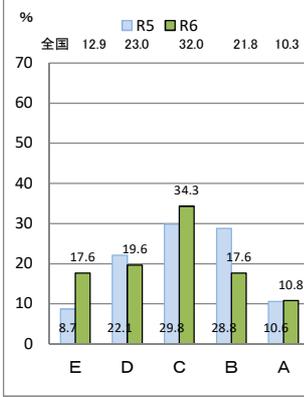
南さつま市 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

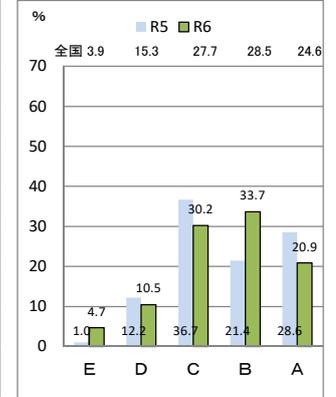
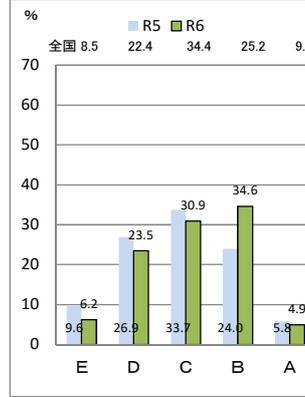
※グラフ内、上の数値は、令和6年度各総合評価の全国の割合を表す。



## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下 中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈現状及び課題〉

- ・男子はBの割合が大きく減り、Eの割合が大きく増えている。種目別のT得点で8種目中5種目で全国平均を上回っているが、体力合計T得点は全国平均を下回っていた。
- ・女子はAの割合が大きく減り、Eの割合が大きく増えている。種目別のT得点で8種目中4種目で全国平均を上回っているが、体力合計T得点は全国平均を下回っていた。
- ・男女とも、E評価の児童の体力及び運動への興味・関心を高め、体力向上につなげる取組が必要である。

### 〈現状及び課題〉

- ・男子は、Bの割合が大きく増え、C、D、Eの割合が減ったことにより、体力合計T得点が全国平均を上回っている。
- ・女子は、Bの割合が大きく増えたが、Aの割合が減少し、Eの割合が増えたため、体力合計T得点は全国平均と同じであった。
- ・生徒においては、D、Eの割合が女子のE以外は全国平均以下である。生徒質問紙において、体育授業へ意欲的に参加する生徒や授業が楽しいと感じる生徒の割合が全国より高いことが影響していると思われる。今後も、「わかる、できる」授業の実践を進めていきたい。

## 【小学校 運動実施時間】

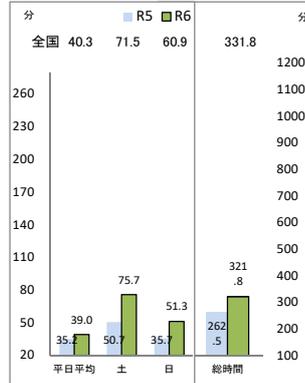
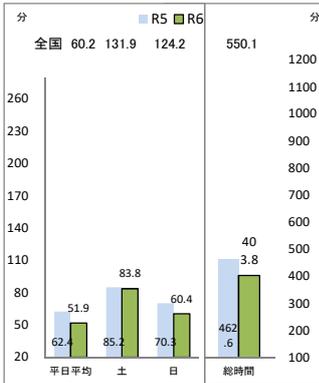
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、令和6年度運動実施時間の全国の平均を表す。



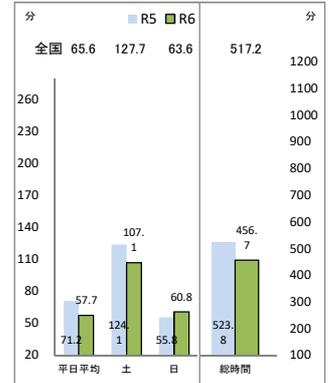
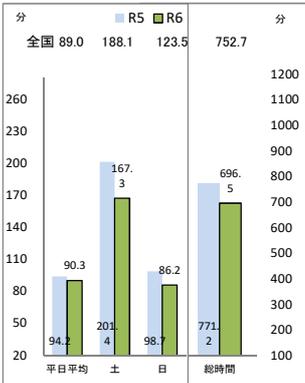
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- ・男子は、平日の運動時間、土日の運動時間、1週間の総運動時間全てにおいて、全国平均を大きく下回っている。総運動時間は全国平均より150時間近く少ない。
- ・女子は、昨年度より運動時間が増えているが、1週間の総運動時間は、まだ全国平均より少ない。

### 〈現状及び課題〉

- ・1週間の総運動時間は、男女ともは全国平均を下回っている。全体的に昨年度を下回っている状況である。
- ・平日は、全国平均と比較してほとんど差はない。
- ・土日の運動時間は、全国平均より男子が約55分、女子約60分短い。
- ・男女の一層の運動時間の増加に向けた手立てが必要である。

## 【改善策】

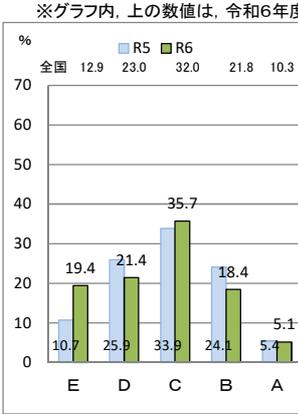
- ・小学校及び前期課程では、本市の課題である筋持久力、柔軟性を中心に、各学校の課題に合わせた「チャレンジかごしま」を実践する。
  - ・中学校及び後期課程では、本市の課題である持久力を中心に、各学校の課題に合わせた「チャレンジかごしま」を実践する。
- 【共通、その他】
- ・体力ナビ等を活用して、結果の分析等を行い、自校の課題を明確にし、次年度の体力向上計画に反映させる。
  - ・教科体育の充実(分かる・できる体育、ICTの活用、補強運動の充実、授業を通じた研修等)を行い、運動が好きな児童生徒を育てる。
  - ・家庭と連携を図り、放課後や休日等に運動する習慣づくりに努める。(クロス集計の活用)

# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

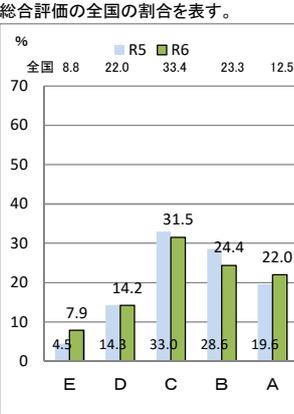
南九州市 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

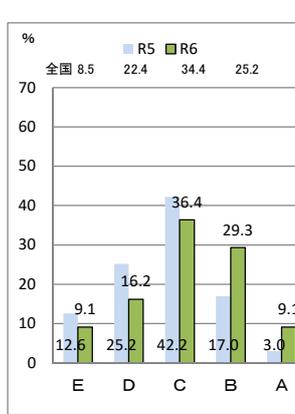


〔女子〕

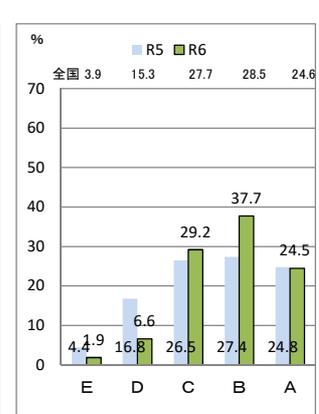


## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕



〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈現状及び課題〉

- ・昨年度と比較すると、男子はEが大幅に増加しており、下位層の運動への興味・関心を高めるとともに、体力の向上を図る取組を充実させていく必要がある。女子もD+Eが減少していることから、体力維持の取組を継続したい。
- ・「長座体前屈」の記録が、ここ数年、男女とも全国平均から-3.0cm以上の差があったが、-1.0cm以内に縮まった。今後も、柔軟性を高める運動を、授業や体力づくり等で継続的に行う必要がある。

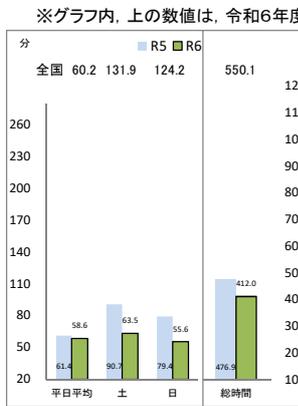
### 〈現状及び課題〉

- ・全国平均と比較して、男女共にA+Bの割合が高く、D+Eの割合が低くなっており、これまでの取組の成果が表れているので、この結果を維持できるよう取組を充実させたい。
- ・男女共に「長座体前屈」と「上体起こし」が、全国と比べると大きな差がある。柔軟性を高める運動や、全筋力を高める運動を、毎時間授業等に取り入れるなど、継続的な取組に努める必要がある。

## 【小学校 運動実施時間】

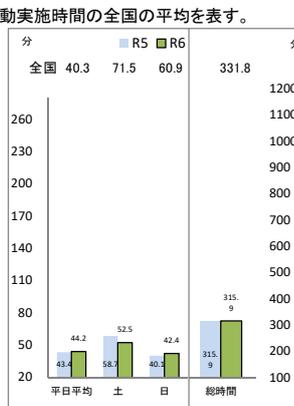
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



〔女子〕

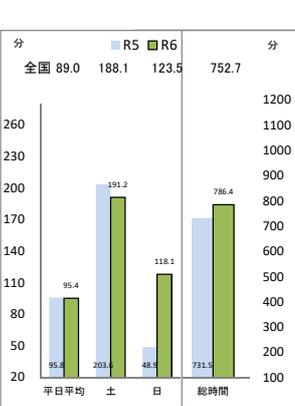
(平日の平均及び土日)(1週間)



## 【中学校 運動実施時間】

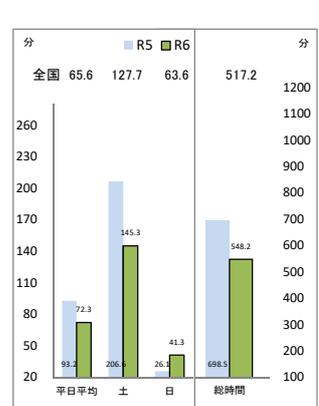
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- ・1週間の総運動時間は、全国平均との比較において、男子は「短い」、女子は「ほとんど差がない」結果であった。
- ・平日及び土日は、全国平均との比較において、男女共に平日は男女ともわずかに長く、土日は短い。休日の運動習慣を身に付けるために、家庭と連携し、運動時間を確保に努める必要がある。

### 〈現状及び課題〉

- ・1週間の総運動時間は、全国平均との比較において、男子は「長い」、女子は「短い」結果であった。
- ・男子は目安とする運動時間の確保ができています。女子は1週間の運動実施時間が大きく減少しており、平日の時間の使い方を見直すとともに、家庭や地域と連携した手立てが必要である。

## 【改善策】

### 〈現状及び課題〉

#### 【小学校】

- ・男女共に運動を苦手とする児童が増加している。「体力アップ！チャレンジがこしま」や「一校一運動」の取組を通して、「いつでも・簡単に・楽しく」体を動かす取組を、学校、家庭、地域で取り組む。

#### 【中学校】

- ・年間を通し、計画的かつ継続的に体力づくりに努める。柔軟性を高める運動及び全筋力を高める運動を中心とし、継続的に取り組むことができるよう、これらの運動機会を意図的に設定する。

#### 【共通】

- ・運動習慣を身に付けることができるようにするために、問題解決型の授業の徹底するとともに、簡単にできる体力づくりの取組を例示し、推進していく。

# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

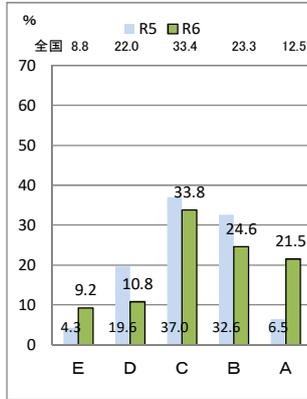
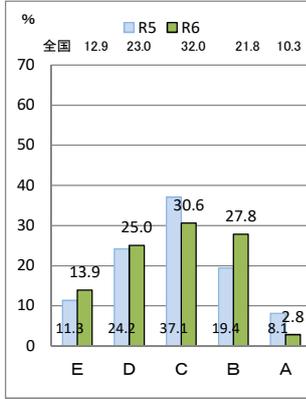
阿久根市 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

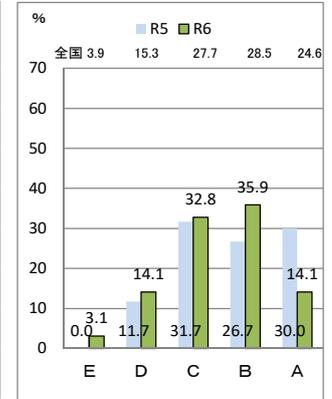
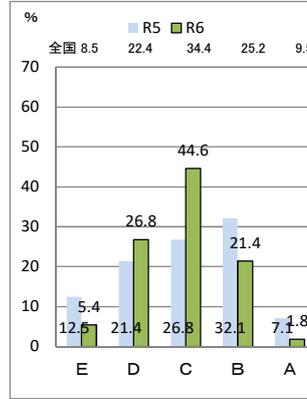
※グラフ内、上の数値は、令和6年度各総合評価の全国の割合を表す。



## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下 中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈現状及び課題〉

- ・ 男子は、全体的にR5年度よりも下回っている。D、Eの児童の割合が、全体の38.9%であり、3.4ポイント増加している。上体起こし、長座体前屈、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げが、全国平均を下回っていることが課題である。
- ・ 女子は、全体的にR5年度よりも上回っている。A、Bの児童の割合が、全体の46.1%であり、7ポイント増加している。長座体前屈が、全国平均を下回っているため課題である。

### 〈現状及び課題〉

- ・ 男子は、A、Bの生徒の割合が、23.2%であり、R5年度よりも16ポイント減少しているが、Cの生徒の割合が、17.8ポイントと大きく増加している。握力、上体起こし、長座体前屈、50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げが、全国平均を下回っていることが課題である。
- ・ 女子は、A、Bの生徒の割合がR5年度よりも6.7ポイント減少し、D、Eの生徒の割合が5.5ポイント増加している。握力、長座体前屈、持久走、立ち幅跳び、ハンドボール投げが、全国平均を下回っているため課題である。

## 【小学校 運動実施時間】

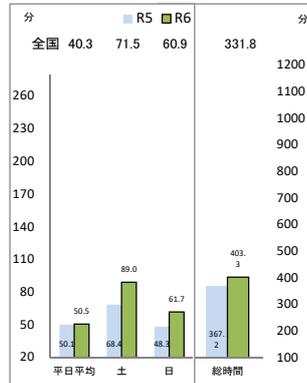
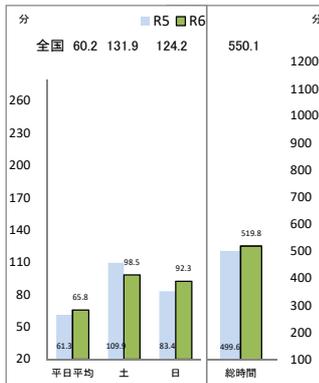
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、令和6年度運動実施時間の全国の平均を表す。



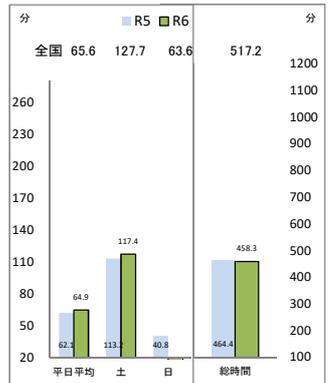
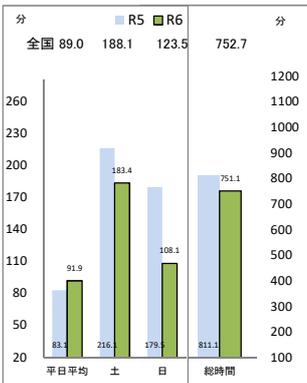
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- ・ 男女ともに、1週間を通して、R5年度より運動時間が増加している。
- ・ 男女ともに、平日の平均が、R5年度より増加している。
- ・ 総時間数において、男子は全国平均よりわずかに短い、女子は長い。

### 〈現状及び課題〉

- ・ 男女ともに総時間数がR5年度より減少している。平日の運動時間は、男女ともに増えているが、休日の運動時間は、全国平均と比べると、男女ともに短い。
- ・ 総時間数において、男子は全国平均とほとんど差がないが、女子は短い。

## 【改善策】

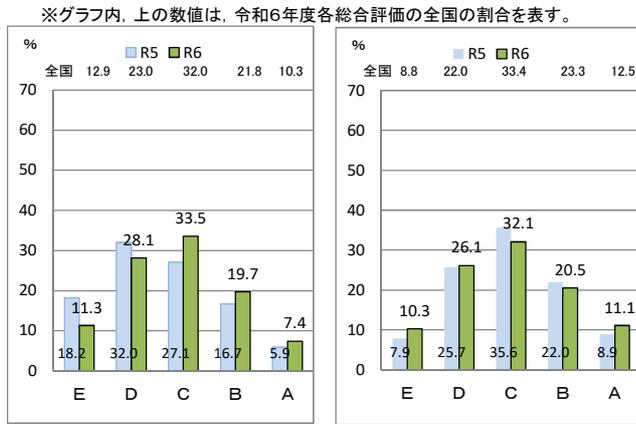
- ・ 本調査の結果分析を行うとともに、児童生徒が主体的に運動に取り組むことができるように体育科(保健体育科)の授業改善を行う。
- ・ 朝の活動や昼休み等の授業以外の時間について、児童会(生徒会)を中心に学校全体で継続的に運動に取り組む。
- ・ 授業の導入時の補強運動で、「体力アップ! チャレンジかごしま」の種目に取り組む。
- ・ 「運動大好き“かごしまっ子”育成推進プラン」の立案と評価を行う。
- ・ 学校保健委員会や家庭教育学級等で、土日の過ごし方を含めた児童生徒の運動習慣及び生活習慣に関する研修等を行い、家庭との連携を図った取組を行う。

# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

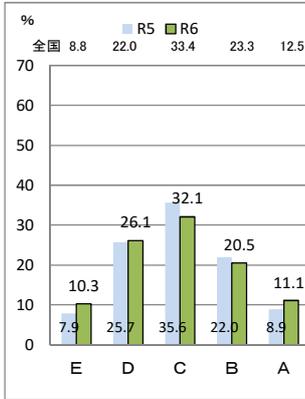
出水市 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

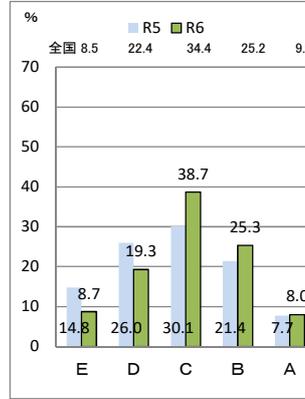


〔女子〕

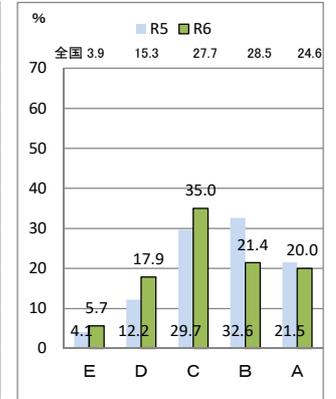


## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕



〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下 中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈現状及び課題〉

- ・男子はA, B, Cの割合がそれぞれ1.5, 3.0, 6.4ポイント増加し、D, Eの割合が、3.9, 6.9ポイント減少している。
- ・女子はA, D, Eの割合がそれぞれ2.2, 0.4, 2.4ポイント増加し、B, Cの割合が、1.5, 3.5ポイント減少している。
- ・男子は、D, Eの児童の体力及び運動への興味・関心を高めるとともに、Cの児童をB, Aへ引き上げる必要がある。

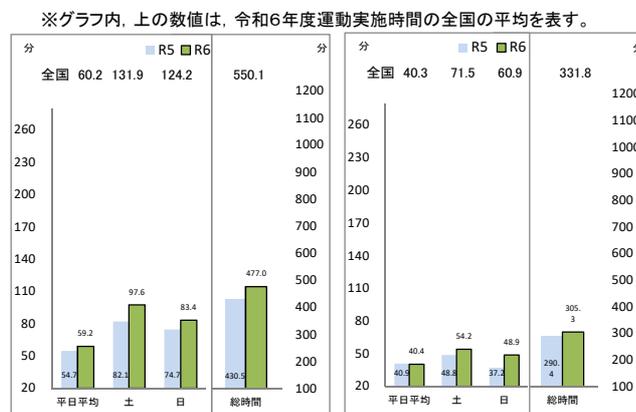
### 〈現状及び課題〉

- ・男子は、A, B, Cの割合が、それぞれ0.3, 3.9, 8.6ポイント増加し、D, Eの割合が、6.7, 6.1ポイント減少している。
- ・女子は、C, D, Eの割合が、それぞれ5.3, 5.7, 1.6ポイント増加し、A, Bの割合が、1.5, 11.2ポイント減少している。
- ・男子は、全体的にAへ引き上げるように、体力の向上が必要である。
- ・女子は、D, Eの生徒をC, B, Aへ引き上げる必要がある。

## 【小学校 運動実施時間】

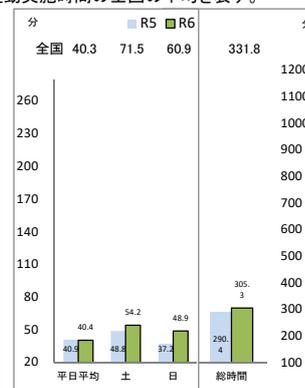
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



〔女子〕

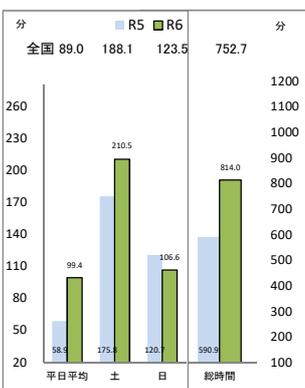
(平日の平均及び土日)(1週間)



## 【中学校 運動実施時間】

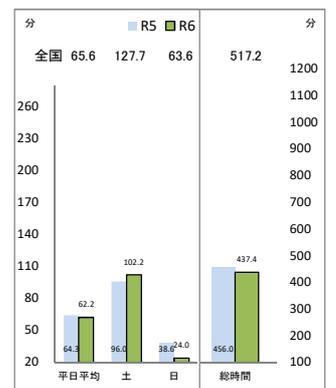
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- ・1週間の総運動時間は、全国平均と比較すると男子が「短い」、女子が「わずかに短い」という結果であった。
- ・平日は、全国平均と比較して男女とも運動時間に差は見られない。
- ・土・日曜日は、女子は全国平均と差はほとんど見られないが、男子は、土・日曜日のどちらも全国平均より運動時間が短い。

### 〈現状及び課題〉

- ・1週間の総運動時間は、全国平均と比較すると男子が「長い」、女子が「短い」という結果であった。
- ・男子は、平日、土・日ともに全国平均との差が見られないが、女子は、平日が「ほとんど差がない」、土が「わずかに短い」、日が「短い」という結果である。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・市で行っている小学生一輪車競走大会やちびっこ相撲大会、ドッジボール大会への参加を推奨し、豊かなスポーツ体験に触れられるようにする。

### 【中学校】

- ・土日の学校部活動地域展開の取組として、「部活動指導者研修会」を開催し、生徒の運動への意欲を高める指導力の向上を図る。

### 【共通】

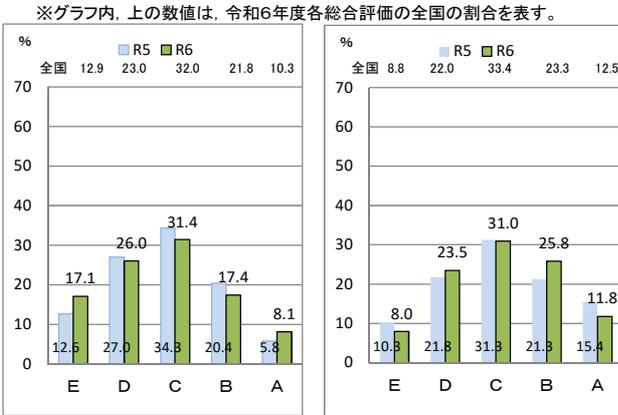
- ・授業開始5分間の補強運動「チャレ・トレタイム」の継続的な取組、「一校一運動」の取組や、「運動大好き“かごしまっ子”育成推進プラン」に基づく活動設定などを進めるとともに、体育的行事等も関連させながら年間を通じ計画的に「体力アップ! チャレンジかごしま」へ挑戦させ、運動の習慣化や日常化を図るよう指導する。

# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

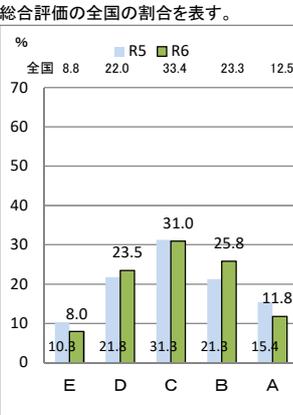
薩摩川内市 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

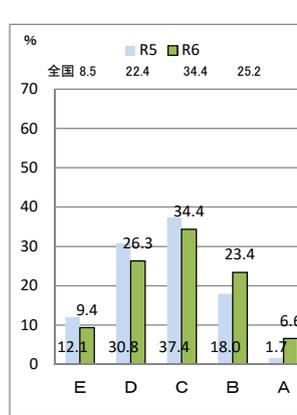


〔女子〕

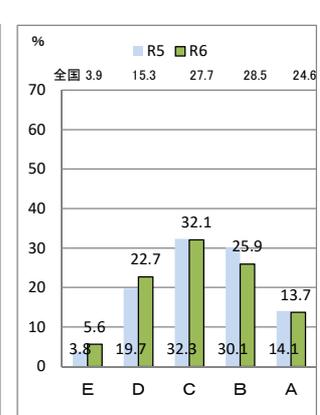


## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕



〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

小学校 A: 65点以上 B: 58点～64点 C: 50点～57点 D: 42点～49点 E: 41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A: 57点以上 B: 47点～56点 C: 37点～46点 D: 27点～36点 E: 26点以下

### 〈現状及び課題〉

- ・全国平均と比較すると、男子はA+Bの割合が6.6ポイント低く、D+Eの割合が7.2ポイント高い。女子は、A+Bの割合が1.8ポイント高く、D+Eの割合が0.7ポイント高い。
- ・R5年度と比較すると、男子は、A、Eの割合が増加し、B、C、Dの割合が減少している。女子は、B、Dの割合が増加し、A、C、Eの割合が減少している。
- ・男子はEの児童をDへ、女子はDの児童をCへ引き上げるための取組が必要である。

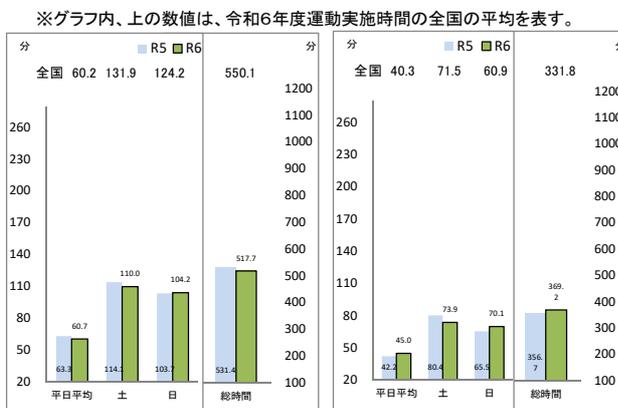
### 〈現状及び課題〉

- ・全国平均と比較すると、男子はA+Bの割合が4.7ポイント低く、D+Eの割合が4.8ポイント高い。女子はA+Bの割合が13.5ポイント低く、D+Eの割合が9.1ポイント高い。
- ・R5年度と比較すると、男子はC、D、Eの割合が減少し、A、Bの割合が増加している。女子はA、B、Cの割合が減少し、D、Eの割合が増加している。
- ・男子はDの生徒をCへ、女子はEの生徒をDに引き上げるための取組が必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

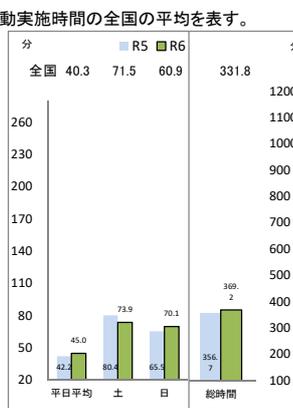
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



〔女子〕

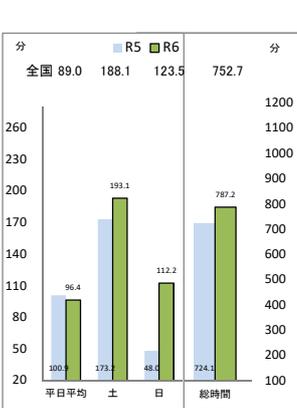
(平日の平均及び土日)(1週間)



## 【中学校 運動実施時間】

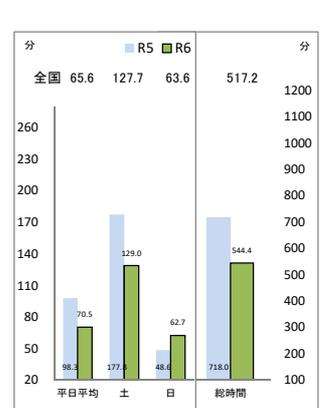
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- ・1週間の総運動時間は、全国平均と比較すると、男子が「わずかに短い」女子が「長い」結果であった。
- ・平日は、全国平均と比較して男女とも運動時間に大きな差はみられない。
- ・土・日曜日は、女子はほとんど差がないが、男子において全国平均より短くなっている。

### 〈現状及び課題〉

- ・1週間の総運動時間は、全国平均と比較すると、男女とも「わずかに長い」結果であった。
- ・平日は、全国平均と比較して男女とも運動時間に大きな差はみられない。
- ・土・日曜日は、女子はほとんど差がないが、男子において、全国平均より日曜日は短くなっている。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・運動量を確保するための学習過程の工夫及び問題解決型学習の充実

### 【中学校】

- ・運動部活動に所属していない生徒の教科体育や教科外体育での運動量の確保

### 【共通、その他】

- ・「運動大好き“かごしまっ子”育成推進プラン」に基づいた年間を通じた取組の見直しと推進
- ・「体力アップ！チャレンジかごしま」「一校一運動」の取組の奨励と取組時間の確保
- ・「体力ナビ」を活用した個々の実態把握と体力向上への取組の奨励
- ・「一家庭一運動」や「プラス5分運動」など、家庭・地域で平日や休日に取り組む運動の提示と推進

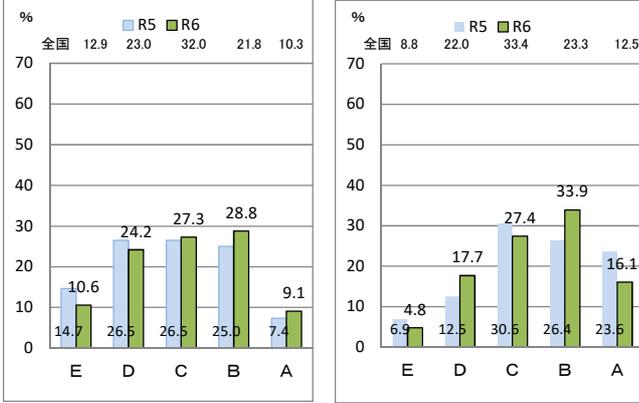
# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

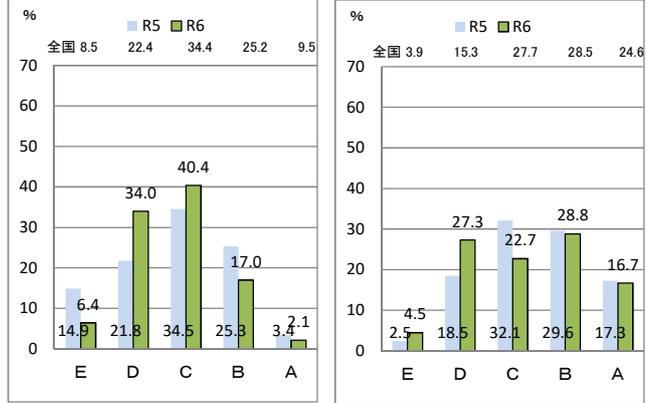
※グラフ内、上の数値は、令和6年度各総合評価の全国の割合を表す。



## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点～64点 C:50点～57点 D:42点～49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点～56点 C:37点～46点 D:27点～36点 E:26点以下

### 〈現状及び課題〉

- ・男子は、Aの割合が1.7ポイント、Bの割合が3.8ポイント増加している。A・Bの層が増加しており、わずかながら体力が向上している。
- ・女子は、Aの割合が7.5ポイント減少したが、Eの割合が3.8ポイント増加していること、Eの割合が2.1ポイント減少したが、Dの割合が5.2ポイント増加していることから中間層が増加したと考えられる。
- ・男子・女子ともに、D・Eの層を引き上げるために、体力及び運動への興味・関心を高め、継続して運動させることが必要である。

### 〈現状及び課題〉

- ・男子は、A・Bの層が減少しており、全体的に体力の伸びは停滞している。
- ・女子は、A・B・Cの層が減少し、D・Eの層が増加していることから、全体的に体力が低迷してきている。
- ・全体的に体力及び運動への興味・関心を高めるとともに、Dの層を上位へ引き上げるための支援が必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

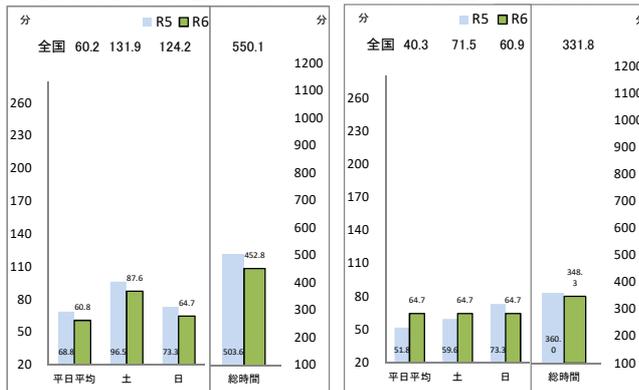
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日) (1週間)

(平日の平均及び土日) (1週間)

※グラフ内、上の数値は、令和6年度運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈現状及び課題〉

- ・男子は、昨年度に比べ、平日、週末ともに運動時間が減少している。
- ・女子は、平日、土曜ともに運動時間は、増加している。
- ・男女ともに、土・日の運動時間確保に向けた手立てが必要である。

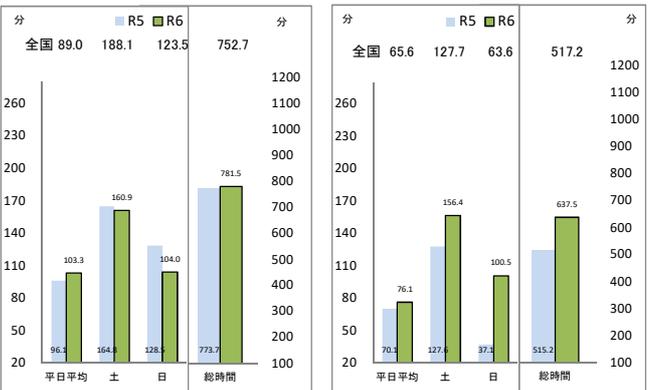
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日) (1週間)

(平日の平均及び土日) (1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- ・男子は、昨年度と比較すると、土日の運動時間が減少している。
- ・女子は、平日、土日ともに大幅に運動実施時間が増加している
- ・男子の土・日の運動時間の確保に向けた手立てが必要である。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・教科体育において、課題となっている体力や運動能力に関する補強運動の実施

### 【中学校】

- ・運動部活動に加入していない生徒や、バス通学の生徒の運動量の確保(教科体育及び教科外体育の充実)

### 【共通】

- ・「体力アップ! チャレンジかごしま」の実施と運動機会の確保

# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

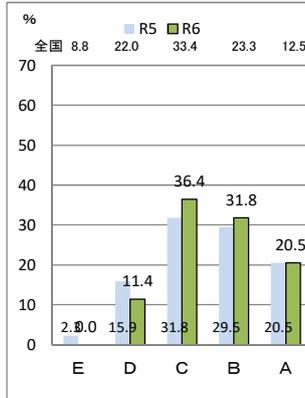
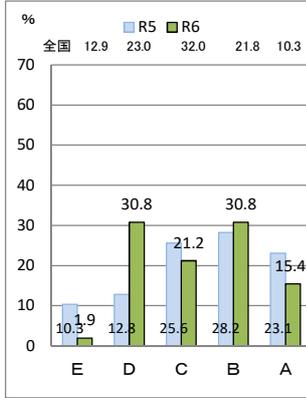
長島町 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

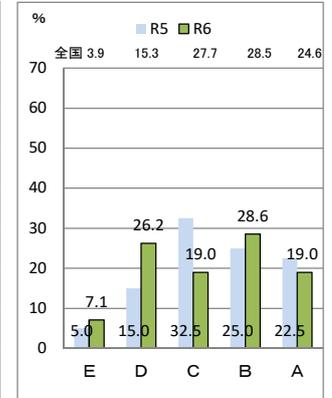
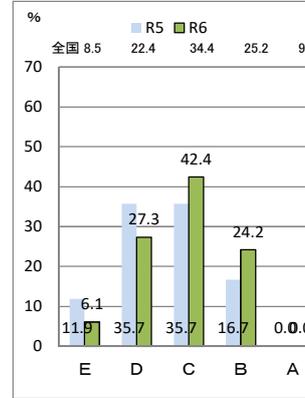
※グラフ内、上の数値は、令和6年度各総合評価の全国の割合を表す。



## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点～64点 C:50点～57点 D:42点～49点 E:41点以下 中学校 A:57点以上 B:47点～56点 C:37点～46点 D:27点～36点 E:26点以下

### 〈現状及び課題〉

- ・R5年度と比較すると、A+Bの割合が、男子は5.1ポイント減少し、女子は2.3ポイント増加している。また、D+Eの割合が、男子が9.3ポイント増加し、女子が6.8ポイント減少している。
- ・全国平均と比較すると、A+Bの割合が、男子は14.1ポイント、女子は16.5ポイント上回っている。
- ・全国に比べ高い結果であったが、昨年度と比べて男子の体力が低下しており、教科体育の授業改善を柱とした取組が必要である。

### 〈現状及び課題〉

- ・R5年度と比較すると、A+Bの割合が、男子は7.5ポイント、女子は0.1ポイント増加している。また、D+Eの割合が、男子が8.4ポイント減少し、女子が13.3ポイント増加している。
- ・全国平均と比較すると、A+Bの割合が、男子は10.5ポイント、女子は5.5ポイント下回っている。
- ・昨年度と比べて若干の向上は見られるが、全体的に全国と比べると依然として大きな落ち込みが見られるので、改善を図る取組が急務である。

## 【小学校 運動実施時間】

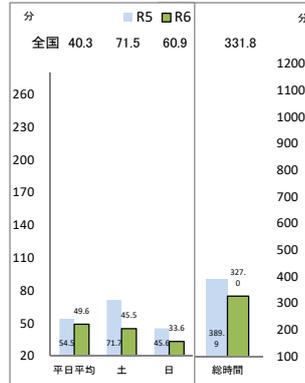
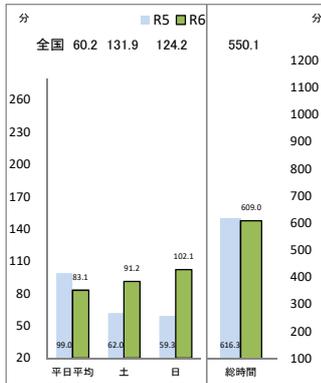
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、令和6年度運動実施時間の全国の平均を表す。



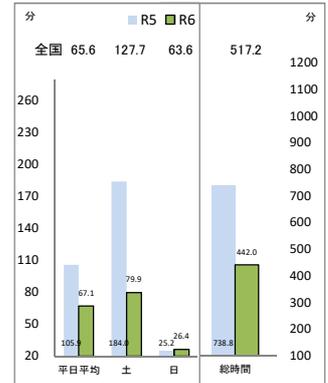
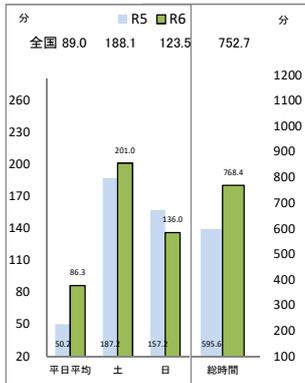
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- ・R5年度と比較すると、1週間の総運動時間は、男子はほとんど差がなく、女子は62.9分短くなっている。
- ・全国平均と比較すると、1週間の総運動時間は、男子は58.9分長く、女子はほとんど差がない。
- ・男子は現在の運動習慣を継続していき、女子は特に休日の運動時間が短い実態について改善を図っていく必要がある。

### 〈現状及び課題〉

- ・R5年度と比較すると、1週間の総運動時間は、男子は172.8分長くなっており、女子は296.8分短くなっている。
- ・全国平均と比較すると、1週間の総運動時間は、男子は15.7分とわずかに長く、女子は75.2分短くなっている。
- ・男子は現在の運動習慣を継続していき、女子は平日・休日の運動時間が短い実態について改善を図っていく必要がある。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・「一校一運動」及び「体力アップ! チャレンジかごしま」への取組の継続による、運動に対する興味・関心の向上
- ・教科体育における運動の苦手な子供への指導の充実(体育における「学習者主体の授業」を目指した授業改善)

### 【中学校】

- ・「一校一運動」及び「体力アップ! チャレンジかごしま」への取組の活性化による、運動に対する意欲と運動に親しむ習慣の形成
- ・教科体育で運動量の十分な確保(特に、運動部活動に入っていない生徒への運動に親しむ習慣の形成に向けた取組)

### 【共通】

- ・学校、家庭、地域との連携を生かした、地域で開催されるスポーツ行事や町主催行事への積極的な参加の呼び掛け

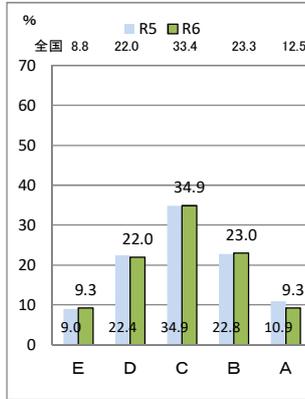
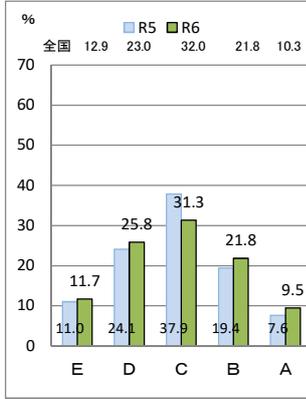
# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

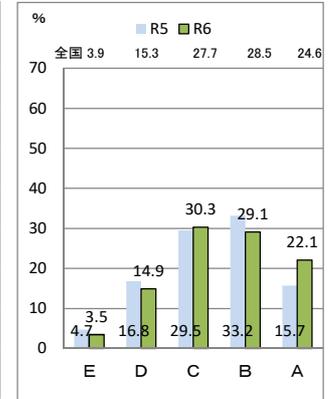
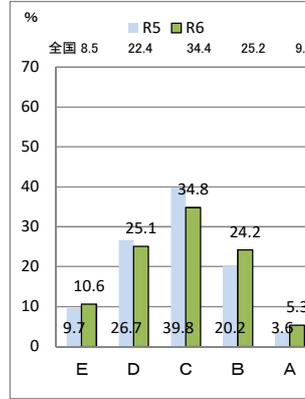
※グラフ内、上の数値は、令和6年度各総合評価の全国の割合を表す。



## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下 中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈現状及び課題〉

- ・ 男子は、Aの割合が1.9ポイント増加し、Cの割合が6.6ポイント減少している。
- ・ 女子は、Eの割合が0.3ポイント増加し、Aの割合が1.6ポイント減少している。
- ・ 各学校の体力向上の取組の成果から、男子はA、Bの合計の割合が4.3

### 〈現状及び課題〉

- ・ 男子は、Bの割合が4ポイント増加し、Cの割合が5ポイント減少している。
- ・ 女子は、Aの割合が6.4ポイント増加し、Dの割合は、1.9ポイント減少している。
- ・ 各学校の体力向上の取組の成果から、男子はA、Bの合計の割合が5.7ポイント増加している。女子はD、Eの合計の割合が3.1ポイント減少している。今後は、Cの生徒をA、Bへ引き上げる取組が必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

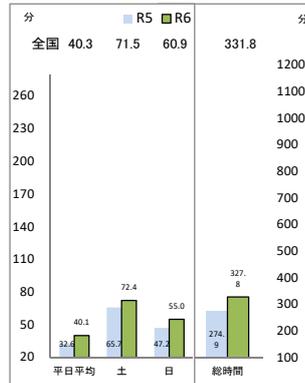
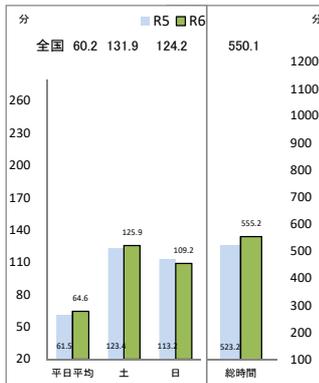
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、令和6年度運動実施時間の全国の平均を表す。



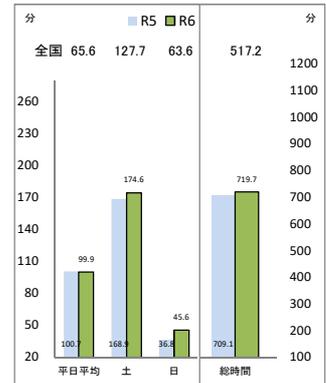
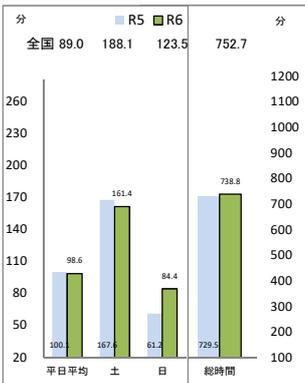
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- ・ 総運動時間は、男女共に増加している。土日の割合が微増していることから、家庭との連携が浸透しつつあると考えられる。
- ・ 総運動時間の増加が体力総合評価の向上にもつながっていると考えられる。
- ・ 学校や家庭でも楽しんでできる運動を進めていく。

### 〈現状及び課題〉

- ・ 男女共に総運動実施時間は、あまり変化はないが、男子の日曜日は令和5年度より若干長くなっている。家庭との連携が浸透しつつあると考えられる。
- ・ 女子は運動時間は平日、土日とも増減はない。
- ・ 学校や家庭でも楽しんでできる運動を進めていく。

## 【改善策】

- ・ 学校ごとに体力向上委員会等を明確に位置付け、体力向上策を検討する。
- ・ PTAと協力し、学校、家庭が連携した「一家庭一運動」の具体的な取組を推進する。
- ・ 学校として研修への申込や職員の研修参加を推進し、授業力の向上を図る。
- ・ 体力・運動能力調査を実施するにあたり、実施方法や指導のポイント等について全職員で共通理解をする。実施の際は、練習をするごとに1回の実施で終わらずに複数回測定する。
- ・ 休日や長期休業中の運動時間の確保に向け、家庭で取り組める資料やイベント等を積極的に広報する。

# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

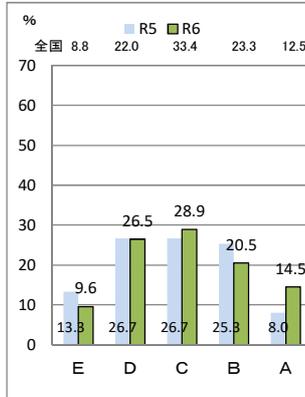
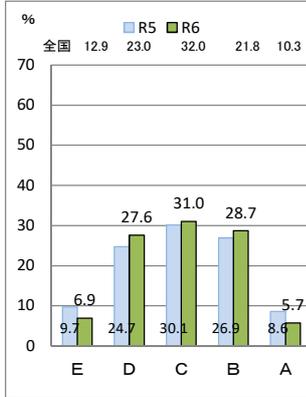
伊佐市 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

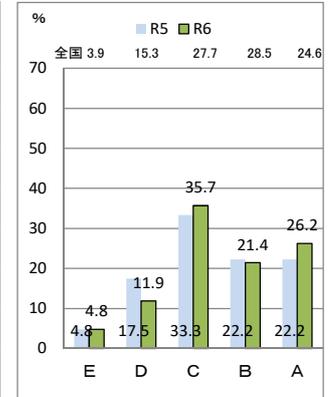
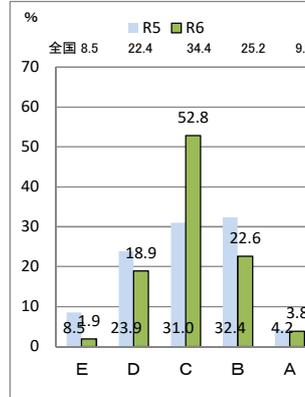
※グラフ内、上の数値は、令和6年度各総合評価の全国の割合を表す。



## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A: 65点以上 B: 58点~64点 C: 50点~57点 D: 42点~49点 E: 41点以下 中学校 A: 57点以上 B: 47点~56点 C: 37点~46点 D: 27点~36点 E: 26点以下

### 〈現状及び課題〉

- ・男子はEの割合が2.8ポイント減少し、Bの割合が1.8ポイント増加している。
- ・女子はBの割合が5.3ポイント減少し、Aの割合が6.5ポイント増加している。
- ・男女ともにC、D、Eの児童の体力向上のために、運動の楽しさを実感できる授業づくりや取組が必要である。

### 〈現状及び課題〉

- ・男子は、Eの割合が6.6ポイント、Dの割合が5ポイント、Bの割合が9.8ポイント減少し、Cの割合が21.8ポイント増加している。
- ・女子は、Dの割合が5.6ポイント減少し、Cの割合が2.4ポイント、Aの割合が4ポイント増加している。
- ・男女ともに、体力向上の傾向が見られるが、引き続き、D、Eの生徒の体力向上及び運動への興味・関心を高めるための手立てや取組が必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

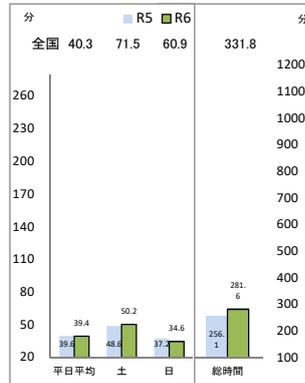
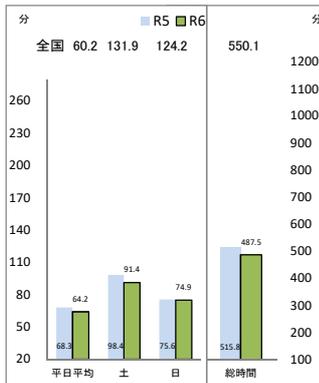
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、令和6年度運動実施時間の全国の平均を表す。



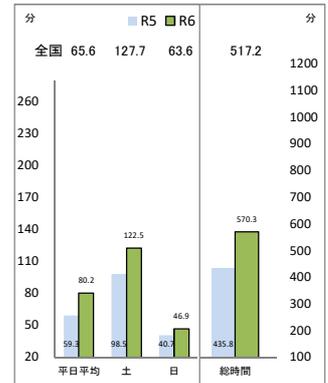
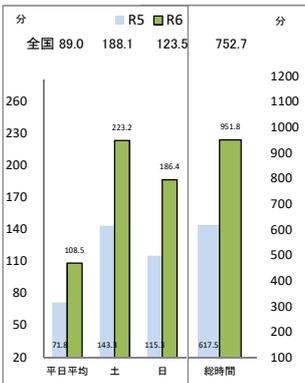
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- ・1週間の総運動時間は、全国平均と比較すると、男女共に「短い」結果であった。
- ・男女共に、平日平均は全国平均と比較すると、「ほとんど差がない」が、週末の運動実施時間が短くなっている。
- ・男子は、1週間の総運動時間が昨年度よりも大幅に減少しているため、運動時間確保の取組や家庭への啓発が必要である。

### 〈現状及び課題〉

- ・1週間の総運動時間は、全国平均と比較して、男女とも「長い」結果であった。
- ・男女共に、昨年度よりもそれぞれの曜日で運動実施時間が長くなっている。
- ・男女共に、運動実施時間の確保ができるように継続した取組や家庭への啓発が必要である。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・教科外体育における運動遊びの充実や運動実施時間の確保

### 【中学校】

- ・保健分野と関連付けた教科学習の充実

### 【共通】

- ・休日における運動やスポーツを促すための具体的資料や啓発資料の作成
- ・学校保健委員会やPTA、家庭教育学級での啓発
- ・各学校の体力向上推進委員会等を中心として課題分析及び学校全体での取組

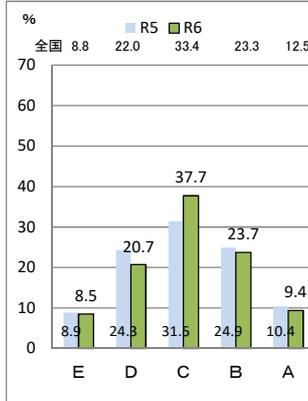
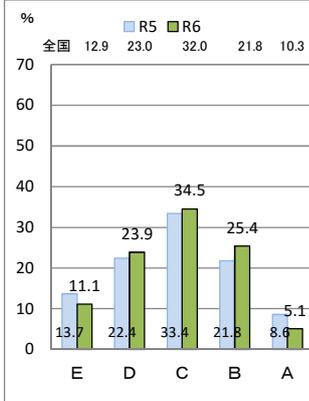
# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

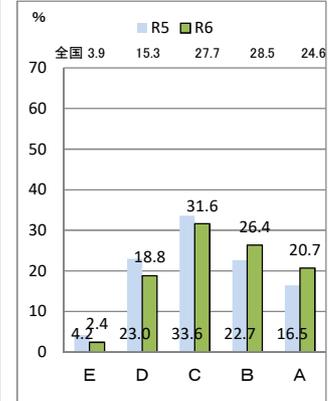
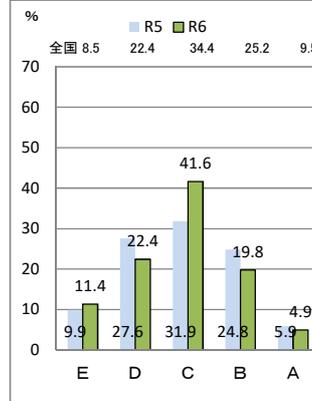
※グラフ内、上の数値は、令和6年度各総合評価の全国の割合を表す。



## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下 中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈現状及び課題〉

・男子は、前年度と比較して、Aが3.5ポイント、Eは2.6ポイント減少しており、中間層の増加がみられた。下位層(D+E)が1.1ポイント減少していることから、下位層への指導の継続が必要である。  
 ・女子は、前年度と比較して、Dが3.6ポイント減少、Cが6.2ポイント増加したことから、中間層の改善がみられた。上位層(A+B)で2.2ポイントの減少がみられるため、上位層を増加させる指導が必要である。

### 〈現状及び課題〉

・男子は、前年度と比較して、下位層(D+E)が3.7ポイント減少しており、底上げがみられる。ただ、上位層(A+B)も6.0ポイント減少していることから、上位層増加に向けた指導の改善が必要である。  
 ・女子は、前年度と比較して、上位層(A+B)が7.9ポイント増加し、下位層(D+E)は6.0ポイント減少しており、全体的に向上しているため、継続的な指導を進める必要がある。

## 【小学校 運動実施時間】

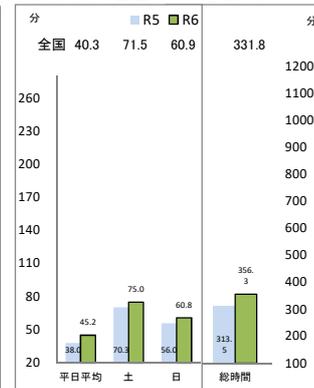
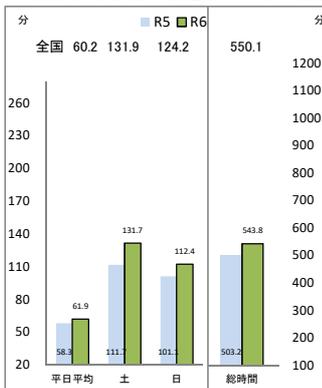
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、令和6年度運動実施時間の全国の平均を表す。



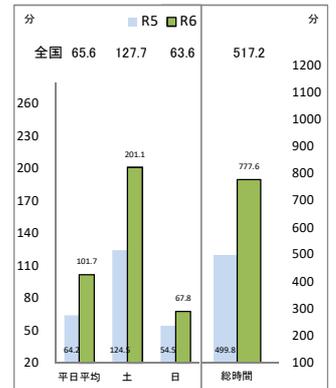
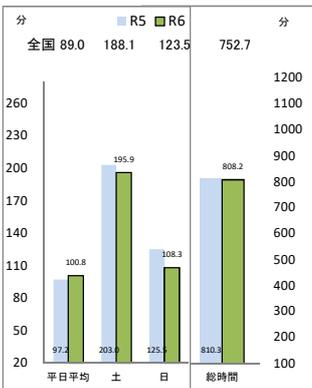
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

・全国平均と比較し、男子が「ほとんど差はみられず」、女子は「わずかに長い」状況である。  
 ・前年度と比較すると男女とも「長い」状況である。  
 ・学校外での運動機会を確保できるよう家庭や地域と連携した継続的な取組が必要である。

### 〈現状及び課題〉

・全国平均と比較し、男女とも「長い」状況である。  
 ・前年度と比較すると、男子は「ほとんど差がない」、女子は「長い」状況である。  
 ・男子の土日の運動時間が減少しているため、部活動やスポーツクラブ等に参加していない生徒への指導の工夫が必要である。

## 【改善策】

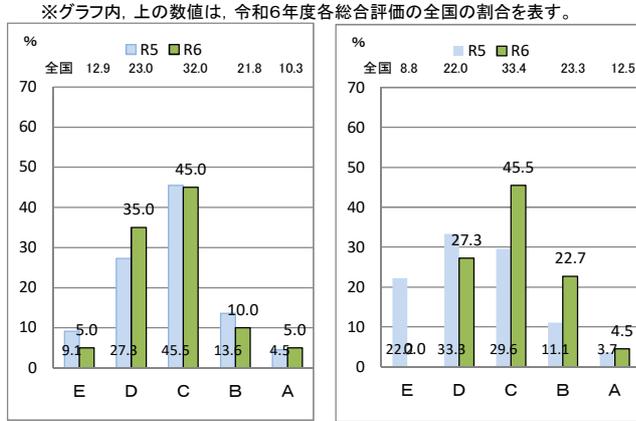
- ① 教師の指導力向上を図る「体力・気力アップ始良っ子育成研修会」「小・中学校体育主任研修会」等の実施
  - ・目標をもたせたり、助け合わせたりする授業【課題(問題)解決学習】の充実
  - ・運動習慣があまり定着していない児童生徒に対する運動機会の確保や運動意欲の向上
- ② 課題(俊敏性・柔軟性など)に応じた運動の推進
  - ・「体力アップ! チャレンジかごしま」における「馬跳びピョンピョン!」「2人でさっさっ」「のぼしてコロコロ」の推奨
  - ・補強運動の充実(学校オリジナル体操、エクシードなど)
- ③ 運動の日常化を目指す「一家庭一運動」の推進(学校保健委員会、PTA等との連携)
- ④ 学校訪問等において、授業や体育指導に関する指導の充実

# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

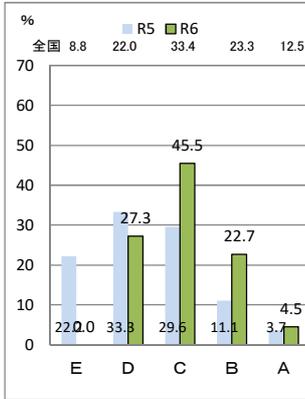
湧水町 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

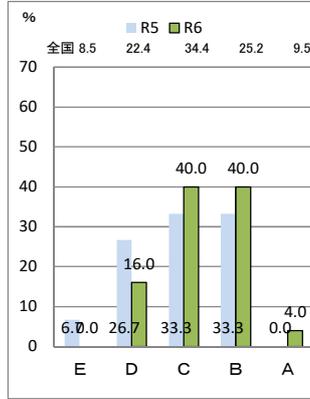


〔女子〕

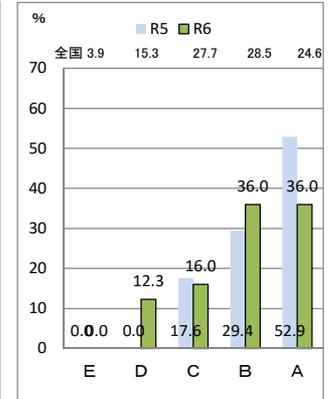


## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕



〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価標準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価標準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下 中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈現状及び課題〉

- 男子は、Eの割合が4.1ポイント、Bの割合が3.6ポイント減少し、Cの割合は、ほぼ変化ないが、Dの割合が7.7ポイント増加している。
- 女子は、Eの割合が皆無で、Dの割合が6ポイント減少し、Cの割合が15.9ポイント、Bの割合が11.6ポイントと大きく増加している。
- 男女ともに、運動への興味関心を高め、引き続き全校体制で体づくりを推進していく必要がある。

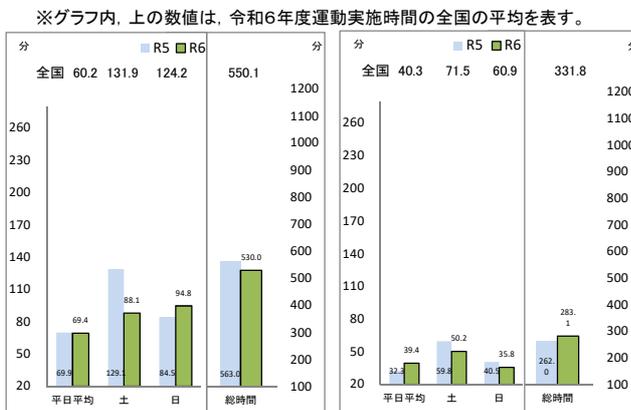
### 〈現状及び課題〉

- 男子は、Dの割合が10.7ポイント減少し、C・Bの割合はそれぞれ6.7ポイント増加している。Aの割合も増加し、全体的に総合評価が高まっている。
- 女子は、Aの割合が16.9ポイント減少し、Bの割合が6.6ポイント増加した。Dの生徒をB、Aに引き上げるための支援が必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

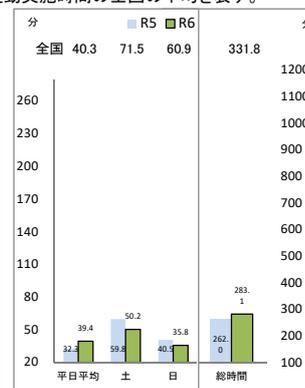
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



〔女子〕

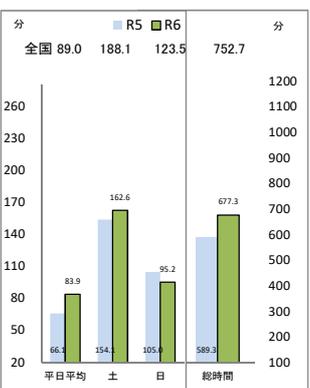
(平日の平均及び土日)(1週間)



## 【中学校 運動実施時間】

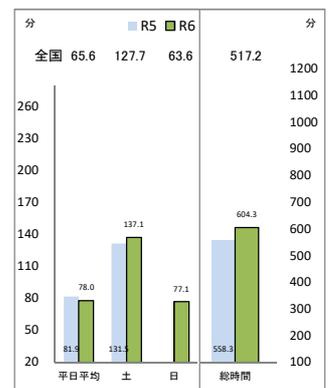
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- 男子の平日の運動量は、昨年度同様であるが、土曜日の運動時間が大きく減少しており、全国平均と比べても差が大きい。
- 女子は、平日の運動時間及び一週間の総時間も昨年に比べて増加している。
- 男女ともに、全国平均に比べて運動時間が短い傾向がある。家庭や地域と連携した取組の充実が必要である。

### 〈現状及び課題〉

- 男子は、平日、土曜日並びに一週間の総時間が昨年度に比べて増加しているが、日曜日の運動時間が減少している。全国の総時間平均と比べても運動時間が少ない。
- 女子は、平日平均は昨年度のデータを若干下回っているが、週末の運動時間が多くなっており、特に日曜日の運動時間が格段に増加している。全国平均と比べても運動時間が多い。

## 【改善策】

- 【小学校】 ○ 少人数学級(複式学級)等の実態の応じた指導方法の工夫・改善 \* 令和7年度新規事業(予定)→小学校専科加配の効果的活用
- 【中学校】 ○ 「体力アップ! チャレンジかごしま」への積極的な取組
- 【共通】 ○ 授業の工夫・改善→タブレットの効果的な活用と運動量の確保→1単位時間の60%以上の運動時間確保
  - ◇導入時→目標(めあて・ねらい等)の明確化→全ての児童・生徒が自分事と意識して授業に臨む。
  - ◇展開時→児童・生徒同士で話し合い、工夫する活動の推進及び運動量の確保
  - ◇終末時→学習の振り返り活動の実施
- 教科外の取組の充実
  - ◇県の事業と連動した町体力づくり事業「遊・友・湧水島」のさらなる充実と地域行事への参加促進(豊祭相撲・地区運動会等)

# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

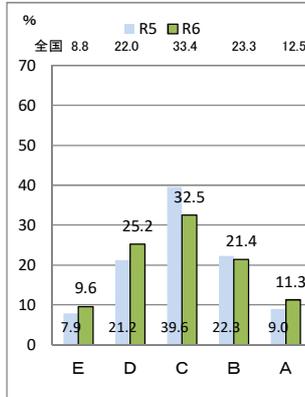
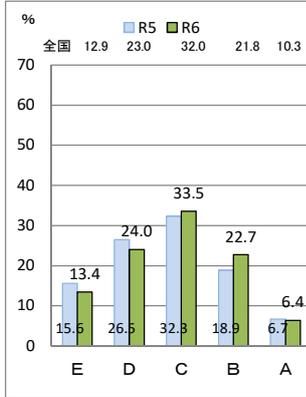
鹿屋市 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

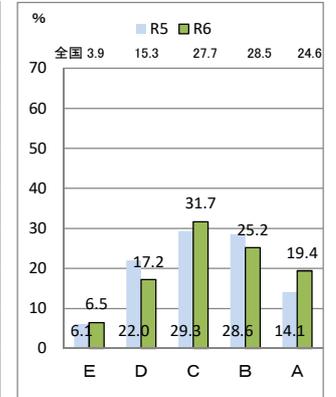
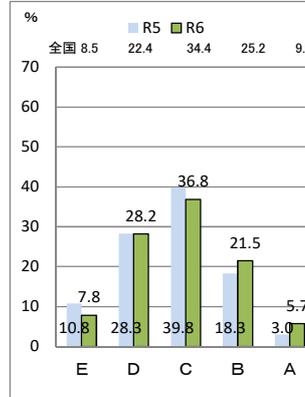
※グラフ内、上の数値は、令和6年度各総合評価の全国の割合を表す。



## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下 中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈現状及び課題〉

- ・男子は昨年度に比べ、D、Eの割合が減少し、B、Cの割合が増加しているが、Aにおける全国との差は、-3.9ポイント開いている。女子は昨年度に比べ、D、Eの割合が増加し、B、Cの割合が減少しているものの、Aの割合は増加し、全国との差は、-1.2ポイントに迫っている。
- ・男女ともに体力の底上げを図るため、体力の実態に基づいた授業改善や業間体育等の取組を充実させ、運動量を確保する必要がある。

### 〈現状及び課題〉

- ・昨年度と比べると、男女ともにAの割合が増加していることに加え、男子のEの割合と女子のDの割合が昨年度に比べ、減少している。
- ・全国と比べると男子はDの割合が高く、A、Bの割合が低い。女子はC、D、Eの割合が高く、A、Bの割合が低い。
- ・下位層を上位層へ引き上げるため、運動への興味・関心を高めるための「楽しい保健体育の授業づくり」を進める必要がある。

## 【小学校 運動実施時間】

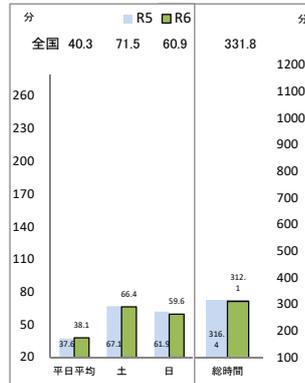
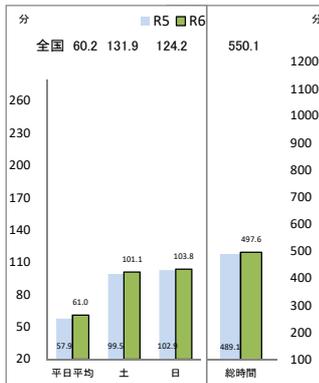
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、令和6年度運動実施時間の全国の平均を表す。



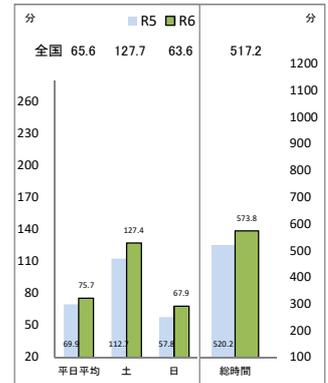
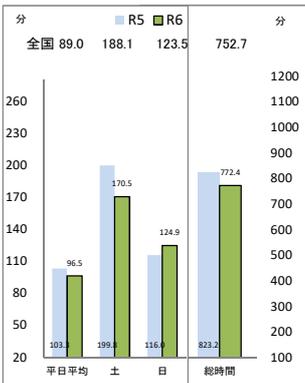
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- ・1週間の総運動時間は、男女ともに昨年度と比べるとほとんど差がない。全国と比べると男子が52.5分短く、女子は、ほとんど差がない。
- ・平日の運動時間は、男女ともに全国とほとんど差がないが、男子の土日の運動時間が全国に比べ、51.2分短い。
- ・土日の運動を促進するため、家庭への啓発が必要である。

### 〈現状及び課題〉

- ・1週間の総運動時間は、男子は昨年度より50.8分短く、女子は53.6分長い。全国と比較すると男子はほとんど差はなく、女子は56分長い。
- ・土日の運動時間は、男女とも全国と比べ、ほとんど差はなく、平日の総運動時間は、男子が37.3分(1日約7.5分)、女子が50.4分(1日約10.1分)長い。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・「体力アップ!チャレンジがこしま」や「一校一運動」を奨励することによる、児童の運動実施時間の確保

### 【中学校】

- ・「楽しい保健体育の授業づくり」を進める授業設計の工夫

### 【共通】

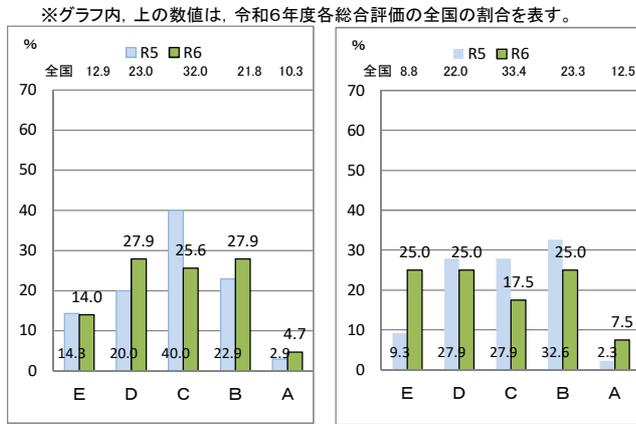
- ・学校の実態に基づいた「運動大好き」かごしまっ子”育成推進プラン」の作成と確実な実践・評価
- ・鹿屋体育大学が考案した子どもの運動プログラム「Exseed」の年間を通じた取組の推進
- ・体育・保健体育の授業におけるアスリート等の外部講師派遣を通じた児童生徒の運動意欲を喚起する教育手法の工夫

# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

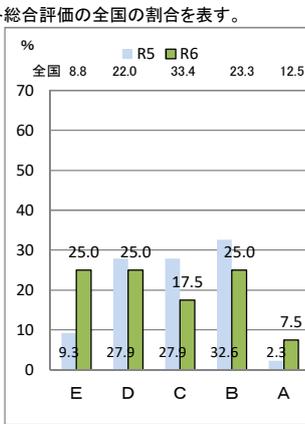
垂水市 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

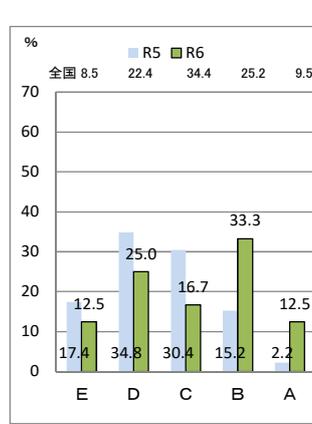


〔女子〕

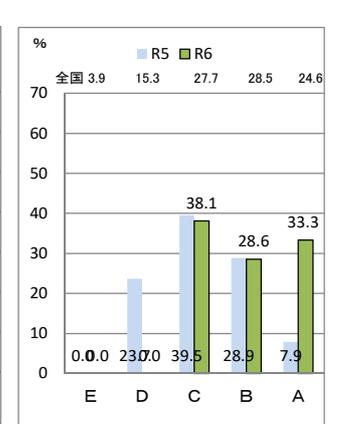


## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕



〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点～64点 C:50点～57点 D:42点～49点 E:41点以下 中学校 A:57点以上 B:47点～56点 C:37点～46点 D:27点～36点 E:26点以下

### 〈現状及び課題〉

- ・男子はAの割合が1.8ポイント、Bの割合が5ポイント増加し、Cの割合が14.4ポイント減少している。
- ・女子はAの割合が5.2ポイント増加しているものの、Eの割合が15.7ポイント増加している。
- ・男女とも、A+Bの割合が全国平均と同程度になりつつある。一方、D、Eの児童をB、Cへ引き上げる取組が必要である。

### 〈現状及び課題〉

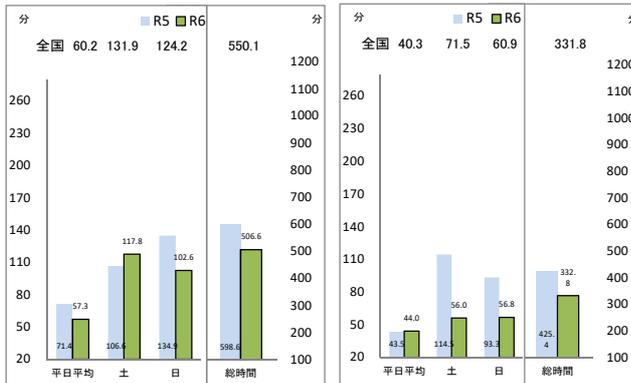
- ・男子はAの割合が10.3ポイント、Bの割合が18.1ポイント増加し、Cの割合が13.7ポイント、Eの割合が9.8ポイント減少している。
- ・女子はAの割合が25.4ポイント増加し、D、Eの割合が0である。
- ・男女とも、A、Bの割合が全国平均より多く、引き続き体力・運動能力を高める取組を行う。
- ・男子はD、Eの生徒を、それぞれB、Cへ引き上げる取組が必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

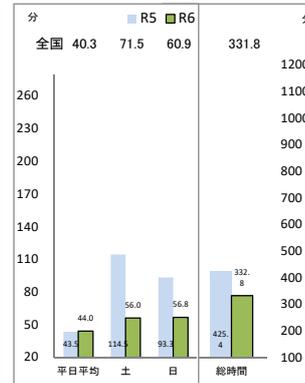
※グラフ内、上の数値は、令和6年度運動実施時間の全国の平均を表す。



〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、令和6年度運動実施時間の全国の平均を表す。

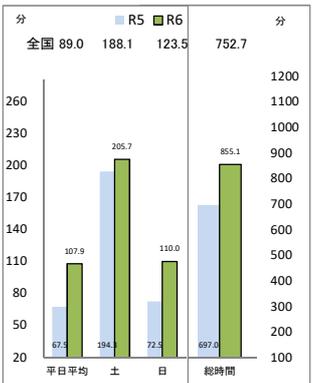


## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

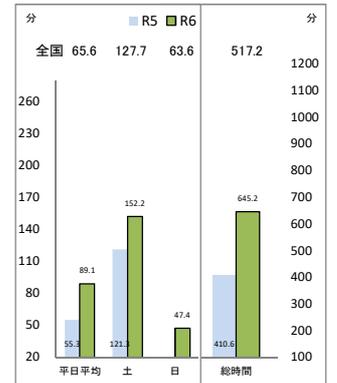
※グラフ内、上の数値は、令和6年度運動実施時間の全国の平均を表す。



〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、令和6年度運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- ・1週間の総運動時間が、男女ともに昨年度より減少している。全国平均と比較すると、女子は同程度であるが、男子は43.5分短い。
- ・土・日曜日の運動時間が、男女ともに昨年度より減少している。全国平均と比較しても、男女ともにわずかに短い。
- ・男女ともに、土・日曜日の運動時間を増やす取組が必要である。

### 〈現状及び課題〉

- ・1週間の総運動時間は、男女ともに昨年度より増加している。全国平均と比較すると、男子ともに100分以上長い。
- ・平日と土曜日の運動時間は、男女ともに全国平均と比較すると長く、日曜日の運動時間は、女子が短い。
- ・引き続き、日曜日も含めて、男女ともに運動時間を増やす取組を行う。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・一人一人の課題を把握し、計画的に体力・運動能力の向上に取り組むとともに、家庭と連携し、主体的に体力づくりに取り組めるようにする。

### 【中学校】

- ・体育科授業や体育的行事を通して、生徒の体力及び運動への興味・関心を高め、生涯にわたって継続的に運動に親しもうとする態度を養う。

### 【共通、その他】

- ・鹿屋体育大学と連携し、体育科授業における教員の指導力向上及び体力向上の取組に関する教員研修の充実
- ・「一校一運動」の推進、家庭や地域と連携した「一家庭一運動」等の推進による運動習慣の育成

# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

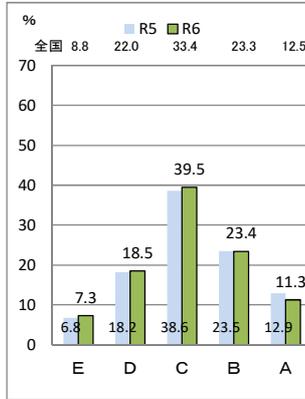
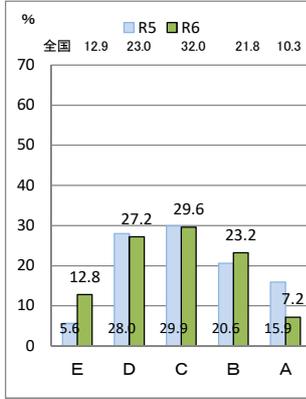
曾於市 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

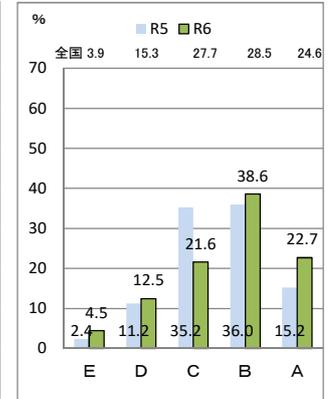
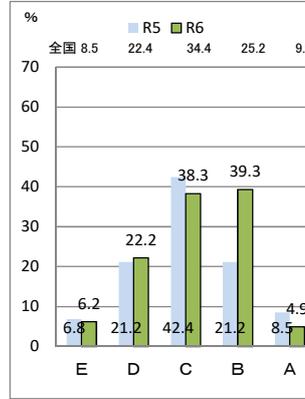
※グラフ内、上の数値は、令和6年度各総合評価の全国の割合を表す。



## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価標準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価標準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A: 65点以上 B: 58点~64点 C: 50点~57点 D: 42点~49点 E: 41点以下 中学校 A: 57点以上 B: 47点~56点 C: 37点~46点 D: 27点~36点 E: 26点以下

### 〈現状及び課題〉

- ・男子はEの割合が7.2ポイント増加し、Bの割合も2.7ポイント増加した。それとは逆にAの割合が8.7ポイント減少した。
- ・男子は特にDの割合が多く、これらの児童をCへ引き上げる必要があり、具体的な数値目標を設定させ、常に意識する取組が必要である。女子は、競い合ったり挑戦したりすることを継続することで、結果を返し、その変容を運動意欲につなげる取組が必要である。

### 〈現状及び課題〉

- ・男子はCの割合が4.1ポイント減少し、Bの割合が18.1ポイント増加した。
- ・女子はCの割合が13.6ポイント減少し、B、Aの割合がそれぞれ2.6ポイント、7.5ポイント増加した。
- ・男女ともに、Bの割合の増加が見られた。男女ともに学習を通して、運動の重要性を理解している生徒が多く、意識して体を動かしている。授業との関連性を充実させる取組が必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

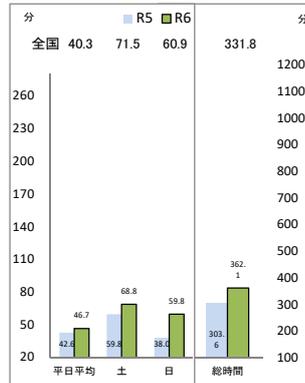
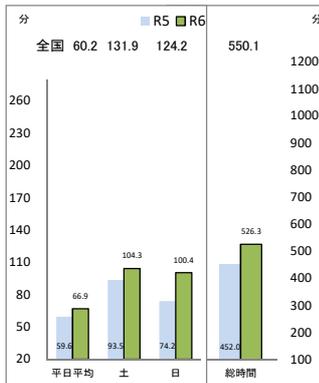
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、令和6年度運動実施時間の全国の平均を表す。



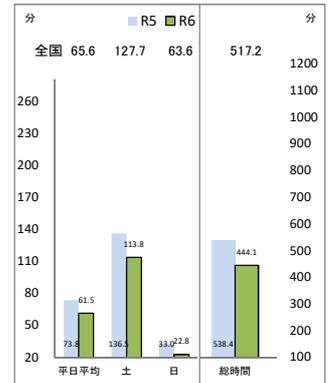
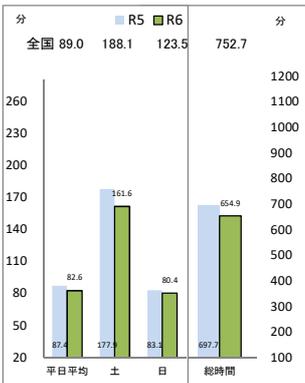
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- ・総時間が男女ともに増加している。平日においても男女ともに増加が見られ、特に日曜日の運動時間の伸びが見られた。全国と比較しても、長い状況にある。
- ・平日においてはわずかな伸びであるが、自主的な朝の運動習慣や、一校一運動の取組が運動時間の増加につながっている。

### 〈現状及び課題〉

- ・昨年度と比較しても男女共にポイントが減少している。全国と比べても低い状況にある。
- ・女子においては日曜日の運動習慣がなく、かなりポイントが低い。
- ・特に休日における運動習慣の定着について、取組が必要である。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・家庭や地域とともに連携して、更なる休日における運動の習慣化を図る。
- ・数値を意識させることで、目標を持ち、自分の変容を客観的に見取れるように個別ファイル(体カナビ)の活用を充実させる。

### 【中学校】

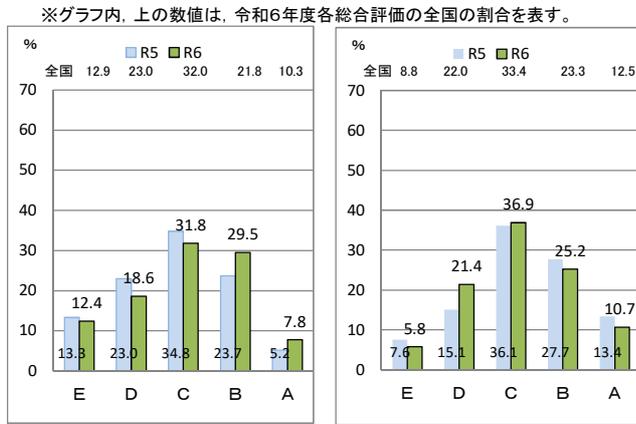
- ・運動の良さや必要性を学ぶことのできる授業を展開し、健康と関連付けることで自宅や地域で継続してできる運動を習慣づける。
- ・休養と実技集計結果との相関について学習し、トレーニングのみの結果ではないことを理解させ、科学的根拠をもとに学習・実践に取り組む。

# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

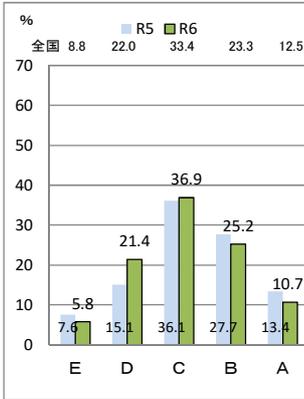
志布志市 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

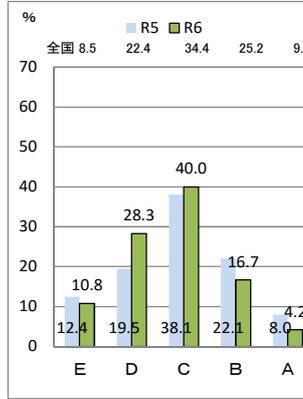


〔女子〕

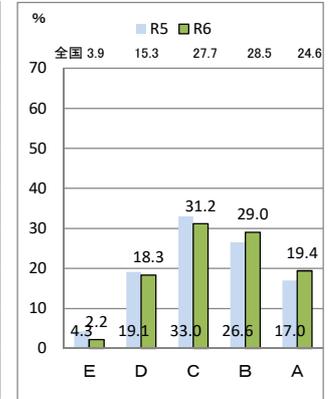


## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕



〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価標準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価標準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点～64点 C:50点～57点 D:42点～49点 E:41点以下 中学校 A:57点以上 B:47点～56点 C:37点～46点 D:27点～36点 E:26点以下

### 〈現状及び課題〉

- ・男子はAの割合が2.6ポイント、Bの割合が5.8ポイント増加し、Eの割合が0.9ポイント、Dの割合が4.4ポイント減少している。
- ・女子はEのポイントが1.8ポイント減少したものの、Aのポイントが2.7ポイント減少し、Dのポイントが6.3ポイント増加している。
- ・男子は体力合計点の平均値が全国、県、令和5年度を上回り、体力向上の取組の成果が結果として表れている。
- ・女子はDの児童の割合が多く、体力及び運動への興味・関心を高め、C、Bへ引き上げる取組が必要である。

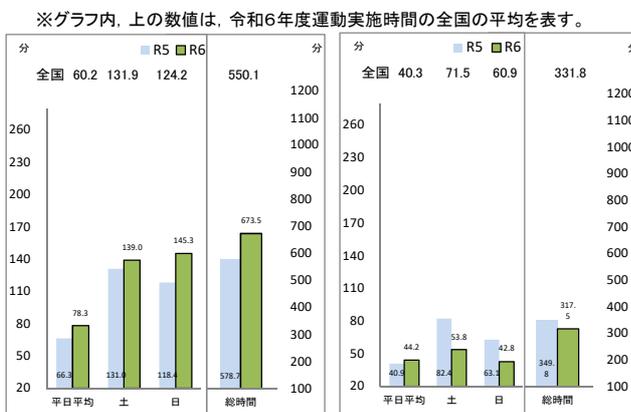
### 〈現状及び課題〉

- ・男子はEの割合が1.6ポイント減少したものの、Dの割合が8.8ポイント増加し、Bのポイントが5.4ポイント、Aのポイントが3.8ポイント減少している。Dの生徒の興味・関心を高め、C、Bへ引き上げるとともに、Aの割合を増加させるための工夫した取組も必要である。
- ・女子はEの割合が2.1ポイント、Dの割合が0.8ポイント減少し、Aのポイントが2.4ポイント、Bの割合が2.4ポイント増加している。昨年度の結果と比較すると向上しているが、体力合計点の平均値は全国より1.5ポイント低い結果となっている。引き続き体力を高める取組が必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

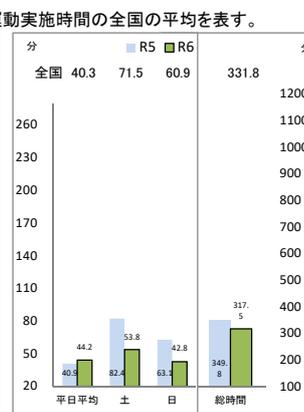
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間) (平日の平均及び土日)(1週間)



〔女子〕

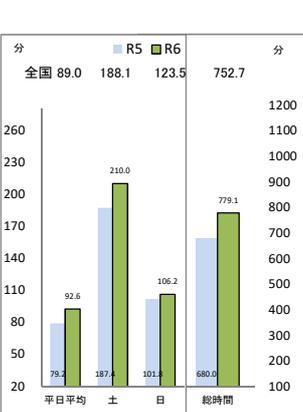
(平日の平均及び土日)(1週間) (平日の平均及び土日)(1週間)



## 【中学校 運動実施時間】

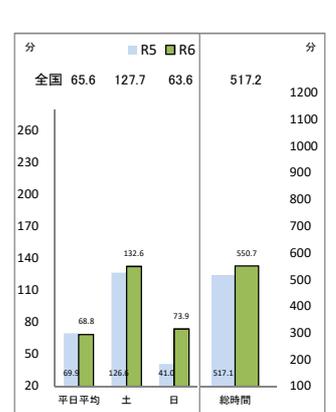
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間) (平日の平均及び土日)(1週間)



〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間) (平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- ・1週間の総運動時間は、全国平均と比較すると、男子が「長い」、女子が「ほとんど差がない」という結果であった。
- ・全国平均と比較して、平日は、男女とも運動時間に「ほとんど差がない」という結果であった。土曜日は、男子は「ほとんど差がない」、女子が「わずかに短い」という結果であり、日曜日は男子は「わずかに長い」、女子が「ほとんど差がない」という結果であった。

### 〈現状及び課題〉

- ・1週間の総運動時間は、全国平均と比較すると、男女ともに「わずかに長い」という結果であった。
- ・全国平均と比較して、平日は、男女とも運動時間に「ほとんど差がない」という結果であった。土曜日は、男子は「わずかに長い」、女子は「ほとんど差がない」という結果であり、日曜日は男女ともに「ほとんど差がない」という結果であった。

## 【改善策】

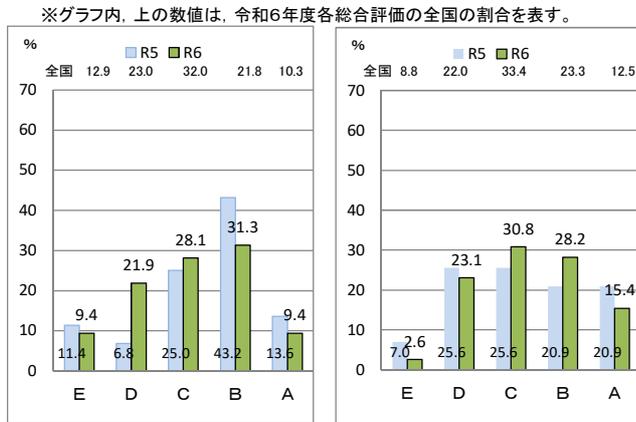
- ・児童生徒が授業を楽しんでいる場面を意識して、仲間と協力しながら行う取組や達成体験が得られるような授業づくりを行っていく。そのために、市体育主任等研修会において、講師(市体力向上アドバイザー)を招聘し、研究授業を通じた研修を行っていく。
- ・児童生徒が運動と健康との関係性を深く理解し、より実生活に生かすことができるようにするために、運動領域と保健領域、体育分野と保健分野との一層の関連を図った指導の充実を図っていく。
- ・各学校の「運動大好き「かごしまっ子」育成プラン」に基づいた取組や「チャレンジかごしま」における取組を市内全学校・全学級へ推進していく。
- ・学校だより・学級通信の配布や講演会の実施、家庭でできる取組の紹介等により、保護者、教職員、児童生徒が情報を共有し、生活習慣の

# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

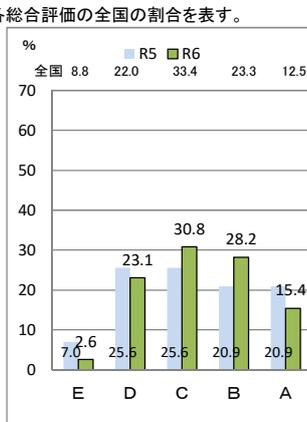
大崎町 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

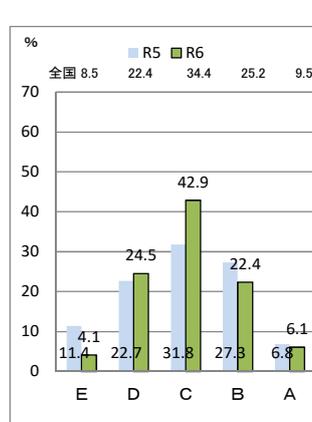


〔女子〕

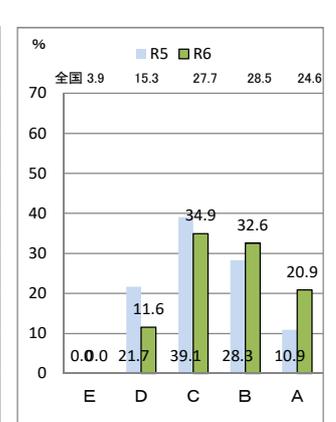


## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕



〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下 中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈現状及び課題〉

- ・男子は、令和5年度と比較しDの割合が15.1ポイント増加している。またA,B合計の割合が、16.0減少している。今後も継続した取組や働き掛けが必要である。
- ・女子は令和5年度と比較し、D、E合計の割合が6.8ポイント減少している。

今後も全体的に1段階上げる取組の工夫が必要である。

### 〈現状及び課題〉

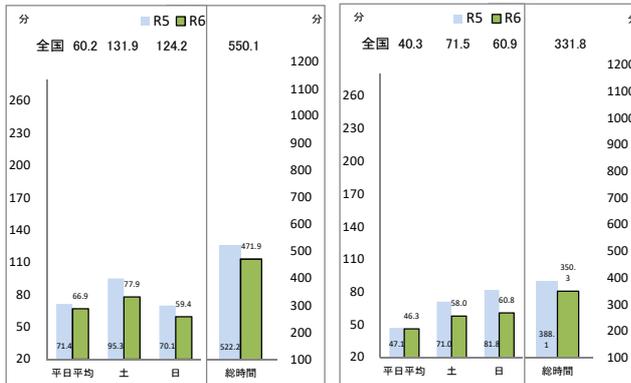
- ・男子は令和5年度と比較し、Eの割合が7.3ポイント減少している。C、Dの生徒の体力及び運動への興味・関心を高めるための支援が必要である。
- ・女子は令和5年度と比較し、Dの割合が10.1ポイント減少し、Aの割合が10ポイント増加している。今後も全体的に1段階上げる取組の工夫が必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

〔男子〕

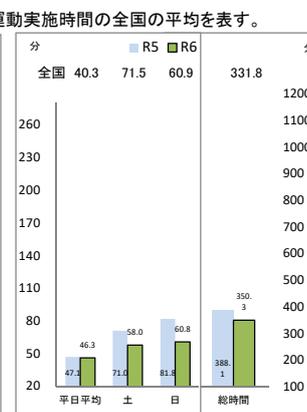
(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、令和6年度運動実施時間の全国の平均を表す。



〔女子〕

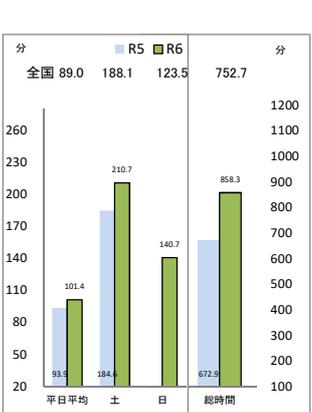
(平日の平均及び土日)(1週間)



## 【中学校 運動実施時間】

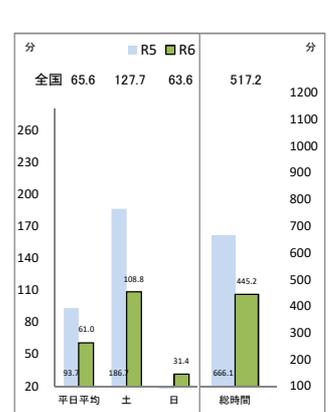
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- ・男子、女子共に、平日や土日も含め、前年度より運動時間が短くなっている。
- ・女子は、平日平均、総時間で全国平均を上回っている。
- ・男子は、土日の運動量が全国に比べ、低くなっている。家庭における運動時間の確保に向けた手立てが必要である。

### 〈現状及び課題〉

- ・男子は、全て昨年度より増加し、全国平均並みである。
- ・女子は、平日や土曜日の運動時間が減少し、総時間が全国平均より短い。
- ・男女ともに、日曜日の運動量が増加している。

## 【改善策】

【小学校】

・運動への興味・関心を維持・増加させる取組の継続

【中学校】

・生徒が動きの高まりを実感する授業改善、運動習慣の改善へつなげる指導の工夫

【共通、その他】

・各家庭へ、1km～500mは歩いて登下校を奨励

・町の広報誌で体力の現状と体力向上に向けた取組を掲載

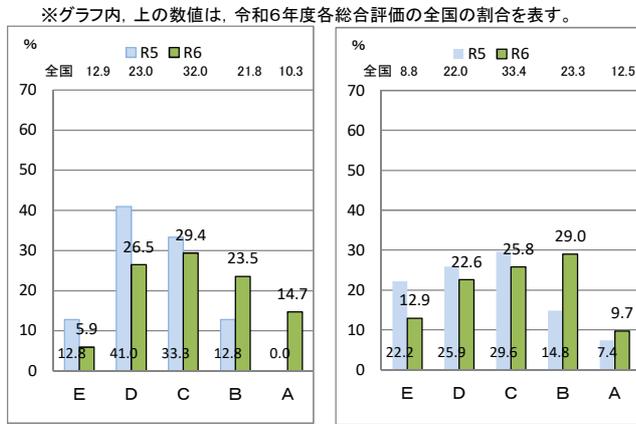
・「チャレンジかごしま」への継続的な取組の指導

# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

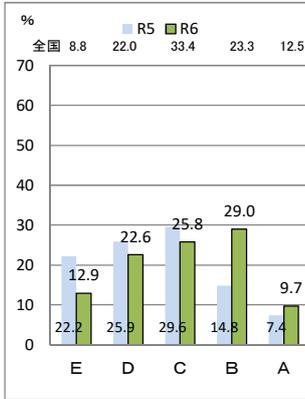
東串良町 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

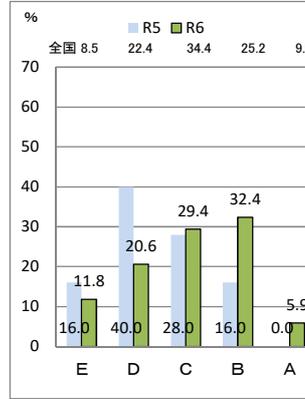


〔女子〕

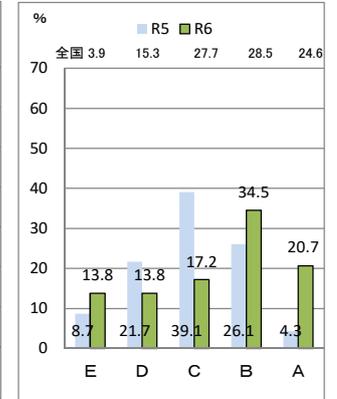


## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕



〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点〜64点 C:50点〜57点 D:42点〜49点 E:41点以下 中学校 A:57点以上 B:47点〜56点 C:37点〜46点 D:27点〜36点 E:26点以下

### 〈現状及び課題〉

- ・ 男子は、A、Bの割合がそれぞれ14.7ポイント、10.7ポイント増加し、C、D、Eの割合が減少した。
- ・ 女子は、A、Bの割合がそれぞれ2.3ポイント、14.2ポイント増加し、C、D、Eの割合が減少した。
- ・ 男女とも、前年度と比べ上位層の割合が増加し、下位層の割合が減少する結果となった。しかし、女子は全国平均よりも下位層の割合が多く、更に運動への関心を高めることで、各層を伸ばす必要がある。

### 〈現状及び課題〉

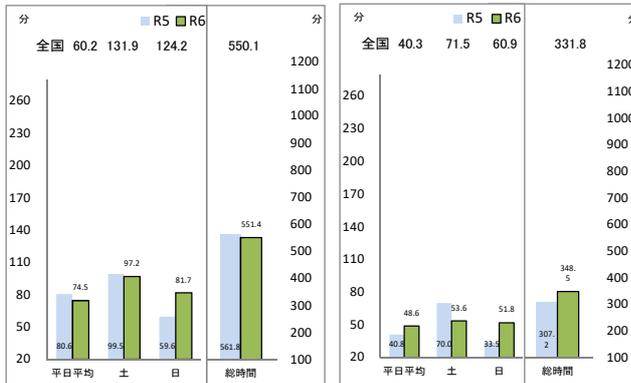
- ・ 男子は、A、Bの割合がそれぞれ5.9ポイント、16.4ポイント増加し、D、Eの割合が減少した。
- ・ 女子は、A、Bの割合がそれぞれ16.4ポイント、8.4ポイント増加し、C、D、Eの割合が減少した。
- ・ 男女とも、前年度と比べ上位層の割合が増加し、下位層の割合が減少する結果となった。しかし、全国平均と比較すると、男女ともにAの割合が低く、Eの割合が高いため、各層を伸ばしていく必要がある。

## 【小学校 運動実施時間】

〔男子〕

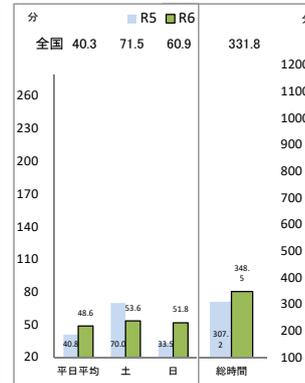
(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、令和6年度運動実施時間の全国の平均を表す。



〔女子〕

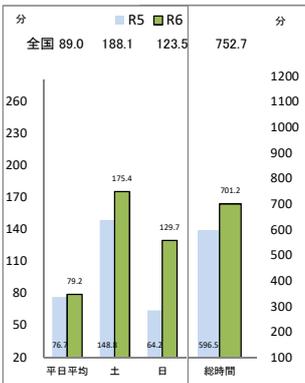
(平日の平均及び土日)(1週間)



## 【中学校 運動実施時間】

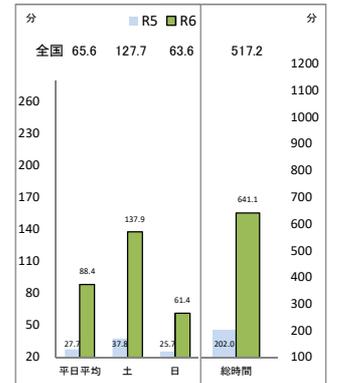
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- ・ 1週間の総運動時間は、全国平均と比較すると、男子はほとんど差が見られず、女子はやや多いという結果であった。
- ・ 男女ともに、平日は全国平均より長いものの、土日は短いという結果であった。

### 〈現状及び課題〉

- ・ 男子は、昨年度よりも改善は見られるものの、全国平均より運動時間が短いという結果であった。
- ・ 女子は、昨年度より大幅に改善が見られ、全国平均よりも長いという結果であった。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・ 「運動量の確保」を特に意識した教科体育の推進、土日にも運動に取り組みたいくように興味関心をもたせる声掛けや目標設定
- ・ 家庭と連携し、土日の運動時間を増やす取組

### 【中学校】

- ・ 導入時の補強運動等による「運動量の確保」を特に意識した教科体育及び運動部活動の推進

### 【共通、その他】

- ・ 管理職研修会における継続的な体力向上や運動習慣の啓発
- ・ 町PTA連絡協議会における小中一貫共通実践事項「歩育」の充実及び一層の推進

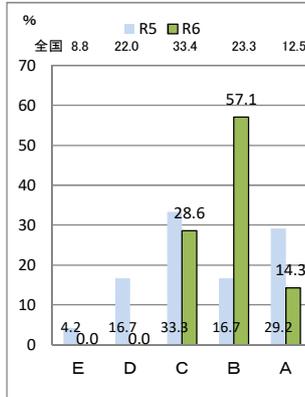
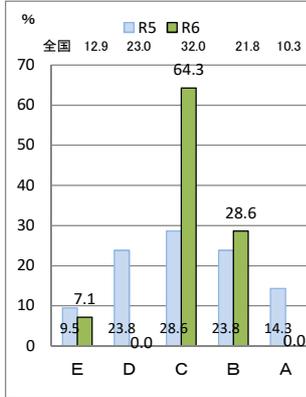
# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

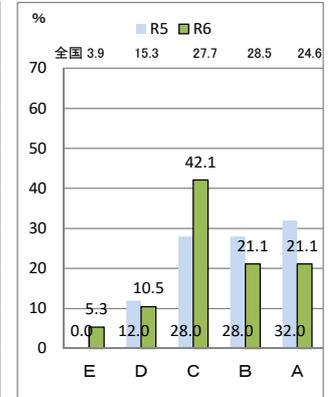
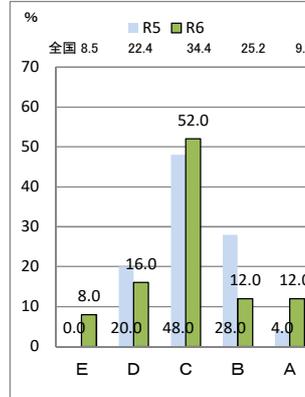
※グラフ内、上の数値は、令和6年度各総合評価の全国の割合を表す。



## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A: 65点以上 B: 58点~64点 C: 50点~57点 D: 42点~49点 E: 41点以下 中学校 A: 57点以上 B: 47点~56点 C: 37点~46点 D: 27点~36点 E: 26点以下

### 〈現状及び課題〉

- ・男子は、Cの割合が35.8ポイント増加し、Aの割合が14.3ポイント減少している。
- ・女子は、Bの割合が40.4ポイントと大幅に増加し、それ以外の割合が減少している。
- ・男女とも、ほとんどがA~Cを占めているので、Cの児童をB、Bの児童をAに引き上げる取組が必要である。

### 〈現状及び課題〉

- ・男子は、Bの割合が16.0ポイント減少し、Eの割合が8.0ポイント増加している。Cの生徒の割合が半分近くを占めているため、B、Aへ引き上げる取組が必要である。
- ・女子は、B、Aの割合が減少し、Eの割合が5.3ポイント増加している。Cの生徒の体力及び運動への興味・関心を更に高め、B、Aへ引き上げるための取組が必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

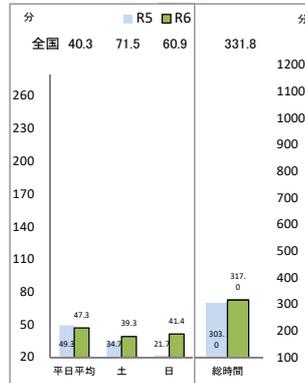
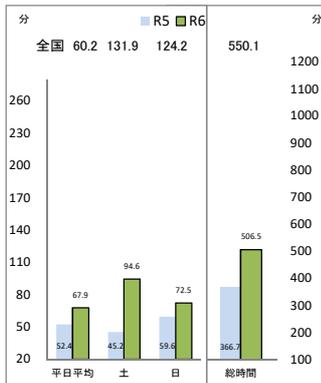
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、令和6年度運動実施時間の全国の平均を表す。



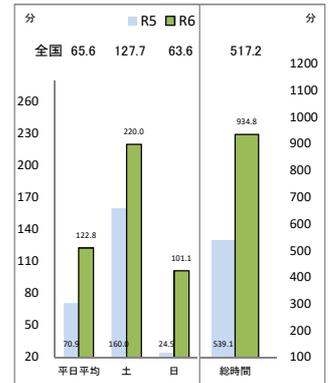
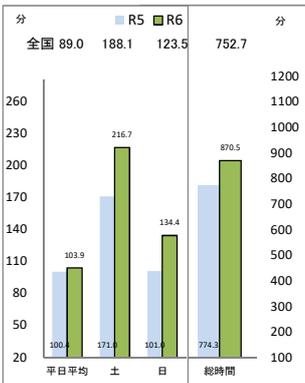
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- ・1週間の総運動時間は、全国平均と比較すると、男子が「短い」、女子が「ほとんど差がない」結果であった。
- ・平日は、全国平均と比較して、男女ともわずかに長い。
- ・土・日曜日は、男女とも、全国平均より短くなっている。

### 〈現状及び課題〉

- ・1週間の総運動時間は、全国平均と比較すると、男女とも「長い」結果であった。
- ・平日及び土曜日は、全国平均より男子がわずかに長く、女子が長い。
- ・日曜日は、全国平均と比較して、男子が「ほとんど差がない」女子が「長い」結果であった。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・「チャレンジかごしま」等への継続的な取組による、運動時間の確保

### 【中学校】

- ・体力の更なる向上をめざす教科体育や運動部活動における指導方法の工夫改善、日常生活での運動機会の充実

### 【共通・その他】

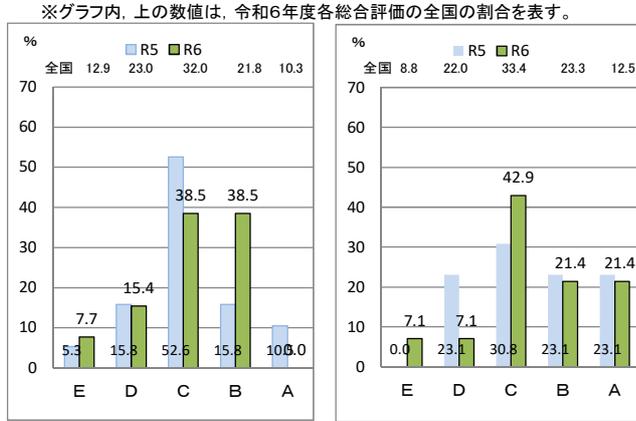
- ・各学校における「一校一運動」の設定
- ・児童生徒の実態を基にした体力向上に向けた具体策の検討及び共通実践の実施

# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

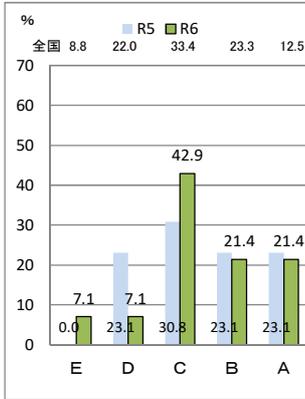
南大隅町 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

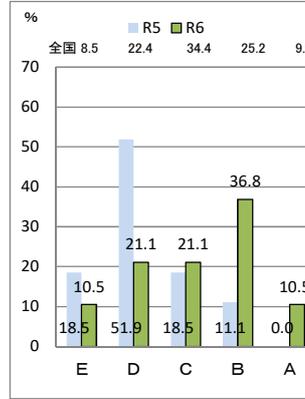


〔女子〕

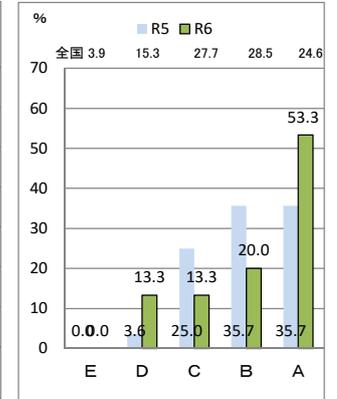


## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕



〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点〜64点 C:50点〜57点 D:42点〜49点 E:41点以下 中学校 A:57点以上 B:47点〜56点 C:37点〜46点 D:27点〜36点 E:26点以下

### 〈現状及び課題〉

- ・R5と比べ、男子はAとCの割合が減った分、Bの割合が増加している。Eの割合が1.4ポイント増加しているが、全体的に昨年度と同様の結果といえる。
- ・女子は、Dの割合が減った分、CとEが増加している。AとBが1.6ポイントずつ減少しているため、全体的にはやや下降傾向といえる。
- ・男女ともに、全国平均よりは高い結果となっているが、男子は50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ、女子は50m走と立ち幅跳びが全国平均を下

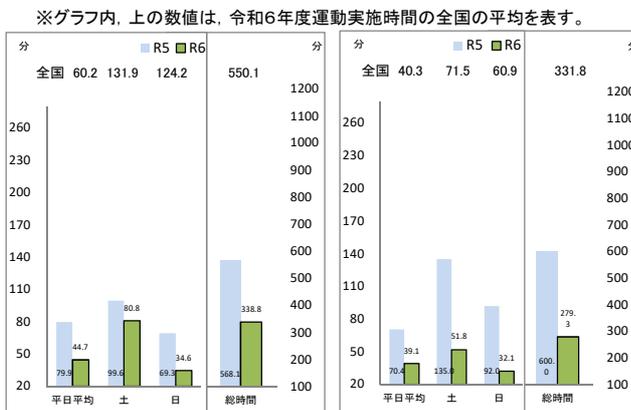
### 〈現状及び課題〉

- ・R5と比べ、男子はAとBの割合が増加し、大きな改善が見られている。
- ・女子は、Eの生徒が1人もおらず、Aの生徒が50%を超えている。体力の向上が顕著に見られる。
- ・標本数が少ないため、年度によって大きな変化がみられる傾向にあるが、体力が向上していることは間違いない。全国平均を下回ったのは、男子の上体起こしと長座体前屈、女子の長座体前屈である。

## 【小学校 運動実施時間】

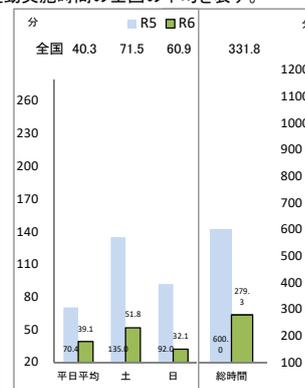
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



〔女子〕

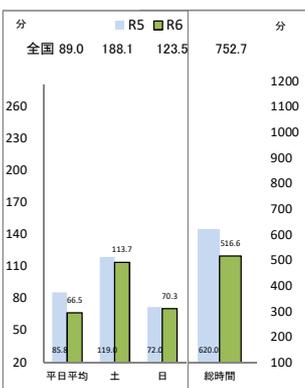
(平日の平均及び土日)(1週間)



## 【中学校 運動実施時間】

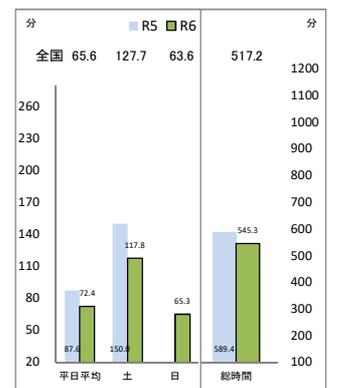
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- ・男女ともに、運動時間は昨年度より減少している。
- ・運動に関するアンケートも、運動の楽しさや大切さを問うもので全国より低い傾向にある。それに加え、男子は朝食摂取や睡眠時間のアンケートも低くなっている。
- ・運動好きの子供を育てる手立てを行うことが急務といえる。

### 〈現状及び課題〉

- ・男女ともに、平日の運動時間と1週間の総運動時間は、昨年度より減少している。
- ・アンケートで気になる項目は、「Q2.あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切なものですか。」と「Q6.朝食は毎日食べますか。(学校が休みの日も含めます)」が、全国平均よりも低くなっていた。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・運動好きの子供を育てる手立て(教科体育の授業改善、家庭での運動啓発活動)
- ・生活習慣(朝食摂取、睡眠時間)の改善を促す手立て(PTAや家庭教育学級を通じて)

### 【中学校】

- ・部活動以外の運動機会の確保及び運動の充実に向けた、体育授業改善及び部活動の運営・指導の工夫改善のための研修の実施
- ・生活習慣の改善も含めた家庭への啓発活動

### 【共通、その他】

- ・調査結果分析に基づいた課題改善のための年間を通した運動の実施(一校一運動、体育授業導入時の運動等)

# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

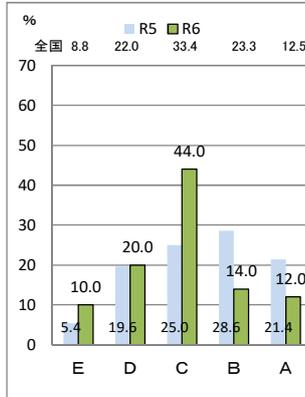
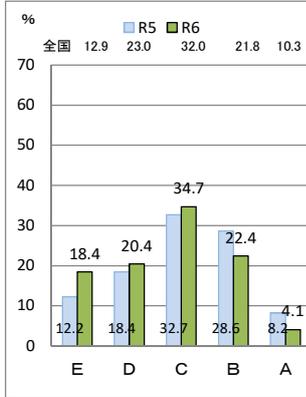
肝付町 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

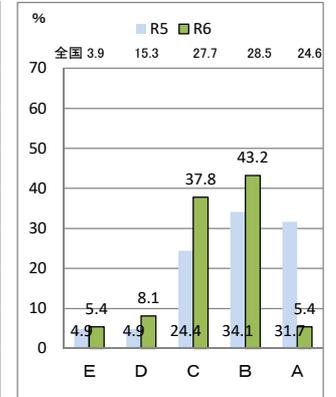
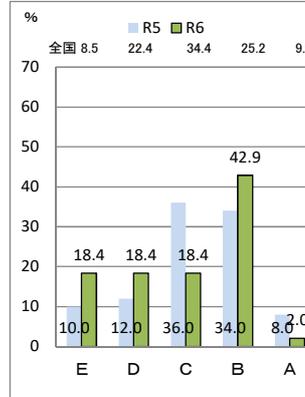
※グラフ内、上の数値は、令和6年度各総合評価の全国の割合を表す。



## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点〜64点 C:50点〜57点 D:42点〜49点 E:41点以下 中学校 A:57点以上 B:47点〜56点 C:37点〜46点 D:27点〜36点 E:26点以下

### 〈現状及び課題〉

- ・小学生男子は、CDEの割合が増加、ABの割合が減少していることから、体力の総合評価に大きな課題があると思われる。
- ・小学生女子は、Cの割合が20%増加し、ABがCに移行していることから、体力の総合評価に課題があると思われる。
- ・小学生男子は、「50m走」「ソフトボール投げ」が向上、小学生女子は、「50m走」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」が向上。
- ・本町として握力の向上が継続的な課題である。

### 〈現状及び課題〉

- ・中学校男子は、Bの割合が増加し、他の割合が減少していることから、体力の総合評価は下降傾向にあると思われる。
- ・中学校女子は、BCの割合が増加し、他の割合が減少していることから、体力の総合評価は下降傾向にあると思われる。
- ・中学生男子は、「上体起こし」「20mシャトルラン」、中学校女子は、「上体起こし」「立ち幅跳び」「20mシャトルラン」が向上している。
- ・本町として握力の向上が継続的な課題である。

## 【小学校 運動実施時間】

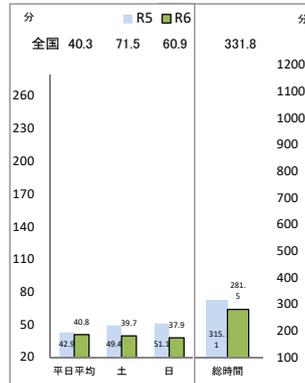
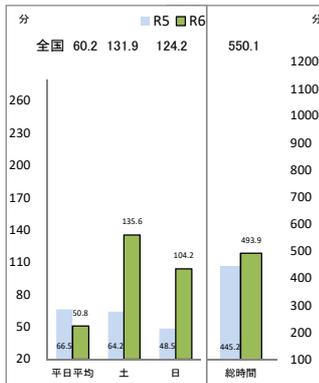
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、令和6年度運動実施時間の全国の平均を表す。



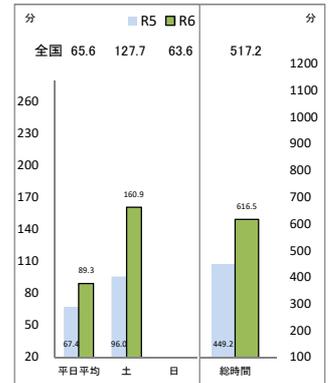
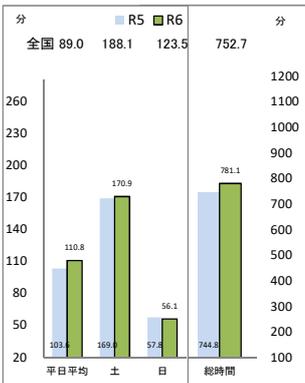
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- ・小学校男子は、昨年度比較で平日が減少しているが、土日は2倍であることから、運動実施時間は確保されていることが推察される。
- ・小学校女子は、平日・土日ともに微減であることから、今後も継続的に日常的な運動の機会を確保・啓発していくことが重要である。また、1日当たり1時間の運動を行っていない結果から、学校だけでなく家庭での運動する機会を確保していくようこれまで以上の啓発が必要である。

### 〈現状及び課題〉

- ・中学校男女ともに運動時間は増加している。特に、中学校女子は1.4～1.5倍増である。
- ・中学校男女ともに運動時間は増加しているにもかかわらず、体力総合評価はマイナス傾向にあることから、質の高い運動が課題と推察される。体力の向上について自分なりの課題をもって取り組ませることが課題である。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・体育学習時における準備運動の質の向上(ケガ防止や準備・補強運動のみではなく体力向上を目差した5分間運動など)の推進

### 【中学校】

- ・保健体育学習時における個人・学校の課題となる運動の改善・工夫の推進(運動の質の向上)

### 【共通・その他】

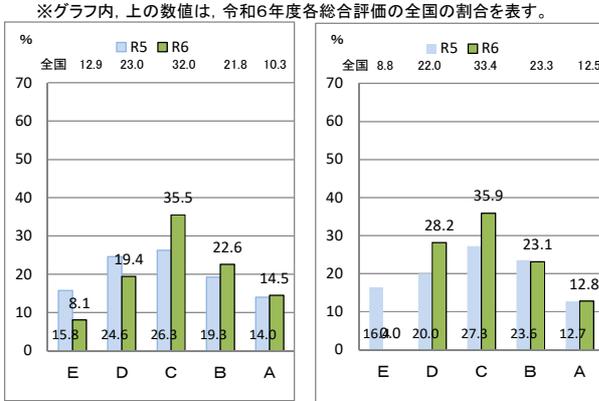
- ・チャレンジかごしまのより一層の取組推進
- ・朝の時間や休み時間を活用した外遊びの推進
- ・体育・保健体育学習時におけるExseed運動の継続的な実施(R7年度重点)
- ・町P連と連携した歩いて登校に関する周知と理解

# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

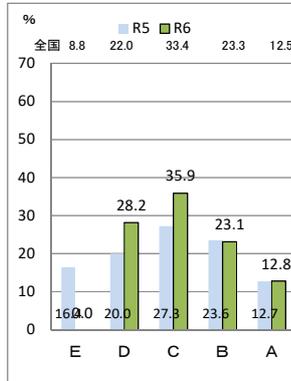
西之表市 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

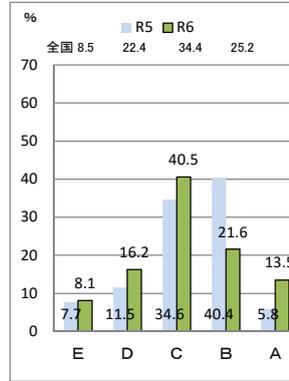


〔女子〕

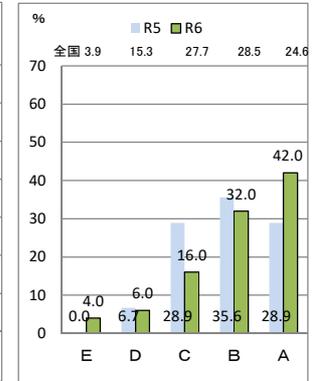


## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕



〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下 中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- 男子はEの割合が7.7ポイント減少し、Cの割合が9.2ポイント増加している。
- 女子はEの割合が16.0ポイント減少し、Dの割合が8.2ポイント、Cの割合が8.6ポイント増加している。
- 男女ともにA・Cの割合が増加し、全国平均を上回っている。男子

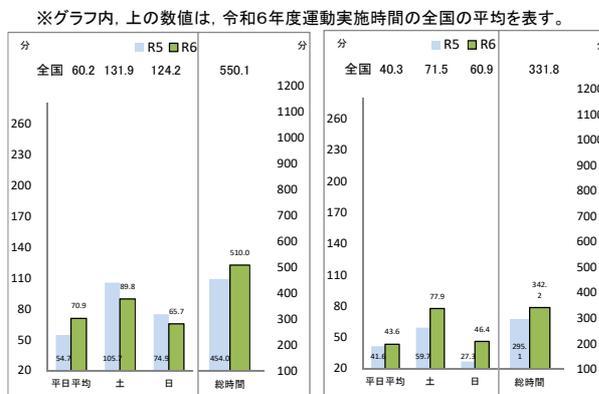
### 〈現状及び課題〉

- 男子はBの割合が18.8ポイント減少し、A・C・Dの割合が4.7~7.7ポイント増加している。
- 女子はAの割合が13.1ポイント増加し、Bの割合が3.6ポイント、Cの割合が12.9ポイント減少している。
- 男子はA・Cの割合、女子はA・Bの割合が全国平均を上回っている。

## 【小学校 運動実施時間】

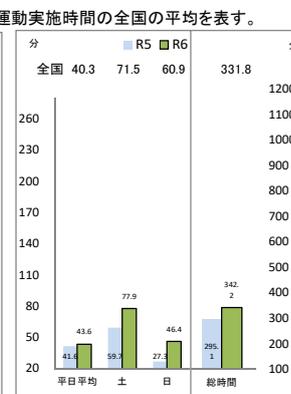
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



〔女子〕

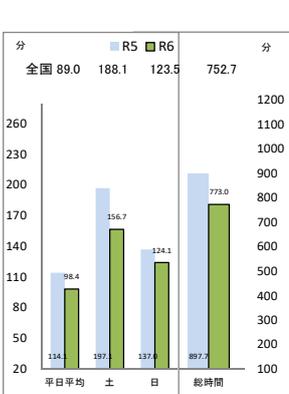
(平日の平均及び土日)(1週間)



## 【中学校 運動実施時間】

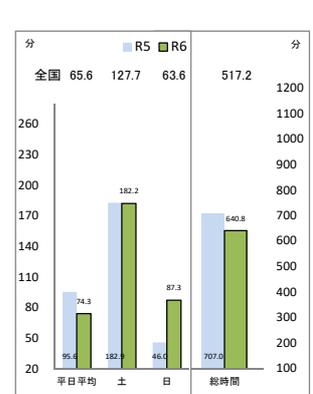
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- 一週間の総運動時間は男女ともに前年より増加しているが、全国平均と比較すると、男子が「短い」、女子は「ほとんど差がない」結果であった。
- 平日は、男女ともに全国平均と「ほとんど差がない」。
- 土・日曜日は、女子は全国平均と「ほとんど差がない」が、男子は「短い」。
- 男子の一層の運動時間の増加、特に週休日における運動時間

### 〈現状及び課題〉

- 一週間の総運動時間は男女ともに前年より減少したが、全国平均と比較すると、男子が「ほとんど差がない」、女子が「長い」結果であった。
- 平日は、男女ともに全国平均と「ほとんど差がない」。
- 土・日曜日は、男子は全国平均と「ほとんど差がない」が、女子は「長い」。
- 男女ともに、平日と週休日の運動習慣がしっかり身についている。

## 【改善策】

### 【小学校】

- 「1校1運動」、「体力づくりカード」、「チャレンジかごしま」を活用した運動の実践による児童の運動実施時間の確保

### 【中学校】

- 体力・運動能力テストの結果をふまえた個人の目標設定と取組への声かけや見取り、教科体育における運動時間の確保、「チャレンジかごしま」への参加

### 【共通、その他】

- タブレット端末で動画を撮影し、グループで分析を行うなど、ICT機器の主体的かつ効果的な活用
- PTAや家庭教育学級での運動に関する研修の実施や、運動の日常化に向けた休日の運動及び外遊びに関する家庭との連携
- 地域スポーツ大会等への積極的参加の促進、スポーツ行事や運動関連の情報発信による広報・啓発

# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

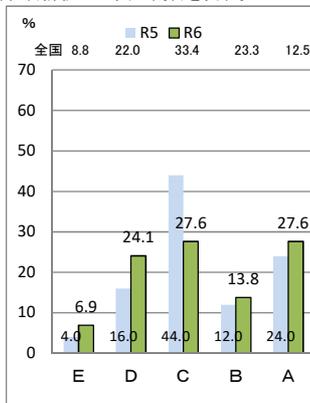
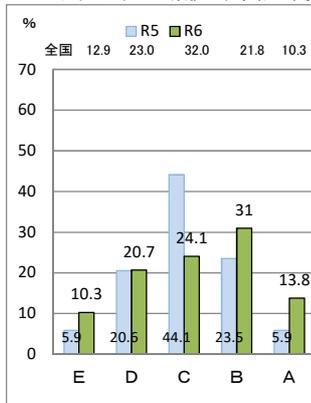
中種子町 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

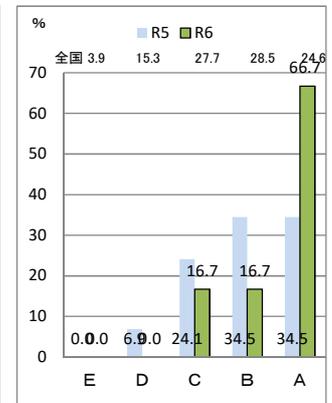
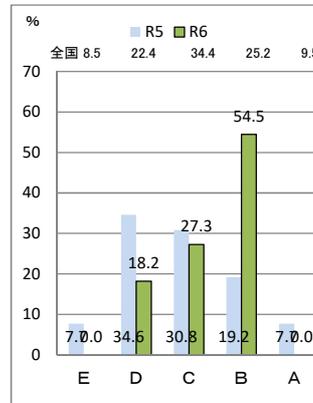
※グラフ内、上の数値は、令和6年度各総合評価の全国の割合を表す。



## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点～64点 C:50点～57点 D:42点～49点 E:41点以下 中学校 A:57点以上 B:47点～56点 C:37点～46点 D:27点～36点 E:26点以下

〈現状及び課題〉

- ・男女ともに中位(C)から上位(A・B)と下位(D・E)への遷移が見られる。
- (男子C:20ポイント、女子C:16.4ポイント各減)
- (男子A:7.9ポイント、B:7.5ポイント、女子A:3.6ポイント、B:1.8ポイント各増)

〈現状及び課題〉

- ・男子は、Eの生徒はおらず、D・Eの割合が減少し、Bの割合が増加し、体力の向上がうかがえる。(E:7.7ポイント減、D:16.4ポイント減、C:3.5ポイント減、B:35.3ポイント増)さらにBの生徒をAに引き上げる取組が必要である。
- ・女子は、E・Dの生徒はおらず、C・Bの割合が減少し、Aの割合が増加

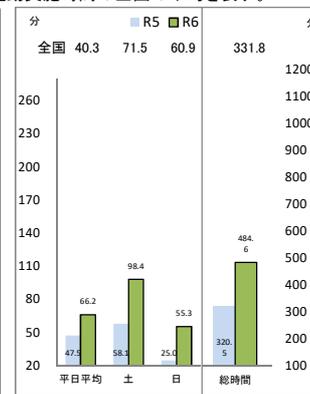
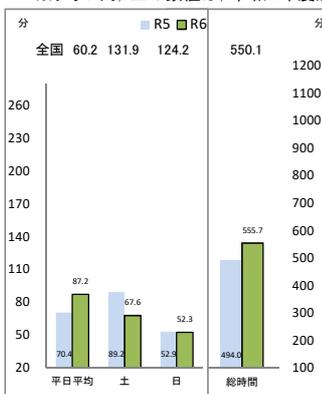
## 【小学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間) (平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、令和6年度運動実施時間の全国の平均を表す。

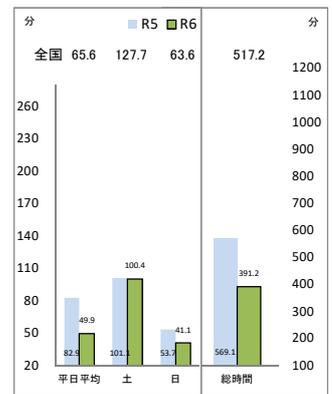
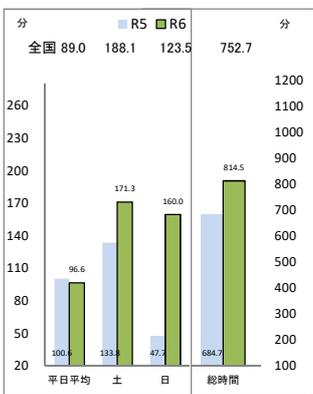


## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間) (平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

- ・1週間の総運動時間は、全国平均と比較すると、男子はほとんど差がなく、女子がかなり長かった。女子は、昨年度の1.5倍以上に運動時間が増えた。
- ・平日は、全国平均と比較して男女ともわずかに長い。
- ・土・日曜日については、男子は短い、女子において、全国平均より

〈現状及び課題〉

- ・1週間の総運動時間は、全国平均と比較すると、男子は長く、女子は短かった。
- ・平日は、全国平均と比較して男女ともほとんど差がない。
- ・土曜日については、男女ともにわずかに長い。日曜日については、女子において、全国平均よりわずかに長く、男子において、全国平均より

## 【改善策】

【小学校】

・体育専科教員を核とした体育科研究の推進

【中学校】

・運動部活動及び地域スポーツクラブの組織再編による生徒の運動機会の確保

【共通・その他】

・体育科・保健体育科授業の充実及び計画的な補強運動

・体力アップ!チャレンジかごしまの取組の全学級参加の継続と主体的な取組の推進

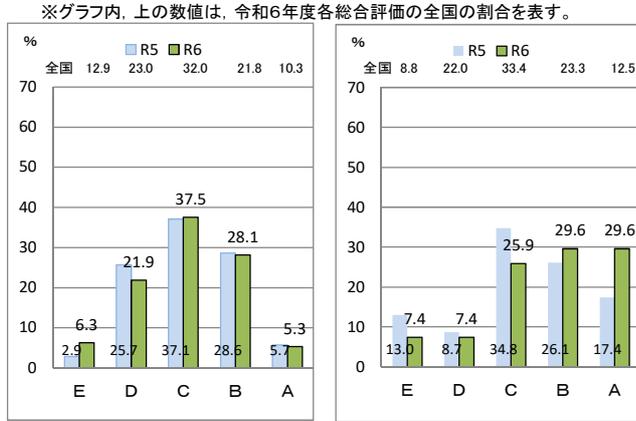
・PTA活動での、家庭での運動習慣を啓発する取組の推進

# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

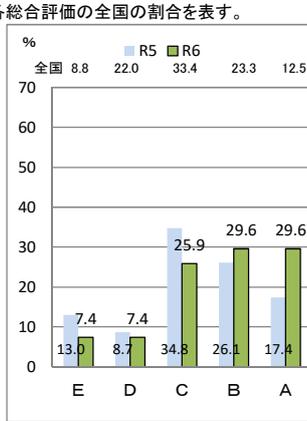
南種子町 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕



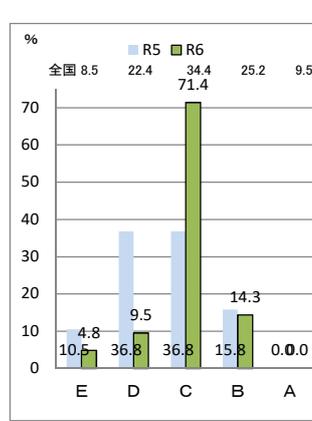
〔女子〕



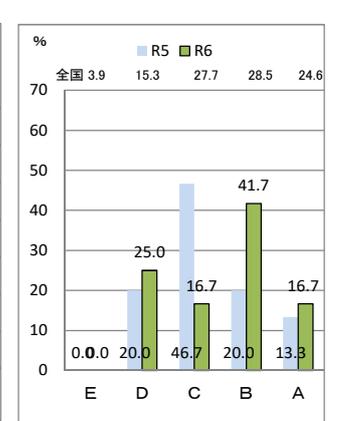
※グラフ内、上の数値は、令和6年度各総合評価の全国の割合を表す。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕



〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点～64点 C:50点～57点 D:42点～49点 E:41点以下 中学校 A:57点以上 B:47点～56点 C:37点～46点 D:27点～36点 E:26点以下

### 〈現状及び課題〉

- ・ 男子は昨年度と傾向にほぼ変更はなく、全国平均と比べて、B・Cが11.8ポイント多くなっている。
- ・ 女子はEの割合が5.6ポイント減少し、Aの割合が12.6ポイント増加し、A～Cの割合が85ポイント越えている。
- ・ 男子は、Aの割合の増加、女子は、継続した取組が課題である。
- ・ 男子は、Aの割合が増加していないため、運動を得意としている児童の体力及び運動への興味・関心を高め、女子は、更なる向上を目指す。

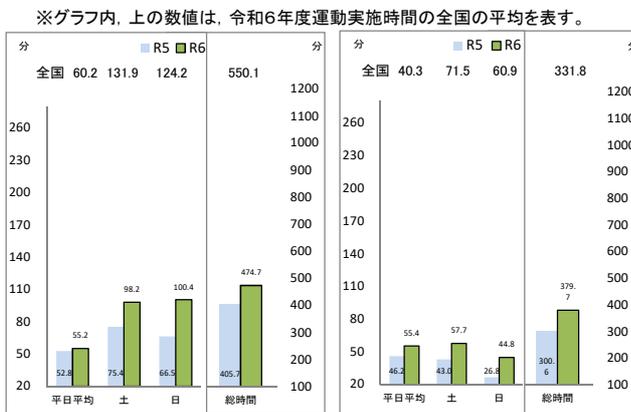
### 〈現状及び課題〉

- ・ 男子はE・Dの割合が減少し、Cの割合が全体の7割を超えている。
- ・ 女子はCの割合が減少し、Bの割合が21.7ポイント増加している。
- ・ 男子は、2年連続で、Aの生徒がおらず、女子は、A・Bの割合が増えているが、Dが25ポイントもいるのが課題である。
- ・ 男子は、B・Cが85ポイントを占めるが、2年連続で、Aの生徒がいないので、運動量を増やし、個に応じた目標設定を的確に行う授業への転換を行い、女子は、2年連続Eの生徒がおらず、A・Bの割合が増えて

## 【小学校 運動実施時間】

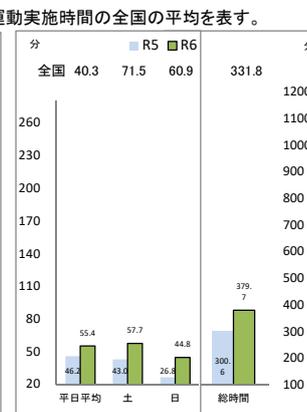
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

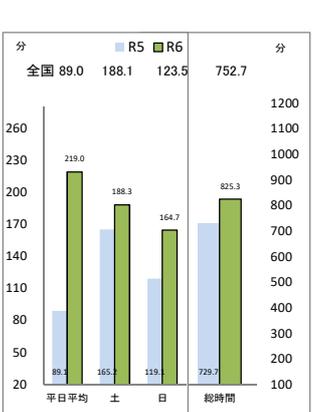


※グラフ内、上の数値は、令和6年度運動実施時間の全国の平均を表す。

## 【中学校 運動実施時間】

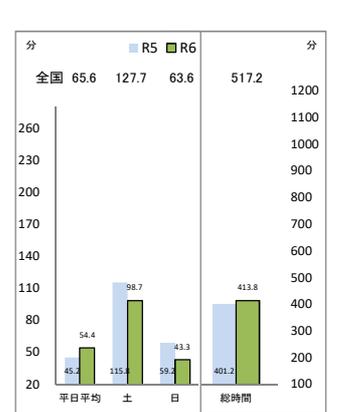
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- ・ 1週間の総運動時間は、全国平均と比較すると、男子は「短い」、女子は「長い」結果であった。
- ・ 平日は、全国平均と比較して男子は「ほとんど差がない」、女子は「わずかに長い」結果であった。
- ・ 昨年度に比べて、男女ともに運動実施時間は長くなっているが、

### 〈現状及び課題〉

- ・ 1週間の総運動時間は、全国平均と比較すると、男子が「長い」、女子が「短い」結果であった。
- ・ 平日は、全国平均と比較して男子は「長い」、女子が「ほとんど差がない」結果であった。
- ・ 女子の運動量は、平日・土日ともに全国よりも短いので、運動量の

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・ 「チャレンジかごしま」「一校一運動」への積極的な取組を推進。

### 【中学校】

- ・ 「チャレンジかごしま」や授業を通して生徒自らが運動に取り組もうとする姿勢の醸成。
- ・ 体力・運動能力を高めるため、体育授業における指導方法改善。

### 【共通、その他】

- ・ 児童生徒の運動量を確保する授業改善。
- ・ 児童生徒の個に応じた運動に関する目標と解決に向けた取組の設定。

# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

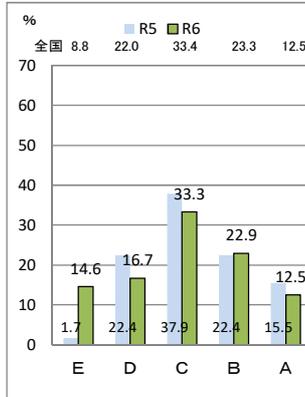
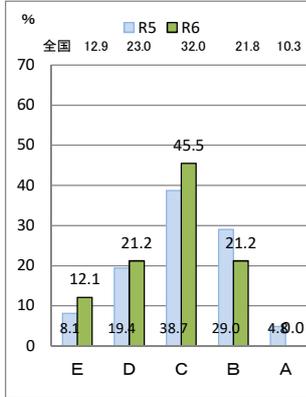
屋久島町 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

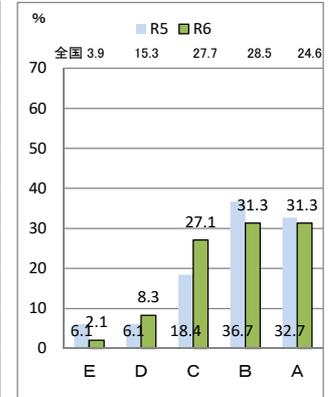
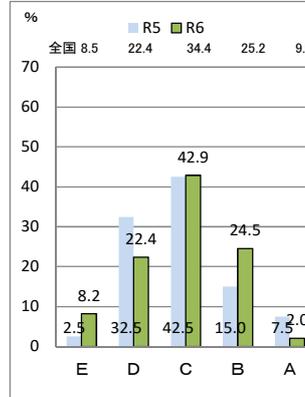
※グラフ内、上の数値は、令和6年度各総合評価の全国の割合を表す。



## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下 中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈現状及び課題〉

- ・男子は、A、Bの割合が減少するとともに、C、D、Eの割合が増加した。今後、運動の機会の確保や、運動への興味・関心を高めA、Bへ引き上げる取組が必要である。
- ・女子は、A~Dの増減幅に対して、Eは12.9ポイント増加した。
- ・各結果を基に、今後教科体育等を通じて重点的に取り組む種目を明らかにし、町全体での引き上げを目指す。

### 〈現状及び課題〉

- ・男子は、Aが5.5ポイント、Dが10.1ポイント減少し、Bが9.5ポイント、Eが5.7ポイント増加した。今後運動の機会の確保や、運動への興味・関心を高め、A、Bへ引き上げる取組が必要である。
- ・女子は、Eが4ポイント減少し、Dが2.2ポイント、Cが8.7ポイント増加した。今後も教科体育等を充実させながら、運動習慣を身に付けさせる取組を継続する。

## 【小学校 運動実施時間】

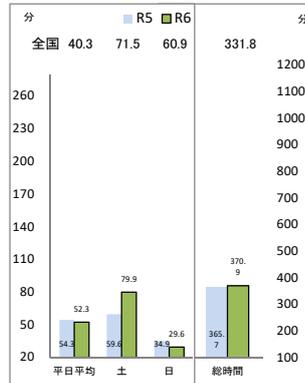
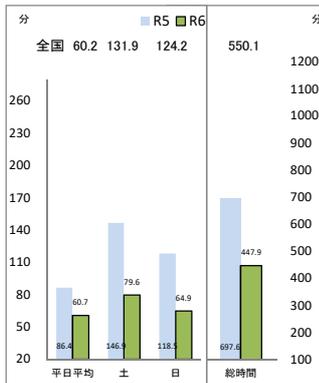
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、令和6年度運動実施時間の全国の平均を表す。



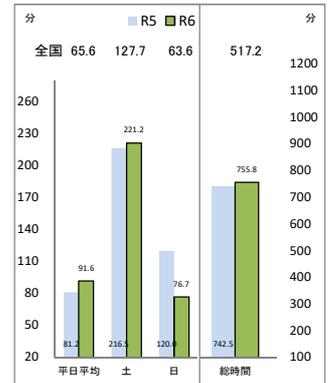
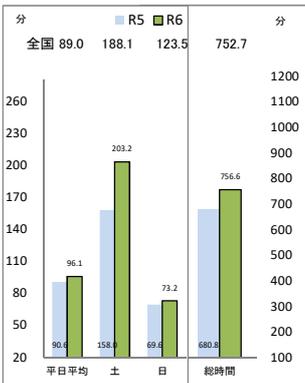
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- ・男子の運動総時間は、全国平均と比較して、平日平均の運動量はわずかに上回ったものの、昨年度を大幅に下回った。
- ・女子の運動総時間は、全国平均と比較すると、日曜日は下回るが、平日平均や土曜日は上回った。土曜日の運動時間は増えたものの、男子の結果との違いについて分析を行い、対策を行う必要がある。

### 〈現状及び課題〉

- ・男子は、全項目で前年度を上回ったが、日曜日は全国平均を下回った。
- ・女子は、日曜日が前年度を大幅に下回ったが、その他の項目は前年度を上回り、項目で全国平均を大幅に上回っている。
- ・男子、女子共に日曜日の運動時間の確保に向けた手立てを講じてい

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・〇〇タイムや休み時間等を利用した屋久島チャレンジの継続した取組(体力アップ!チャレンジかごしま、屋久島1周マラソン、外遊び等)
- ・町行事(町小学校陸上記録会・町民体育祭・集落運動会・駅伝大会)と関連付けた取組

### 【中学校】

- ・部活動未所属者や吹奏楽部の運動時間確保に向けた取組の強化(生徒会主体の体力向上イベント等)

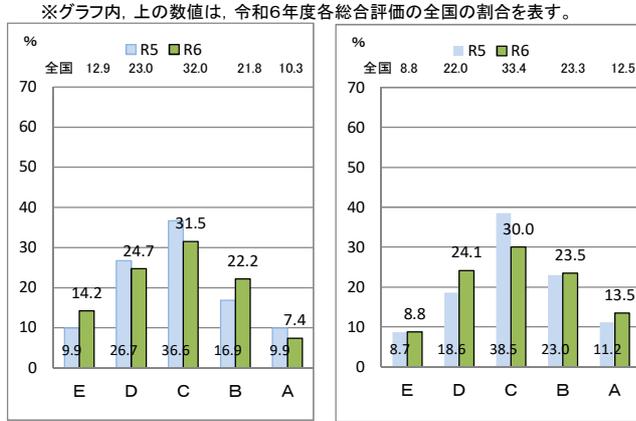
### 【共通】

- ・教科体育における十分な運動時間の確保及び運動特性に応じた指導法の導入、課題種目強化のための補強運動の実施(年間を通して)

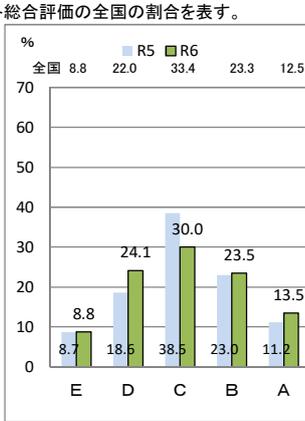
# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

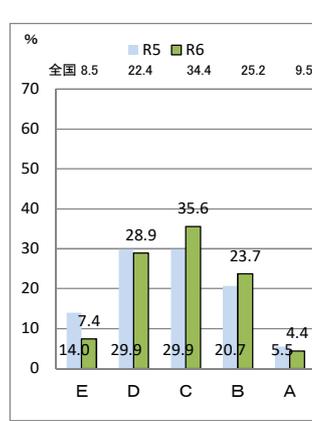


〔女子〕

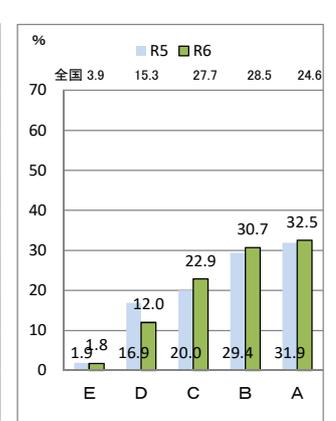


## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕



〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点〜64点 C:50点〜57点 D:42点〜49点 E:41点以下 中学校 A:57点以上 B:47点〜56点 C:37点〜46点 D:27点〜36点 E:26点以下

### 〈現状及び課題〉

- ・男子はEの割合が4.3ポイント増加し、E+Dの割合が2.3ポイント増加した。B+Aの割合は2.8ポイント増加した。
- ・女子はE+Dの割合が5.6ポイント増加した。B+Aの割合は2.8ポイント増加した。
- ・男女とも、E+Dの割合が増加し、B+Aの割合も増加した。特に男子のEと女子のDの増加が大きかった。

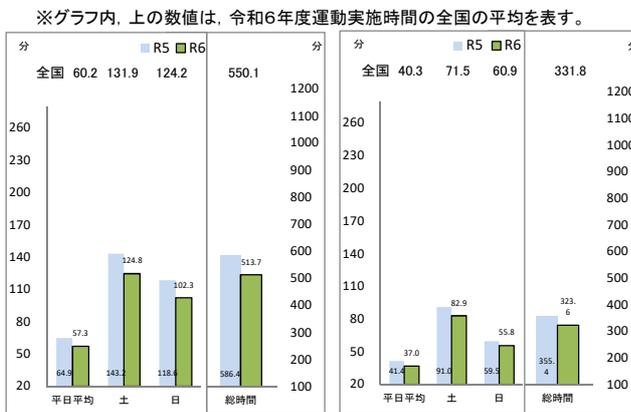
### 〈現状及び課題〉

- ・男子はE+Dの割合が7.6ポイント減少し、Cの割合が、5.7ポイント増加した。B+Aの割合は1.9ポイント減増加した。
- ・女子はE+Dの割合が5.0ポイント減少し、B+Aの割合は1.9ポイント増加した。
- ・男女ともE+Dの割合が減少し、B+Aの割合が増加した。特に男子のEの割合と女子のDの割合の減少が大きかった。

## 【小学校 運動実施時間】

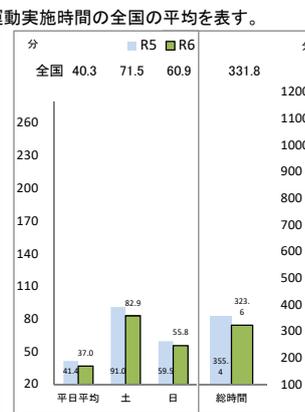
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間) (平日の平均及び土日)(1週間)



〔女子〕

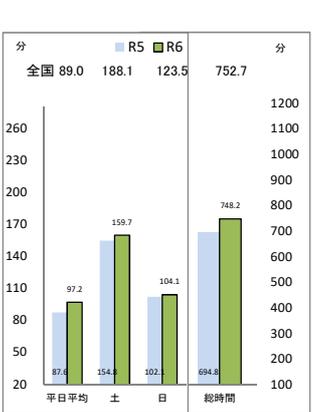
(平日の平均及び土日)(1週間) (平日の平均及び土日)(1週間)



## 【中学校 運動実施時間】

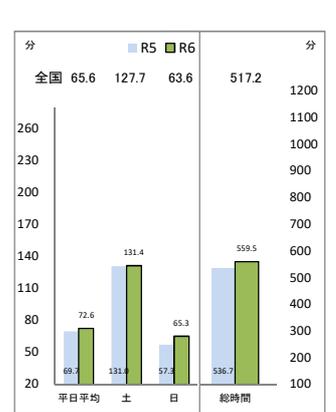
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間) (平日の平均及び土日)(1週間)



〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間) (平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜〜金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- ・男子の平日平均及び土日の運動時間、総運動時間は、いずれも前回より下回り、総運動時間も全国平均より短く、下回った。
- ・女子の平日平均及び土日の運動時間、総運動時間は、いずれも前回より下回り、総運動時間も全国平均より短い、ほとんど差がなかった。

### 〈現状及び課題〉

- ・男子の平日平均及び土日の運動時間、総運動時間は、いずれも前回より上回り、総運動時間も全国平均より長い、ほとんど差がなかった。
- ・女子の平日平均及び土日の運動時間、総運動時間は、いずれも前回より上回り、総運動時間も全国平均より長く、上回った。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果に基づく実態把握と改善策への取組、体力向上推進会議及び小学校体育主任研修会等での啓発

### 【中学校】

- ・「運動大好き“かごしまっ子”育成推進プラン」の共通理解と共通実践

### 【共通、その他】

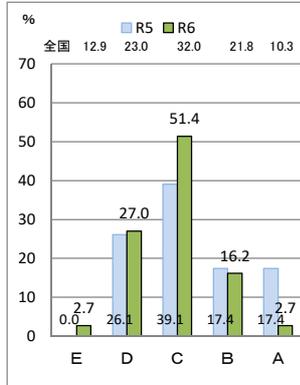
- ・一校一運動の推進及び教科体育の充実(目標の明確化、山場の工夫、確かめ・見届けの徹底)
- ・教科体育や教科外での児童生徒の自主的な運動の機会等をとおして、生徒の運動に対する意欲向上の促進
- ・奄美市体力向上推進会議において児童生徒の体力向上策の検討・実践及びPTA及び地域と協力した休日の運動・外遊びの奨励

# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

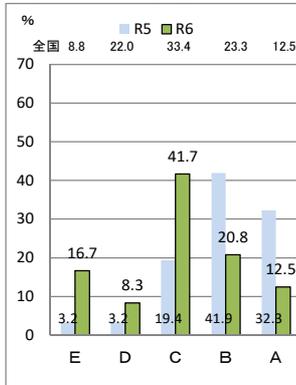
瀬戸内町 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】 〔男子〕

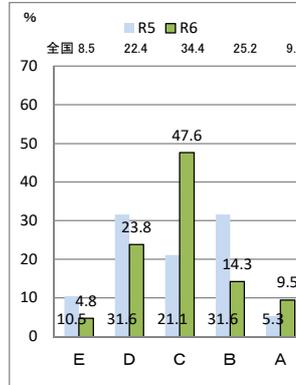
※グラフ内、上の数値は、令和6年度各総合評価の全国の割合を表す。



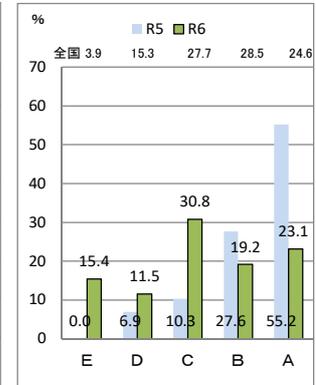
## 〔女子〕



## 【中学校 体力総合評価】 〔男子〕



## 〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈現状及び課題〉

男子は「握力」「反復横跳び」「20mシャトルラン」「50m走」「立幅跳び」「ソフトボール投げ」で全国のT得点を上回っている。  
女子は「握力」「長座体前屈」「20mシャトルラン」「立幅跳び」「ソフトボール投げ」で全国のT得点を上回っている。  
男女共に「上体起こし」に課題がみられる。

### 〈現状及び課題〉

男子は「50m走」「立幅跳び」「ハンドボール投げ」で全国のT得点を上回っている。  
女子は「握力」「立幅跳び」「ハンドボール投げ」で全国のT得点を上回っている。  
男女共に「上体起こし」「長座体前屈」に特に課題がみられる。

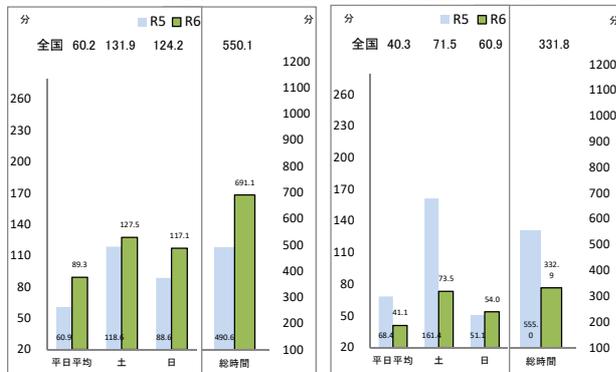
## 【小学校 運動実施時間】 〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

## 〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、令和6年度運動実施時間の全国の平均を表す。

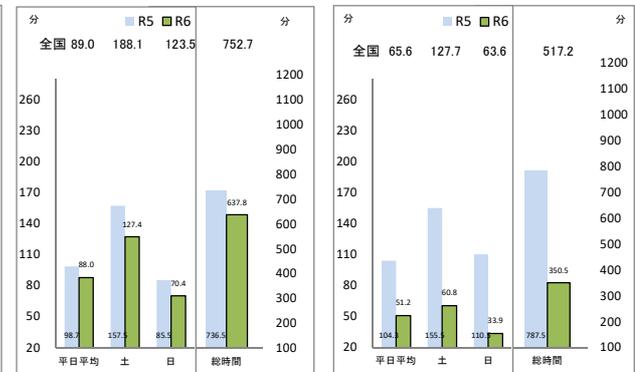


## 【中学校 運動実施時間】 〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

## 〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

男子の平日の運動時間は全国・県平均を上回っているが、土日の運動時間はわずかに下回っている。  
女子の平日の運動時間は平日・休日共に 全国・県平均を下回っている。

### 〈現状及び課題〉

平日の運動時間、休日の運動時間の両方において、男女共に全国・県平均を下回っている。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・「体力アップ！チャレンジかごしま」への積極的な取組など運動時間を確保することで、楽しみながら運動に取り組む児童を育成する。
- ・体育の時間等で体幹を意識した運動を実施

### 【中学校】

- ・一校一運動や体力つくりタイム等の推進(運動実施時間の拡充、「体力アップ！チャレンジかごしま」への積極的な参加)
- ・体育の時間等で体幹を意識した運動を実施

### 【共通、その他】

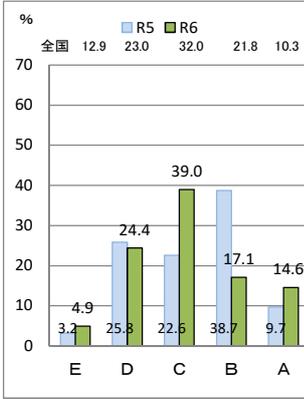
- ・PTAや家庭教育学級における運動習慣(運動経験)形成の重要性に対する啓発
- ・町主催のスポーツフェスティバルとの連携
- ・社会教育課との連携による幼少時における体力つくり教室「プレ・ゴールデンエイジ事業」の推進及び充実

# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

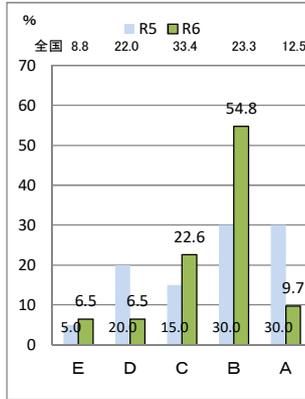
## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

※グラフ内、上の数値は、令和6年度各総合評価の全国の割合を表す。

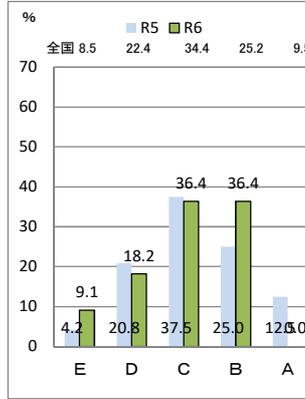


〔女子〕

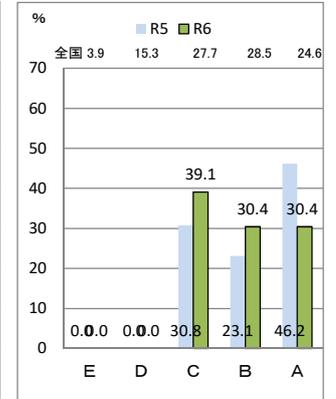


## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕



〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下 中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈現状及び課題〉

- ・男子はAの割合が4.9ポイント増加し、Bの割合が21.6ポイント減少している。Cの割合が16.4ポイント増加している。
- ・女子はAの割合が20.3ポイント減少し、Bの割合が24.8ポイント増加している。Dの割合が13.5ポイント減少し、Cの割合が7.6ポイント増加している。
- ・男子はD、Cの児童の体力及び運動への興味・関心を高め、B、Aへ

### 〈現状及び課題〉

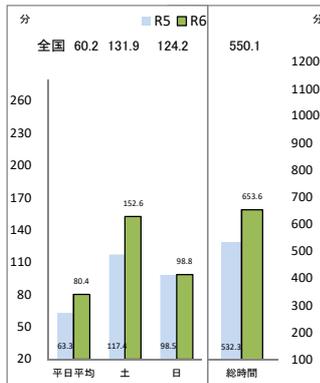
- ・男子はAの割合が12ポイント減少し、Bの割合が11.4ポイント増加している。Eの割合が4.9ポイント増加している。
- ・女子はAの割合が15.8ポイント減少し、Cの割合が8.3ポイント、Bの割合が7.3ポイント増加している。
- ・男子はE、D、Cの生徒の体力及び運動への興味・関心を高め、B、Aへ引上げる必要がある。女子はCの生徒をB、Aに引上げるための支援が

## 【小学校 運動実施時間】

〔男子〕

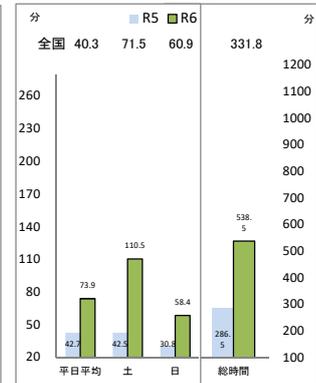
(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、令和6年度運動実施時間の全国の平均を表す。



〔女子〕

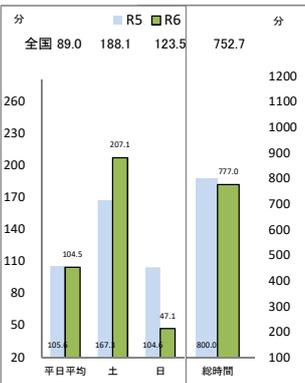
(平日の平均及び土日)(1週間)



## 【中学校 運動実施時間】

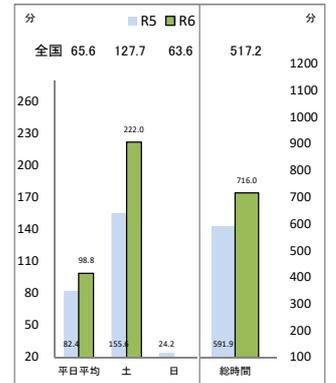
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- ・1週間の総運動時間は、全国平均と比較すると男女ともに「長い」結果であった。
- ・平日は、全国平均と比較して男子は「ほとんど差がない」、女子は「長い」結果であった。
- ・土・日曜日は女子は全国平均より「長い」結果であるが、男子は全国平均とほとんど差が無く、運動時間の増加への手立てが必要である。

### 〈現状及び課題〉

- ・1週間の総運動時間は、全国平均と比較して、男子が「わずかに長い」、女子が「長い」結果であった。
- ・平日は、全国平均と比較して男子が「ほとんど差が無い」、女子が「わずかに長い」結果であった。
- ・日曜日の運動時間は、男女とも全国平均より「短い」結果であった。週休日における運動時間の確保に向けた手立てが必要である。

## 【改善策】

【小学校】

- ・体育科学習指導の充実(運動特性に触れる、主運動の基礎となる感覚や柔軟性を取り入れた感覚づくりの設定)及び運動実施時間

【中学校】

- ・運動の特性に触れ、十分な運動量を確保しながら、課題解決に取り組む授業
- ・部活動以外の運動機会の確保、生活習慣の改善も含めた啓発活動

【共通・その他】

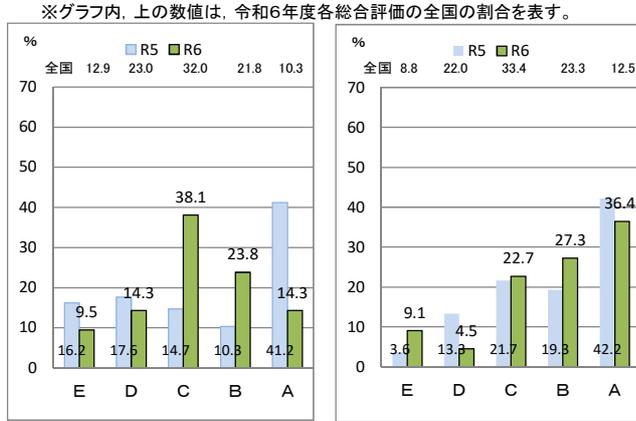
- ・調査結果分析に基づいた課題改善のため年間を通じた運動の実施(チャレンジかごしま、体育授業導入時の運動等)

# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

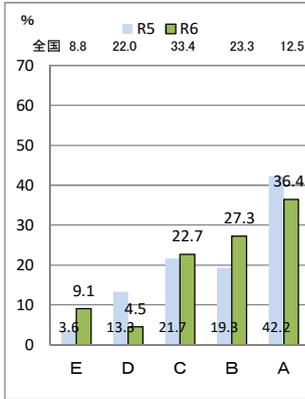
喜界町 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

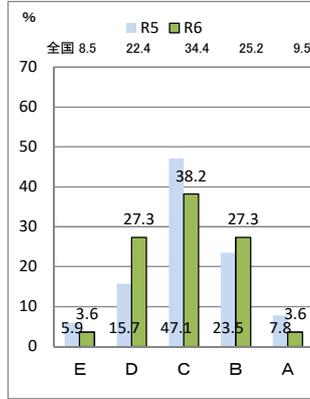


〔女子〕

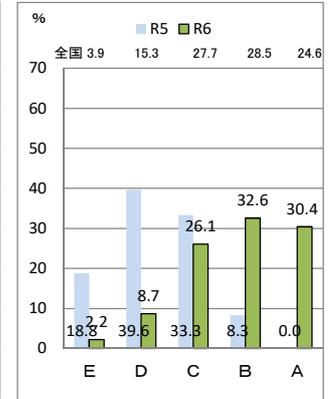


## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕



〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点〜64点 C:50点〜57点 D:42点〜49点 E:41点以下 中学校 A:57点以上 B:47点〜56点 C:37点〜46点 D:27点〜36点 E:26点以下

### 〈現状及び課題〉

- ・男子はAの割合が26.9ポイント減少し、Cの割合は23.4ポイント増加している。
- ・女子はAの割合が5.8ポイント減少し、Eの割合が5.5ポイント増加している。
- ・男女ともE、D、Cの児童の体力及び運動への興味・関心を高め、E、Dの割合は少なくしていく取組が必要である。

### 〈現状及び課題〉

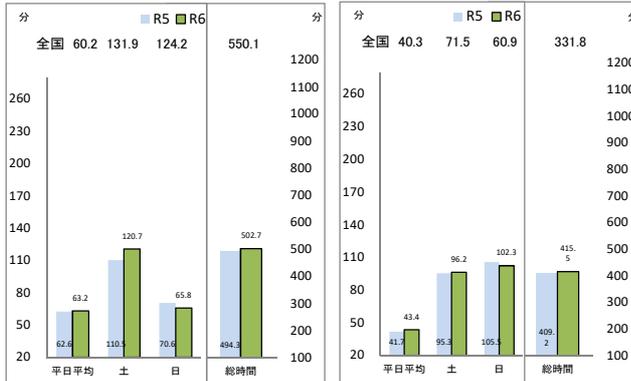
- ・男子はCの割合が8.9ポイント減少し、Dの割合は11.6ポイント増加している。
- ・女子はAの割合が30.4ポイント、Bの割合が24.3ポイント増加し、Dの割合は30.9ポイント、Eの割合は16ポイント減少している。
- ・男女ともにCの割合を、B、Aに引き上げるための支援が必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

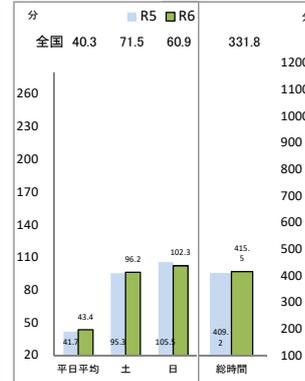
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間) (平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、令和6年度運動実施時間の全国の平均を表す。



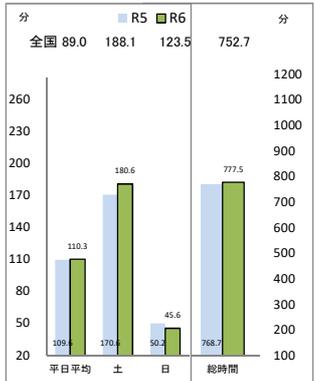
〔女子〕



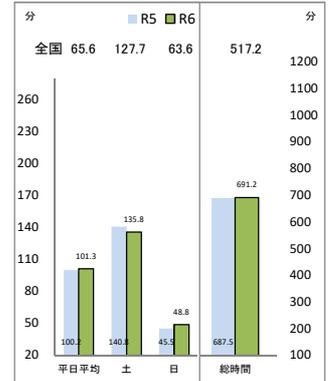
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間) (平日の平均及び土日)(1週間)



〔女子〕



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜〜金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- ・1週間の総運動時間は、全国平均と比較すると、男女ともに「ほとんど差はない」結果であった。
- ・平日は、全国平均と比較して男女とも運動時間に大きな差は見られない。

### 〈現状及び課題〉

- ・1週間の総運動時間は、全国平均と比較して、男女ともに「ほとんど差はない」結果であった。
- ・平日は、全国平均と比較して「ほとんど差はない」結果であった。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・一校一運動の取組による児童の運動実施時間の確保

### 【中学校】

- ・課題認識を高め、生徒の主体的な活動を促す教科体育の充実

### 【共通、その他】

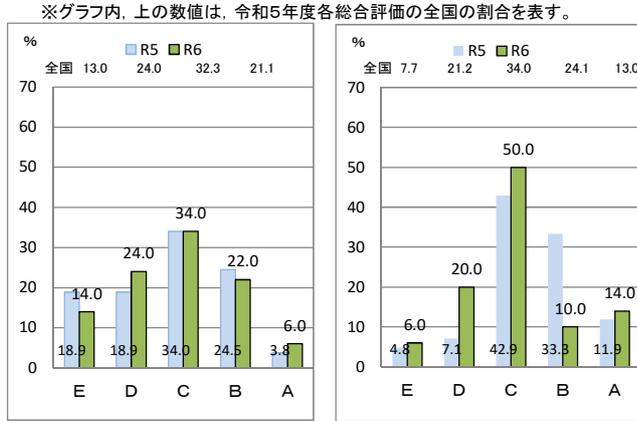
- ・各学校の実態に応じて設定する授業導入時の補強運動
- ・体育指導部による児童生徒の体力向上策の検討

# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

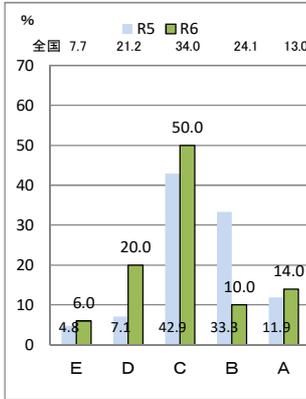
徳之島町 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

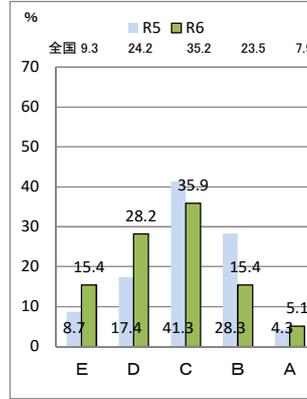


〔女子〕

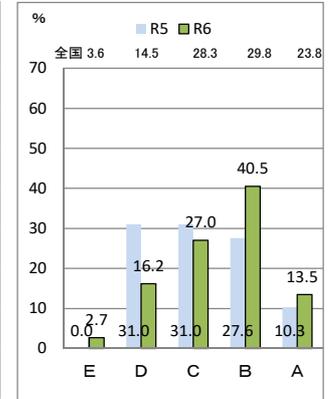


## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕



〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点～64点 C:50点～57点 D:42点～49点 E:41点以下 中学校 A:57点以上 B:47点～56点 C:37点～46点 D:27点～36点 E:26点以下

### 〈現状及び課題〉

- ・男子は、Aの割合が2.2ポイント増加し、逆にEの割合が4.9ポイント減少している。
- ・女子も男子と同様にAの割合が2.1ポイント上昇し、Eの割合も1.2ポイント増加している。また、Bの割合が23.3ポイントと大幅に減少しているのも特徴である。
- ・男女ともに、Eの児童の体力及び運動への興味・関心を高め、Bの児童をAへ引き上げる取組が必要である。

### 〈現状及び課題〉

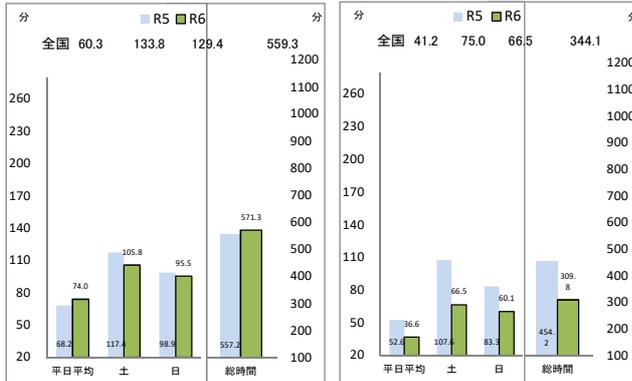
- ・男子は、Aの生徒が0.8ポイント増加するとともにEの割合も6.7ポイント増加しており、散らばりが広がったことが分かる。また、全国と比べると以前としてAの割合が少ないため、引き続きC、Bの生徒をAに引き上げる取組が必要である。
- ・女子は、Aの割合が3.2ポイント、Eの割合も2.7ポイント増加している。Bの生徒が12.9ポイントと大幅に増加していることから、全体的な底上げが起こったことが分かる。今後は、BをAに引き上げるための支援が必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

〔男子〕

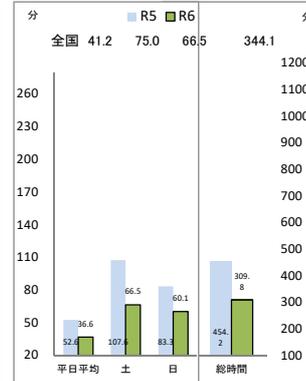
(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、令和5年度運動実施時間の全国の平均を表す。



〔女子〕

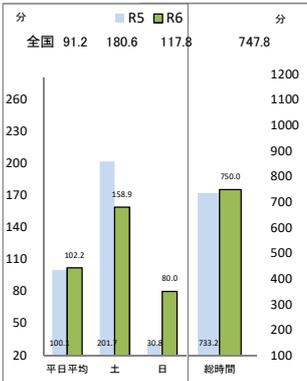
(平日の平均及び土日)(1週間)



## 【中学校 運動実施時間】

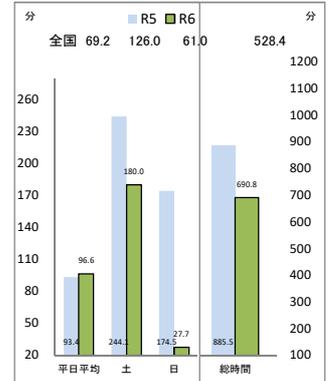
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- ・男子は、土日の運動実施時間は昨年度を下回っているものの、総運動時間については、増加傾向にあり全国平均も上回っていることが分かる。
- ・女子は、すべての項目において、昨年のデータを下回っており、全国平均よりも下回っている。今後は日常的な運動時間をするこ確保が課題である。

### 〈現状及び課題〉

- ・男子の総運動時間は、全国平均と比較して「ほとんど差がない」結果であった。その主な要因は、日曜日の運動実施時間が全国平均よりも大きく上回っていたためであり、今後は平日と土曜日も含めた日常的な運動時間の確保に向けた手立てが必要である。
- ・女子は、総運動時間が全国平均より大きく上回っている。一方で、昨年度と比較し、日曜日の運動時間が大幅に減少していることから、男子と同様に日

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・調査結果の分析を踏まえ、自校の課題を解決するための「体力アップ！チャレンジかごしま」の積極的な推進を図る。
- ・男女ともに体力・運動能力が低下しているので、更に児童一人一人が自らの課題解決に意欲的に取り組む教科体育の充実を図る。

### 【中学校】

- ・調査結果の分析を踏まえ、自校の課題を解決するための「体力アップ！チャレンジかごしま」の積極的な推進を図る。
- ・体力・運動運動能力を更に高めていくために、他者との協働を通して運動の楽しさや喜びを味わうことができる教科体育の充実を図る。

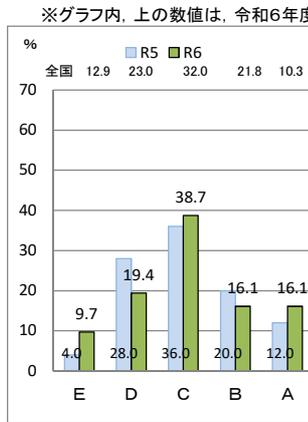
### 【共通、その他】

- ・生涯スポーツの観点を踏まえた運動にも取り組めるように、地域やPTA、社会教育行政等と連携した取組の推進を図る。

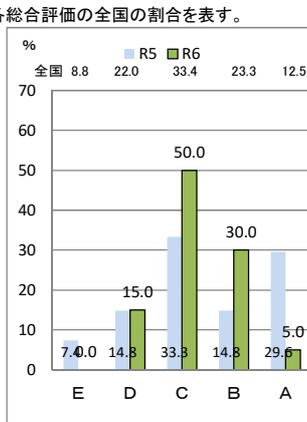
# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

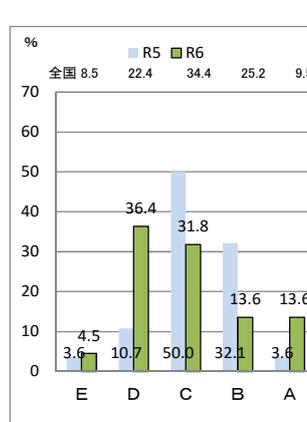


〔女子〕

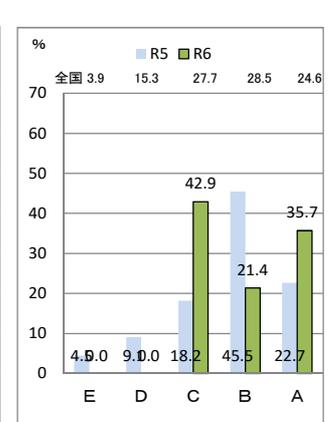


## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕



〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価標準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価標準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下 中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈現状及び課題〉

- ・男子はAの割合が4.1ポイント増加し、Bの割合が3.9ポイント、Dの割合が9.6ポイント減少している。
- ・女子はAの割合が24.6ポイント減少し、Bの割合が15.2ポイント、Cの割合が16.7%増加している。
- ・運動量の確保等をして体力・運動能力を高めて行きたい。

### 〈現状及び課題〉

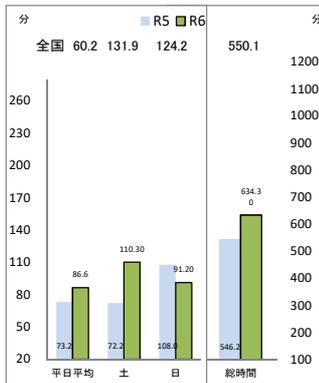
- ・男子はAの割合が10.0ポイント増加、Bの割合が18.5ポイント、Cの割合が18.2ポイント減少した。
- ・女子はAの割合が13.0ポイント、Cの割合が23.7ポイント増加し、Bの割合が24.1ポイント減少。
- ・引き続き運動量の確保等をして更なる体力・運動能力を高めていきたい

## 【小学校 運動実施時間】

〔男子〕

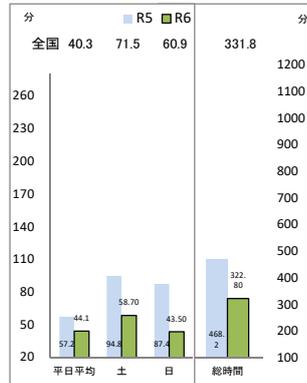
(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、令和6年度運動実施時間の全国の平均を表す。



〔女子〕

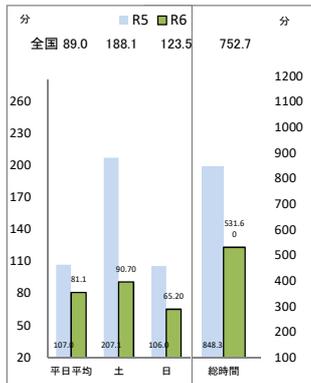
(平日の平均及び土日)(1週間)



## 【中学校 運動実施時間】

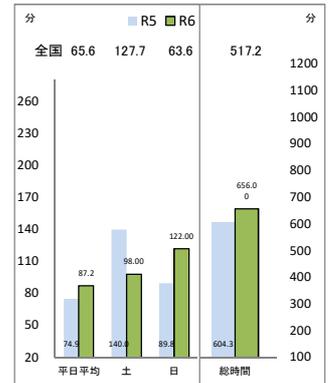
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- ・1週間の総合運動時間は、男子88.1分の増加、女子は145.4分の減少がみられる。
- ・運動時間の二極化が考えられる。各学校において、生徒の個別の運動時間を確認しながら、個に応じた指導の充実が求められる。

### 〈現状及び課題〉

- ・1週間の総運動時間は、男子は316.7分の減少、女子は51.7分の増加がみられる。
- ・運動時間の確保は、運動習慣の定着にもつながる。各学校における取組を、家庭や地域と連携を図りながら取り組ませることで、運動の習慣化を図るとともに、運動時間の確保に努めたい。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・体育主任を中心とした校内の体育指導の取組を強化し、チャレンジ鹿児島等への積極的な取組を推奨したい。

### 【中学校】

- ・運動習慣の二極化が懸念されるため、家庭でも取り組める運動等を紹介したり、保護者に意識を高めるような研修等を実施行いたい。

### 【共通・その他】

- ・運動時間の確保や運動の習慣化を図るために、学校・家庭・地域が一体となった取り組みが必要である。各学校の調査結果を保護者や地域住民へ周知するとともに、その改善策について協力を求め、連携した取組を行っていききたい。

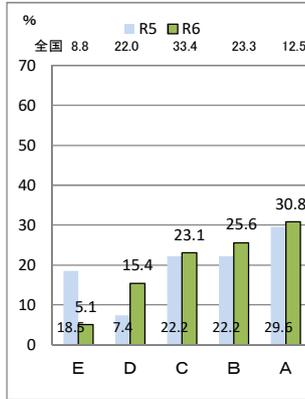
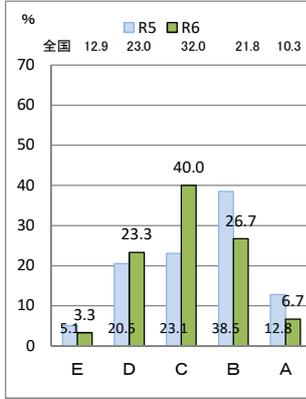
# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

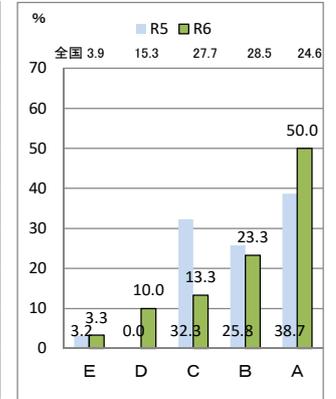
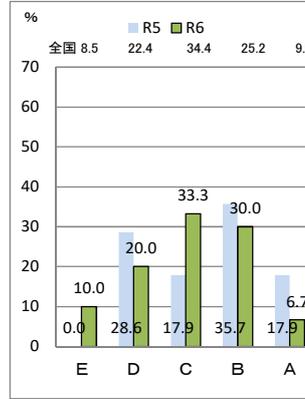
※グラフ内、上の数値は、令和6年度各総合評価の全国の割合を表す。



## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A: 65点以上 B: 58点~64点 C: 50点~57点 D: 42点~49点 E: 41点以下 中学校 A: 57点以上 B: 47点~56点 C: 37点~46点 D: 27点~36点 E: 26点以下

〈現状及び課題〉

- 男子はAの割合が6.1ポイント減少し、Cの割合が16.9ポイント増加している。
- 女子はAのポイントが1.2ポイント増加し、Bの割合も3.4ポイント増加している。

〈現状及び課題〉

- 男子はAの割合が11.2ポイント減少し、Cの割合が15.4ポイント増加し、Eも10ポイント増加している。
- 女子はAが11.3ポイント増加し、Bが2.5ポイント減少している。
- 女子はDが10ポイントも増加している。
- 男女ともにE・Dの、生徒の体力向上を目指し、運動への興味関心を更

## 【小学校 運動実施時間】

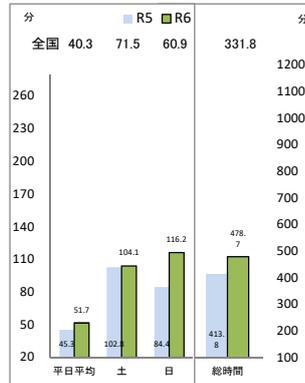
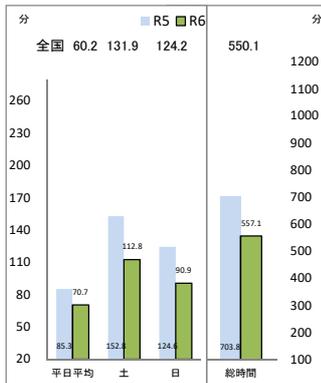
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、令和6年度運動実施時間の全国の平均を表す。



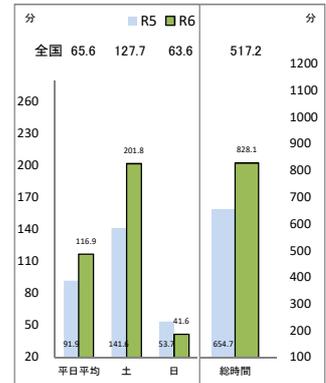
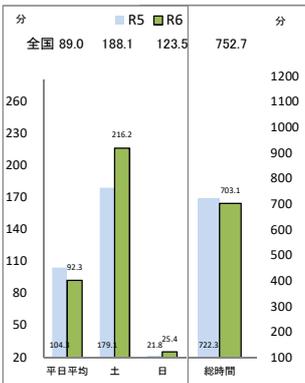
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

- 男子は、1週間を通して全体的に短い、全国平均と比較すると総運動時間はやや上回っている。
- 女子は、1週間を通して全体的に長く、全国平均と比較しても全て上回っている。
- 男子は、土日における運動時間の確保が必要である。

〈現状及び課題〉

- 男子は土曜日が37.1分長くなっているが、総運動時間は全国平均、昨年度と比較すると短くなっている。
- 女子は平日・土曜日ともに長い。総運動時間も昨年度より173.4分も長く、全国平均もかなり上回っている。
- 男子の日曜日における運動時間の確保のための手立てが必要である。

## 【改善策】

【小学校】

・ これまでの各学校の実態に沿って取り組んできた朝の体力づくりの時間やICT機器を活用して、柔軟性を高める指導の重点化と継続的な指導

【中学校】

・ 朝の体力づくりの時間などに積極的に参加する呼びかけや、生徒会を中心とした主体的な活動の推進

【その他】

・ PTAや家庭教育学級で、各学校の「一校一運動」の紹介と啓発の充実

・ 部活動がない休日にICT機器を活用し、家庭で取り組める運動の紹介と継続的な記録による評価

# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

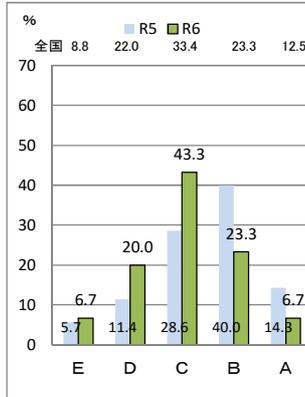
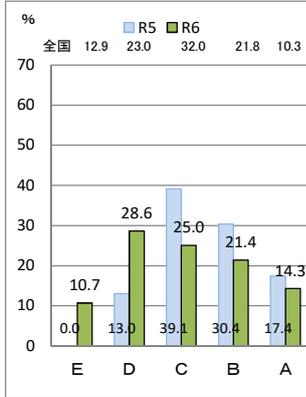
和泊町 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

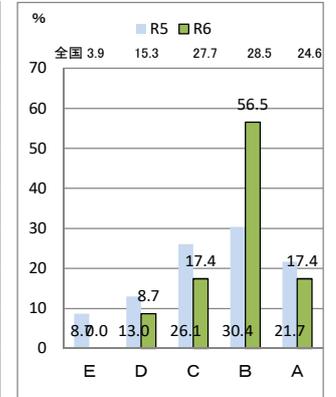
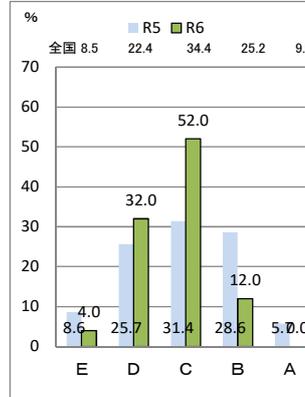
※グラフ内、上の数値は、令和6年度各総合評価の全国の割合を表す。



## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下 中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈現状及び課題〉

- ・ 男子はAが3.1ポイント、Bが9ポイント、Cが14.1ポイントと前年度から減少し、DとEが増加している。全国平均との差はAが4ポイント上回り、Bは同程度であった。
- ・ 女子はAが7.6、Bが16.7ポイント減少し、Cが14.8ポイント増加している。
- ・ 男女とも、E、D、Cの児童の体力及び運動への興味・関心を高め、CやDの児童をB、Aへ引き上げる取組が必要である。

### 〈現状及び課題〉

- ・ 男子はAが5.7ポイント、Bが16.6ポイント減少し、Cが20.6ポイント増加し中間層が増加している。
- ・ 女子は、Aが4.3ポイント減少しているが、Bは26.1ポイント増加している。
- ・ 男子では生徒の運動への興味・関心を高め、DやCの生徒をBやAに、女子は体力を高める支援を行い、BをAに引き上げる取組が必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

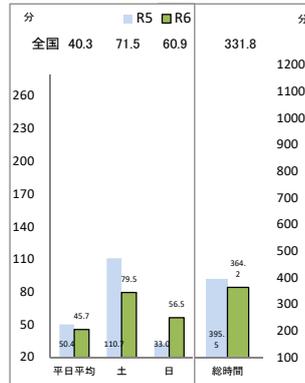
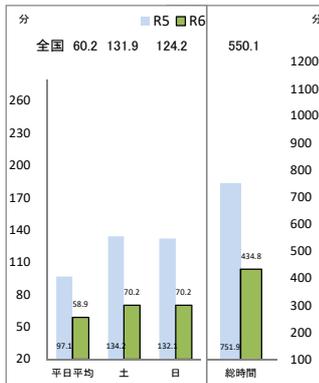
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、令和6年度運動実施時間の全国の平均を表す。



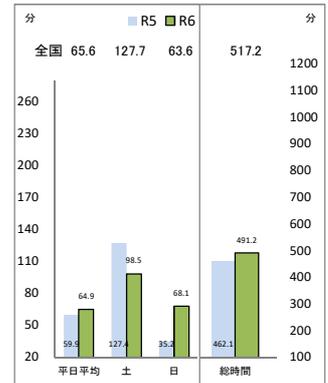
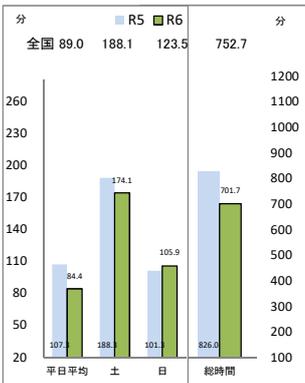
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- ・ 1週間の総運動時間は全国平均と比較すると、男子が「短く」、女子が「長く」なっている。
- ・ 平日は、全国平均と比較して男女とも運動時間に差はみられないが、昨年度と比較すると特に男子が減少している。土・日曜日は、女子ではほとんど差がないが、男子において、全国平均より短い。

### 〈現状及び課題〉

- ・ 1週間の総運動時間は全国平均と比較すると、男子が「短く」、女子が「わずかに短い」結果であった。
- ・ 平日は、全国平均と比較して男女とも運動時間に大きな差はみられないが、昨年度と比較すると男子が減少している。土・日曜日は、男女ともに全国平均とほとんど差がない。平日・週休日ともに運動時間の確保が必要である。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・ 運動の楽しさを味わわせる視点での授業改善による運動への意欲の向上と体力づくりの質の向上、体育授業における外部人材の活用

### 【中学校】

- ・ 運動時間確保のための子に応じた具体的目標設定と、運動の質の向上

### 【共通、その他】

- ・ 体育授業内外での一校一運動や「体力アップ！チャレンジかごしま」への取組による運動への意欲と体力の向上
- ・ PTAや学校保健委員会、家庭教育学級を活用した家庭への啓発

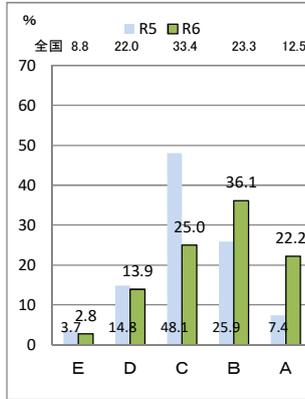
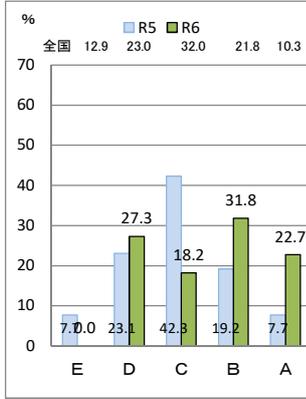
# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

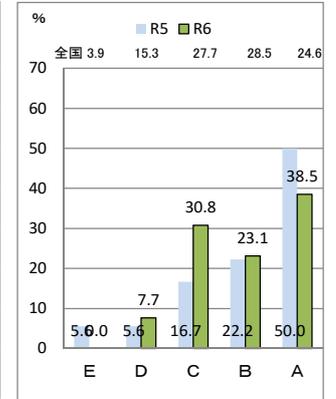
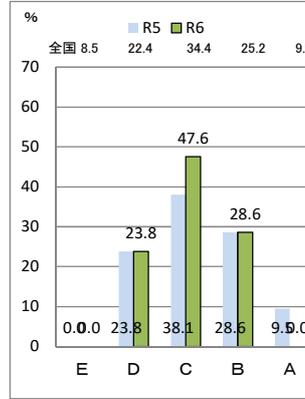
※グラフ内、上の数値は、令和6年度各総合評価の全国の割合を表す。



## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下 中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈現状及び課題〉

- ・男子はEがいなくなり、C・B・Aの割合が増加した。運動能力の向上が伺える。
- ・女子は、E、Dの割合が減少し、BAの割合が増加した。
- ・全国と比較して、運動能力が育っていることが分かる。
- ・男女ともにE・Dの児童の体力向上に向け、運動への興味・関心を高める手立てが必要である。また、特にEの女子をD・Cへ引き上げ

### 〈現状及び課題〉

- ・男子はEの生徒が2年連続でゼロであった。一方でAもゼロになり、その減少分をCが吸収した形となった。体力の平均化が伺える。
- ・女子はE・Aが減った分、Cが増えた。しかし、全国と比べると、A・Bが多く、運動能力が育っていることが分かる。
- 男女ともにE・Dの児童の体力向上に向け、運動への興味・関心を高める手立てが必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

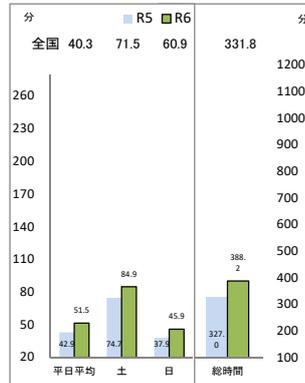
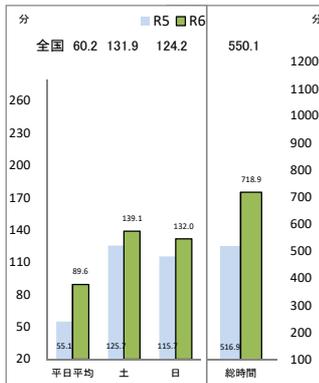
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、令和6年度運動実施時間の全国の平均を表す。



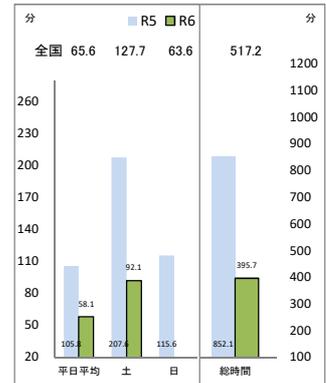
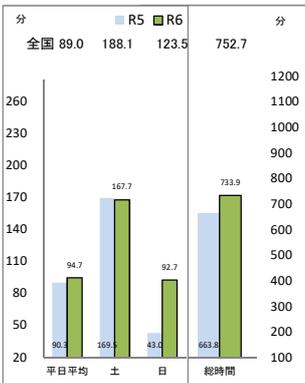
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- ・1週間の総運動時間は、全国平均と比較して、男女とも「長い」結果であった。
- ・平日も土・日曜日、全国平均と比較して、男女ともに上回っている。昨年度と比較して、全体的に増加している。
- ・個別に見ると、あまり運動をしていない児童もいるので、個別の対

### 〈現状及び課題〉

- ・1週間の総運動時間は、全国平均と比較すると、男子が「ほとんど差がない」、女子が「長い」という結果であった。
- ・男女ともに、平日・土曜は全国平均と「ほとんど差がない」が、日曜日の運動時間が下回った。
- ・日曜日は基本的に部活動を実施していないので、男子は、自主的な

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・スポーツ少年団、生涯学習係、知名町体育協会と連携し、社会体育等の取組を充実させ、生涯スポーツにつながる体験活動の推進

### 【中学校】

- ・運動部活動の地域連携の推進による外部指導員の人材確保(今年度の取組の継続)

### 【共通・その他】

- ・小中連絡会における体力・運動能力調査の結果分析と中学校区単位で取り組む小・共通の補強運動の設定(今年度の取組の継続)
- ・PTA、家庭教育学級等で運動に関する研修会の開催や親子体力づくり等の推進(今年度の取組の継続)

# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について(案) (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

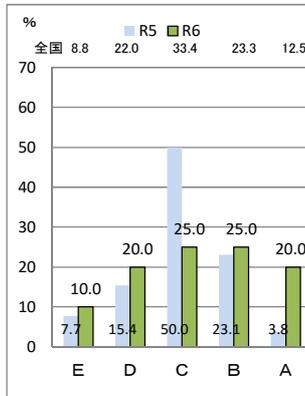
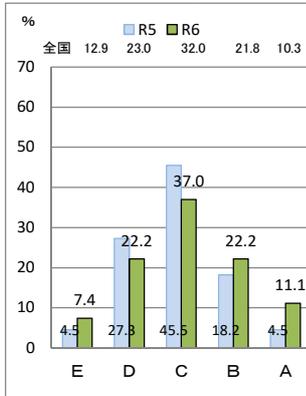
与論町 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

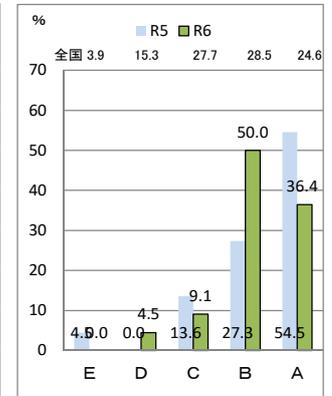
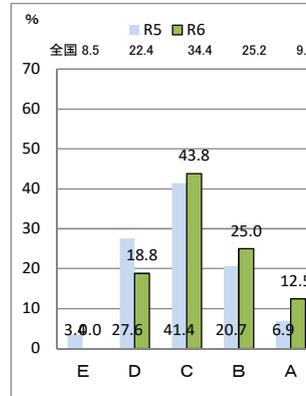
※グラフ内、上の数値は、令和6年度各総合評価の全国の割合を表す。



## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価標準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価標準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下 中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈現状及び課題〉

- ・男女共に、全国及び県の平均に比べ、良い結果が出ている。昨年度の結果と比べても良い結果が出ている。
- ・体力合計点は、男女共に全国及び県の平均を上回った。
- ・種目においては、長座体前屈が全国及び県の平均を大きく下回っており、体育授業における体づくり運動において柔軟性を高める運動を継続的に取り入れる等して、改善を図る必要がある。

### 〈現状及び課題〉

- ・体力合計点は、男女共に全国及び県の平均を上回った。特に女子は、全国の合計点を5ポイント以上上回っている。
- ・種目においては、男子が立ち幅跳びが全国及び県の平均を大きく下回っているが、その他については全国及び県の平均と比べても同等かそれ以上の結果がでている。下回ったものについては、意図的・計画的な取組により、男子の体力・運動能力の改善を図る必要がある。

## 【小学校 運動実施時間】

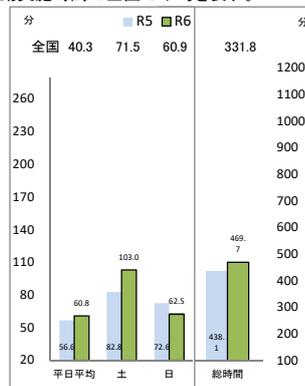
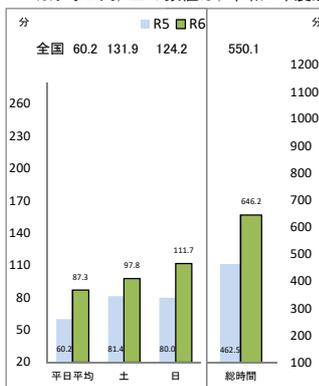
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、令和6年度運動実施時間の全国の平均を表す。



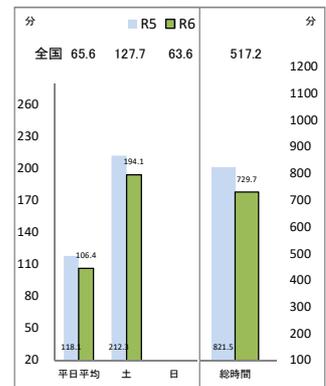
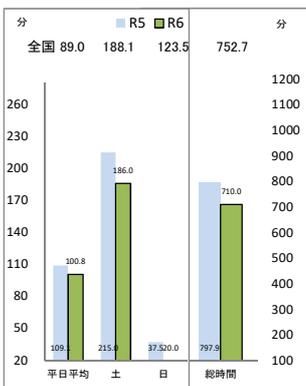
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- ・女子の日曜日の運動量は県平均に比べ低いが、それ以外については県平均を上回った。
- ・運動やスポーツをすることが「好き」又は「やや好き」と答えた児童の割合は、男子は高いが女子は全国及び県より低い。また、体育の授業で児童が主体的・対話的で深い学びを実感できている児童の割合が少ない。運動好きの児童を育てるための取組を進める必要がある。

### 〈現状及び課題〉

- ・男女共に、日曜日の運動量は低く、県平均とくらべると平日・土曜日共に短くなっている。結果、総時間も県平均より短く、男子は全国平均より短い。
- ・体格調査では、男女共に「普通」の割合が全国及び県と同程度かそれ以上である。また、運動やスポーツをすることが「好き」又は「やや好き」と答えた生徒の割合も県及び全国平均並みである。今後は更に運動好きの生徒を育てるための取組を進める必要がある。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・自校の「運動大好き“かごしまっ”育成推進プラン」を見直し、課題が見られる運動能力の改善を目指した取組を具体的に計画し、推進する。
- ・児童が主体的・対話的で深い学びを実感できるよう、対話活動や振り返りの充実を図る等、学習者主体の授業に向けた授業改善が必要である。

### 【中学校】

- ・教科体育の時間を一層充実させ、運動嫌いの生徒に体を動かすことの楽しさを味わわせ、運動量や時間の増加を目指すようにする。

### 【共通・その他】

- ・町内全校で「体力アップ! チャレンジかごしま」に参加するとともに、それぞれの学校が、自校の課題に関連した種目を選択するようにする。
- ・県教育委員会が作成している「家庭で使える体力向上プログラム」等を保護者に周知し、学校外での運動の質的・量的な改善を図る。